

(様式第 10)

広大病医事第 21-15 号
令和 3 年 10 月 4 日

厚生労働大臣

殿

開設者名 国立大学法人広島大学
学長 越智 光夫

広島大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 第 1 項及び医療法施行規則（昭和 23 年厚生省令第 50 号）第 9 条の 2 の 2 の第 1 項の規定に基づき、令和 2 年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒739-8511 東広島市鏡山一丁目3番2号
氏 名	国立大学法人広島大学 学長 越智 光夫

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

広島大学病院

3 所在の場所

〒734-8551 広島市南区霞一丁目2番3号
電話(082) 257-5555

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	有	無
内科と組み合わせた診療科名等		
1 呼吸器内科	2 消化器内科	3 循環器内科
5 神経内科	6 血液内科	7 内分泌内科
9 感染症内科	10 アレルギー疾患内科またはアレルギー科	4 腎臓内科
		8 代謝内科
		11 リウマチ科

診療実績

- ・消化器内科及び代謝内科については消化器・代謝内科で医療を提供している。
- ・神経内科については脳神経内科で医療を提供している。
- ・内分泌内科については内分泌・糖尿病内科で医療を提供している。
- ・アレルギー疾患内科またはアレルギー科については呼吸器内科で医療を提供している。

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していな

い診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科	有	無
外科と組み合わせた診療科名		
1呼吸器外科	2消化器外科	3乳腺外科
5血管外科	6心臓血管外科	7内分泌外科
4心臓外科		
8小児外科		
診療実績		
・内分泌外科については乳腺外科で医療を提供している。		

(注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること（「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと）。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

1精神科	2小児科	3整形外科	4脳神経外科	5皮膚科	6泌尿器科	7産婦人科
8産科	9婦人科	10眼科	11耳鼻咽喉科	12放射線科	13放射線診断科	
14放射線治療科	15麻酔科	16救急科				

(注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	有	無
歯科と組み合わせた診療科名		
1小児歯科	2矯正歯科	3口腔外科
歯科の診療体制		

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1 移植外科	2 腫瘍内科	3 病理診断科	4 形成外科	5 リハビリテーション科

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
20床	2床	床	床	720床	742床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医 師	566人	99.3人	665.3人	看護補助者	26人	診療エックス線技師	人
歯科医師	191人	20.1人	211.1人	理学療法士	34人	臨床検査技師	81人
薬剤師	78人	人	78人	作業療法士	12人	検査衛生検査技師	人
保健師	人	人	人	視能訓練士	12人	その他の	人
助産師	27人	人	27人	義肢装具士	人	あん摩マッサージ指圧師	人
看護師	911人	7.8人	918.8人	臨床工学士	23人	医療社会事業従事者	人
准看護師	人	人	人	栄養士	4人	その他の技術員	61人
歯科衛生士	24人	人	24人	歯科技工士	6人	事務職員	412人
管理栄養士	13人	人	13人	診療放射線技師	56人	その他の職員	103人

(注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。

2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。

3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	77人	眼科専門医	17人
外科専門医	57人	耳鼻咽喉科専門医	14人
精神科専門医	15人	放射線科専門医	21人
小児科専門医	22人	脳神経外科専門医	17人
皮膚科専門医	7人	整形外科専門医	30人
泌尿器科専門医	13人	麻酔科専門医	26人
産婦人科専門医	12人	救急科専門医	25人
	合 計		353人

(注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。

2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名（木内 良明）任命年月日 平成30年4月1日

平成24年4月1日～27年3月31日の3年間、医療機器安全管理責任者に就任

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	550人	12.5人	562.5人
1日当たり平均外来患者数	1,692.9人	448.1人	2,141人
1日当たり平均調剤数			1,290剤
必要医師数			154人
必要歯科医師数			25人
必要薬剤師数			19人
必要(准)看護師数			354人

(注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。

2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。

3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。

4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二条の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
			病床数	34床	心電計	有・無
集中治療室	662.3m ²	鉄筋コンクリート	人工呼吸装置	有・無	心細動除去装置	有・無
			その他の救急蘇生装置	有・無	ペースメーカー	有・無
無菌病室等	[固定式の場合]	床面積 277.5 m ²			病床数	16 床
	[移動式の場合]	台数 台				
医薬品情報管理室	[専用室の場合]	床 積 114.9 m ²				
	[共用室の場合]	共用する室名 治験資料室・薬務室・副部長室				
化学検査室	540.0m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) CO2インキュベーター、FFP解凍器、クリーンベンチ、ルミネックス、遠心機、分光光度計、位相差顕微鏡、リアルタイムPCR			
細菌検査室	68.0m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) MIC測定装置、オートクレーブ、パストバックス、安全キャビネット、遺伝子分析装置、恒温器、顕微鏡、冷蔵庫			
病理検査室	254.0m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) クリオスリット、顕微鏡、保冷庫、細胞診標本作成装置、バイオクリーンベンチ、自動免疫染色装置、超純水製造装置			
病理解剖室	122.5m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 臓器写真台、解剖台、ホルムレバー脱臭装置、酸素クラスター除菌脱臭装置、光触媒空気清浄器、ホルマリンサイクル装置			
研究室	173.0m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 顕微鏡、パソコン、超微量パーソナル分光光度計、微量遠心機、PCR装置、全自动核酸抽出装置、ホモジナイザー			
講義室	1377.1m ²	鉄筋コンクリート	室数 20 室		収容定員	631 人
図書室	42.8m ²	鉄筋コンクリート	室数 1 室		蔵書数	10,000 冊程度

(注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。

2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	86.1%	逆紹介率	85.8 %
算 A : 紹介患者の数			17,665 人
出 B : 他の病院又は診療所に紹介した患者の数			19,007 人
根 C : 救急用自動車によって搬入された患者の数			1,415 人
拠 D : 初診の患者の数			22,161 人

(注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由（注）

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
山田 謙慈	広島県医師会・ 常任理事	○	医療に係る安全管理に関する識見を有する者	無	1
福永 宏	福永宏・福永孝 法律事務所・弁護士		法律に関する識見を有する者	無	1
中川 圭	認定NPO法人乳がん患者友の会 きらら・理事長		医療を受ける者	無	2
				有・無	
				有・無	
				有・無	

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有・無
委員の選定理由の公表の有無	有・無
公表の方法	
病院ホームページに掲載	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
ウイルスに起因する難治性の眼感染疾患に対する迅速診断(PCR法)	10人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示
第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
ペメトレキセド静脈内投与及びシスプラチニ静脈内投与の併用療法 肺がん(扁平上皮肺がん及び小細胞肺がんを除き、病理学的見地から完全に切除されたと判断されるものに限る。)	0人
テモゾロミド用量強化療法 膜芽腫(初発時の初期治療後に再発又は増悪したものに限る。)	1人
ハイパードライヒト乾燥羊膜を用いた外科的再建術 再発翼状片(増殖組織が角膜輪部を超えるものに限る。)	0人
水素ガス吸入療法 心停止後症候群(院外における心停止後に院外又は救急外来において自己心拍が再開し、かつ、心原性心停止が推定されるものに限る。)	0人
S-1内服投与並びにパクリタキセル静脈内及び腹腔内投与の併用療法 脾臓がん(遠隔転移しておらず、かつ、腹膜転移を伴うものに限る。)	0人
自家骨髄単核球移植による下肢血管再生治療 バージャー病(従来の治療法に抵抗性を有するものであって、フォンタン分類III度又はIV度のものに限る。)	0人
マルチプレックスがん遺伝子パネル検査 進行再発固形がん(治療法が存在しないもの又は従来の治療法が終了しているもの若しくは従来の治療法が終了予定のものに限る。)	7人
術前のS-1内服投与、シスプラチニ静脈内投与及びトラスツズマブ静脈内投与の併用療法 切除が可能な高度リンパ節転移を伴う胃がん(HER2が陽性のものに限る。)	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
1	球脊髓性筋萎縮症	4	56	後縫韌帶骨化症	53
2	筋萎縮性側索硬化症	45	57	広範脊柱管狭窄症	4
3	脊髓性筋萎縮症	7	58	特発性大脛骨頭壞死症	161
4	進行性核上性麻痺	15	59	下垂体性ADH分泌異常症	16
5	パーキンソン病	108	60	下垂体性TSH分泌亢進症	1
6	大脳皮質基底核変性症	6	61	下垂体性PRL分泌亢進症	29
7	シャルコー・マリー・トウース病	5	62	クッシング病	6
8	重症筋無力症	60	63	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	22
9	多発性硬化症／視神経脊髄炎	87	64	下垂体前葉機能低下症	134
10	慢性炎症性脱髓性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	17	65	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	3
11	封入体筋炎	4	66	先天性副腎皮質酵素欠損症	3
12	クロウ・深瀬症候群	1	67	アジソン病	2
13	多系統萎縮症	15	68	サルコイドーシス	46
14	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	57	69	特発性間質性肺炎	64
15	ライソゾーム病	7	70	肺動脈性肺高血圧症	9
16	副腎白質ジストロフィー	1	71	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	5
17	ミトコンドリア病	15	72	リンパ脈管筋腫症	8
18	もやもや病	71	73	網膜色素変性症	18
19	ブリオン病	6	74	パッド・キアリ症候群	3
20	特発性基底核石灰化症	1	75	特発性門脈圧亢進症	4
21	全身性アミロイドーシス	32	76	原発性胆汁性胆管炎	78
22	遠位型ミオパチー	3	77	原発性硬化性胆管炎	8
23	神経線維腫症	33	78	自己免疫性肝炎	39
24	天疱瘡	34	79	クローン病	344
25	表皮水疱症	2	80	潰瘍性大腸炎	487
26	臍瘻性乾癥(汎発型)	5	81	好酸球性消化管疾患	12
27	中毒性表皮壊死症	1	82	慢性特発性偽性腸閉塞症	1
28	高安動脈炎	14	83	クリオプロリン関連周期熱症候群	5
29	巨細胞性動脈炎	8	84	若年性特発性関節炎	5
30	結節性多発動脈炎	7	85	TNF受容体関連周期性症候群	1
31	顯微鏡的多発血管炎	28	86	非典型溶血性尿毒症症候群	3
32	多発血管炎性肉芽腫症	15	87	先天性ミオパチー	1
33	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	17	88	筋ジストロフィー	28
34	悪性関節リウマチ	9	89	遺伝性周期性四肢麻痺	1
35	バージャー病	29	90	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	2
36	原発性抗リン脂質抗体症候群	4	91	限局性皮質異形成	2
37	全身性エリテマトーデス	257	92	早期ミオクロニーグローバル症候群	1
38	皮膚筋炎／多発性筋炎	106	93	環状20番染色体症候群	1
39	全身性強皮症	103	94	結節性硬化症	3
40	混合性結合組織病	34	95	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	10
41	シェーグレン症候群	48	96	特発性後天性全身性無汗症	12
42	成人スチル病	11	97	弾性線維性仮性黄色腫	1
43	再発性多発軟骨炎	9	98	マルファン症候群	7
44	ペーチェット病	69	99	ウィルソン病	4
45	特発性拡張型心筋症	51	100	低ホスファターゼ症	1
46	肥大型心筋症	8	101	ソトス症候群	1
47	再生不良性貧血	41	102	22q11.2欠失症候群	1
48	自己免疫性溶血性貧血	3	103	エプスタイン病	1
49	発作性夜間ヘモグロビン尿症	3	104	急速進行性系球体腎炎	5
50	特発性血小板減少性紫斑病	64	105	一次性ネフローゼ症候群	28
51	血栓性血小板減少性紫斑病	1	106	紫斑病性腎炎	4
52	原発性免疫不全症候群	45	107	オスラーブ病	2
53	IgA腎症	34	108	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	1
54	多発性囊胞腎	30	109	カーニー複合	2
55	黄色韌帶骨化症	8	110	フェニルケトン尿症	2

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数	疾患名	患者数
111	尿素サイクル異常症	3	156	
112	肝型糖原病	2	157	
113	脳膜黄色腫症	1	158	
114	家族性地中海熱	4	159	
115	慢性再発性多発性骨髓炎	3	160	
116	強直性脊椎炎	16	161	
117	進行性骨化性線維異形成症	1	162	
118	骨形成不全症	1	163	
119	軟骨無形成症	1	164	
120	巨大動脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	1	165	
121	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	1	166	
122	胆道閉鎖症	2	167	
123	IgG4関連疾患	23	168	
124	黄斑ジストロフィー	2	169	
125	レーベル遺伝性視神経症	1	170	
126	好酸球性副鼻腔炎	61	171	
127	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	5	172	
128	特発性多中心性キャッスルマン病	1	173	
129			174	
130			175	
131			176	
132			177	
133			178	
134			179	
135			180	
136			181	
137			182	
138			183	
139			184	
140			185	
141			186	
142			187	
143			188	
144			189	
145			190	
146			191	
147			192	
148			193	
149			194	
150			195	
151			196	
152			197	
153			198	
154			199	
155			200	
156			201	
157			202	
158			203	
159			204	
160			205	
161			206	
162			207	
163			208	
164			209	
165			210	

(注) 「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・後発医薬品使用体制加算2
・歯科外来診療環境体制加算2	・病棟薬剤業務実施加算1
・歯科診療特別対応連携加算	・病棟薬剤業務実施加算2
・特定機能病院入院基本料	・データ提出加算
・救急医療管理加算	・入退院支援加算
・超急性期脳卒中加算	・認知症ケア加算
・診療録管理体制加算1	・せん妄ハイリスク患者ケア加算
・医師事務作業補助体制加算1	・精神疾患診療体制加算
・急性期看護補助体制加算	・精神科急性期医師配置加算
・看護職員夜間配置加算	・地域医療体制確保加算
・療養環境加算	・救命救急入院料3
・重症者等療養環境特別加算	・特定集中治療室管理料2, 3
・無菌治療室管理加算1	・特定集中治療室管理料 早期離床・リハビリテーション加算
・無菌治療室管理加算2	・特定集中治療室管理料 早期栄養介入管理加算
・緩和ケア診療加算	・ハイケアユニット入院医療管理料1
・精神科身体合併症管理加算	・新生児特定集中治療室管理料2
・精神科リエゾンチーム加算	・小児入院医療管理料2
・摂食障害入院医療管理加算	
・栄養サポートチーム加算	
・医療安全対策加算1	
・感染防止対策加算1	
・患者サポート体制充実加算	
・褥瘡ハイリスク患者ケア加算	
・ハイリスク妊娠管理加算	
・ハイリスク分娩管理加算	
・呼吸ケアチーム加算	

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・ウイルス疾患指導料 注2	・レーザー機器加算
・外来栄養食事指導料の注2に規定する施設基準	・医療機器安全管理料2
・心臓ペースメーカー指導管理料の注5に規定する遠隔モニタリング加算	・医療機器安全管理料(歯科)
・糖尿病合併症管理料	・在宅血液透析指導管理料
・がん性疼痛緩和指導管理料	・在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料の注2に掲げる遠隔モニタリング加算
・がん患者指導管理料イ	・在宅腫瘍治療電場療法指導管理料
・がん患者指導管理料ロ	・在宅経肛門的自己洗腸指導管理料
・がん患者指導管理料ハ	・持続血糖測定器加算(間歇注入シリングポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合)及び皮下連續式グルコース測定
・がん患者指導管理料二	・持続血糖測定器加算(間歇注入シリングポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合)
・外来緩和ケア管理料	・遺伝学的検査
・移植後患者指導管理料(臓器移植後)	・骨髄微小残存病変量測定
・移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後)	・BRCA1／2遺伝子検査
・糖尿病透析予防指導管理料	・がんゲノムプロファイリング検査
・小児運動器疾患指導管理料	・先天性代謝異常症検査
・乳腺炎重症化予防・ケア・指導料	・抗HLA抗体(スクリーニング検査)及び抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)
・婦人科特定疾患治療管理料	・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)
・腎代替療法指導管理料	・ウイルス・細菌核酸多項目同時検出
・院内トリアージ実施料	・手術時歯根面レーザー応用加算
・外来放射線照射診療料	・検体検査管理加算(IV)
・療養・就労両立支援指導料の注3に掲げる相談支援加算	・国際標準検査管理加算
・ハイリスク妊産婦共同管理料(Ⅰ)	・遺伝カウンセリング加算
・がん治療連携計画策定期料	・遺伝性腫瘍カウンセリング加算
・ハイリスク妊産婦連携指導料1	・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
・肝炎インターフェロン治療計画料	・時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト
・薬剤管理指導料	・胎児心エコー法
・地域連携診療計画加算	・ヘッドアップティルト試験
・医療機器安全管理料1	

施設基準の種類	施設基準の種類
・長期継続頭蓋内脳波検査	・心臓MRI撮影加算
・長期脳波ビデオ同時記録検査1	・乳房MRI撮影加算
・脳磁図(自発活動を測定するもの)	・小児鎮静下MRI撮影加算
・脳磁図(その他のもの)	・頭部MRI撮影加算
・終夜睡眠ポリグラフィー(安全精度管理下で行うもの)	・全身MRI撮影加算
・脳波検査判断料1	・抗悪性腫瘍剤処方管理加算
・遠隔脳波診断	・外来化学療法加算1
・神経学的検査	・連携充実加算
・補聴器適合検査	・無菌製剤処理料
・ロービジョン検査判断料	・心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)
・小児食物アレルギー負荷検査	・脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)
・内服・点滴誘発試験	・運動器リハビリテーション料(Ⅰ)
・CT透視下気管支鏡検査加算	・呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)
・経気管支凍結生検法	・摂食機能療法の注3に掲げる摂食嚥下支援加算
・有床義歯咀嚼機能検査1のイ	・がん患者リハビリテーション料
・有床義歯咀嚼機能検査1の口及び咀嚼能力検査	・リンパ浮腫複合的治療料
・有床義歯咀嚼機能検査2の口及び咬合圧検査	・歯科口腔リハビリテーション料2
・精密触覚機能検査	・認知療法・認知行動療法1
・睡眠時歯科筋電図検査	・精神科作業療法
・画像診断管理加算3	・医療保護入院等診療料
・歯科画像診断管理加算1	・処置の休日加算1(医科点数表第2章第9部処置の通則の5に規定する処置の休日加算1)
・歯科画像診断管理加算2	・処置の時間外加算1(医科点数表第2章第9部処置の通則の5に規定する処置の時間外加算1)
・ポジトロン断層撮影	・処置の深夜加算1(医科点数表第2章第9部処置の通則の5に規定する処置の深夜加算1)
・ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影	・硬膜外自家血注入
・CT撮影及びMRI撮影	・エタノールの局所注入(甲状腺)
・冠動脈CT撮影加算	・エタノールの局所注入(副甲状腺)
・血流予備量比コンピューター断層撮影	・導入期加算2及び腎代替療法実績加算
・外傷全身CT加算	・透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算
・麻酔管理料(Ⅰ)	・歯科麻酔管理料
・麻酔管理料(Ⅱ)	・磁気による膀胱等刺激法

施設基準の種類	施設基準の種類
・歩行運動処置(ロボットスーツによるもの)	・乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術(MRIによるもの)
・手術用顕微鏡加算	・乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検(併用)
・口腔粘膜処置	・乳腺悪性腫瘍手術(乳輪温存乳房切除術)(腋窩郭清を伴わないもの)及び乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの))
・う蝕歯無痛的窓洞形成加算	
・CAD/CAM冠	・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
・歯科技工加算1及び2	・胸腔鏡下拡大胸腺摘出術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・センチネルリンパ節加算	・胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器によるもの)
・皮膚移植術(死体)	・胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合に限る。)	・肺悪性腫瘍手術(壁側・臓側胸膜全切除(横隔膜、心膜合併切除を伴うもの)に限る。)
・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)	・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(区域切除で内視鏡支援機器を用いる場合)
・後縦韌帯骨化症手術(前方進入によるもの)	・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(肺葉切除又は1肺葉を超えるもの(内視鏡手術用支援機器によるもの))
・椎間板内酵素注入療法	・胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・脳腫瘍覚醒下マッピング加算	・縦隔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・原発性悪性脳腫瘍光線力学療法加算	
・脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)及び脳刺激装置交換術	・食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、小腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、結腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、腎(腎孟)腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、尿管腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、膀胱腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)及び腔腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)
・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	
・仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術(便失禁)	
・羊膜移植術	・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))	・胸腔鏡下弁形成術
・緑内障手術(水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)	・胸腔鏡下弁置換術
・網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)	・経カテーテル大動脈弁置換術
・人工中耳植込術	・経皮的僧帽弁クリップ術
・人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術	・不整脈手術 左心耳閉鎖術(経カテーテル的手術によるもの)
・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)	・経皮的中隔心筋焼灼術
・鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
・鏡視下喉頭悪性腫瘍手術	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術(リードレスペースメーカー)
・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)	・両心室ペースメーカー移植術(心筋電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(心筋電極の場合)
・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)	・両心室ペースメーカー移植術(経静脈電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(経静脈電極の場合)
・内視鏡下甲状腺部分切除、腺腫摘出術、内視鏡下バセドウ甲状腺全摘(亜全摘)術(両葉)、内視鏡下副甲状腺(上皮小体)腺腫過形成手術	・植込型除細動器移植術(経静脈リードを用いるもの又は皮下植込型リードを用いるもの)、植込型除細動器交換術(その他のもの)及び経静脈電極抜去術

施設基準の種類	施設基準の種類
・植込型除細動器移植術(心筋リードを用いるもの)及び植込型除細動器交換術(心筋リードを用いるもの)	・同種死体腎移植術
・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(心筋電極の場合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(心筋電極の場合)	・生体腎移植術 ・膀胱水圧拡張術
・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(経静脈電極の場合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(経静脈電極の場合)	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術 ・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・大動脈バルーンパンピング法(IABP法)	・人工尿道括約筋植込・置換術
・経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)(1日につき)	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術
・補助人工心臓	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・経皮的下肢動脈形成術	・腹腔鏡下仙骨膣固定術
・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(後腹膜)	・腹腔鏡下仙骨膣固定術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(傍大動脈)	・腹腔鏡下腫式子宮全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・腹腔鏡下十二指腸局所切除術(内視鏡処置を併施するもの)	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)
・腹腔鏡下胃切除術(内視鏡手術用支援機器によるもの)	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・腹腔鏡下噴門側胃切除術(内視鏡手術用支援機器によるもの)	・手術の休日加算1(医科点数表第2章第10部手術の通則の12に規定する手術の休日加算1)
・腹腔鏡下胃全摘術(内視鏡手術用支援機器によるもの)	・手術の時間外加算1(医科点数表第2章第10部手術の通則の12に規定する手術の時間外加算1)
・腹腔鏡下胃縮小術(スリープ状切除によるもの)	・手術の深夜加算1(医科点数表第2章第10部手術の通則の12に規定する手術の深夜加算1)
・バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術	・医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術
・胆管悪性腫瘍手術(脾頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)	・胃瘻造設術(内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)
・体外衝撃波胆石破碎術	・医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術(遺伝性乳癌卵巢癌症候群患者に対する乳房切除術に限る。)
・腹腔鏡下肝切除術	・医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術(遺伝性乳癌卵巢癌症候群患者に対する子宮附属器腫瘍摘出術)
・生体部分肝移植術	・輸血管理料I
・同種死体肝移植術	・コーディネート体制充実加算
・体外衝撃波脾石破碎術	・自己クリオプレシピテート作製術(用手法)
・腹腔鏡下脾腫瘍摘出術	・同種クリオプレシピテート作製術
・腹腔鏡下脾体尾部腫瘍切除術	・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
・腹腔鏡下脾頭部腫瘍切除術	・胃瘻造設時嚥下機能評価加算
・同種死体脾移植術、同種死体脾腎移植術	・歯周組織再生誘導手術
・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	・歯根端切除手術の注3
・体外衝撃波腎・尿管結石破碎術	
・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・前眼部三次元画像解析	・
・急性リンパ性白血病細胞の免疫遺伝子再構成を利用した定量的PCR法による骨髄微小残存病変(MRD)量の測定	・
・マルチプレックス遺伝子パネル検査 進行再発固形がん(切除が困難で進行性のもの又は治療後に再発したものであって、原発部位が不明なもの又は治療法が存在しないもの、従来の治療法が終了しているもの若しくは従来の治療法が終了予定のものに限る。)	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注)1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。

(注)2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	1. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	1週間に3~4回、1ヶ月に15回程度
剖検の状況	剖検症例数 42例 / 剖検率 8.9%

(注) 「症例検討会の開催頻度」及び「剖検の状況」欄には、前年度の実績を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
心不全患者在宅支援体制構築事業	木内 良明	病院長、眼科	6,080,000	補	広島県
難病特別対策推進事業	木内 良明	病院長、眼科	934,000	補	厚生労働省
ドクターヘリ導入促進事業	木内 良明	病院長、眼科	252,894,000	補	広島県
がん診療連携拠点病院機能強化事業	木内 良明	病院長、眼科	19,992,800	補	厚生労働省
産科医等確保支援事業	木内 良明	病院長、眼科	815,000	補	広島県
新人看護職員研修事業	木内 良明	病院長、眼科	1,466,000	補	広島県
感染症指定医療機関運営事業	木内 良明	病院長、眼科	3,682,000	補	広島県
新型コロナウイルス感染症重点医療機関等設備整備事業	木内 良明	病院長、眼科	124,595,000	補	広島県
がんゲノム医療中核拠点病院等機能強化事業	木内 良明	病院長、眼科	20,000,000	補	広島県
多機能幹細胞を用いた免疫賦活化療法による新規肝炎／肝癌治療の開発研究	大段 秀樹	消化器外科	28,110,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
C型肝炎ウイルス排除後の病態と予後を規定する因子に関する研究	茶山 一彰	消化器・代謝内科	34,600,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
うつ病の病態に基づく層別化と神経回路調整による革新的診断・治療法開発	山脇 成人	精神科	61,400,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
半月板損傷根治を目指す革新的治療技術の創生研究	安達 伸生	整形外科	51,350,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
呼吸音遠隔モニタシステムに関する研究開発	志馬 伸明	救急集中治療科	163,349,868	補	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
小児がん研究グループによる小児肝がんの海外診療状況調査と国際共同臨床研究基盤整備	檜山 英三	小児外科	1,730,000	補	文部科学省科学研究費補助金
障害者スポーツ選手の熱中症事故を防ぐ-2020年東京パラリンピックを見据えて-	福原 幸樹	診療支援部	500,000	補	文部科学省科学研究費補助金
プラキシズムの長期的動態の脳波筋電図学的分析に基づくスプリント非連続着用の研究	安部倉 仁	咬合・義歯診療科	500,000	補	文部科学省科学研究費補助金
舌痛症に対する抗うつ薬と認知行動療法による治療効果の脳機能画像的評価	土井 充	歯科麻酔科	500,000	補	文部科学省科学研究費補助金
食道癌放射線療法における放射線感受性を加味した正常臓器耐容線量評価法の開発	西淵 いくの	放射線治療科	500,000	補	文部科学省科学研究費補助金
亜全身照射モデルを用いた腸死を防護する放射線防護剤の探索	高橋 一平	放射線治療科	300,000	補	文部科学省科学研究費補助金
神経堤細胞由来間葉系幹細胞と細胞集塊培養技術を用いた新規歯周組織再生療法開発	栗原 英見	歯周診療科	3,800,000	補	文部科学省科学研究費補助金
MMD2変異マウスを用いた侵襲性歯周炎の病態解明	水野 智仁	歯周診療科	3,200,000	補	文部科学省科学研究費補助金
PTSDの発症機構に即した予防法と神経活動操作による新規治療法の開発	淵上 学	精神科	700,000	補	文部科学省科学研究費補助金
認知機能と報酬予測機能の安静時fMRI指標開発とうつ状態バイオタイプ同定への応用	岡田 剛	精神科	800,000	補	文部科学省科学研究費補助金
ゲノム編集技術を用いた先天性好中球減少症の病態解析と治療開発	小林 正夫	小児科	700,000	補	文部科学省科学研究費補助金

非アルコール性脂肪性肝炎に対するペリオステチンアンチセンス核酸の医薬応用	菅野 啓司	総合内科・総合診療科	800,000	補	文部科学省科学研究費補助金
インターフェロンによるB型肝炎ウイルス増殖抑制メカニズムに関する検討	柘植 雅貴	消化器・代謝内科	900,000	補	文部科学省科学研究費補助金
血管内皮細胞培養シートを用いた尋麻疹モデルの構築と血液凝固因子の役割の解明	秀 道広	皮膚科	900,000	補	文部科学省科学研究費補助金
ステロイド受容体を標的とした新規制御性T細胞誘導法の開発と臓器移植への応用	田中 友加	消化器外科	900,000	補	文部科学省科学研究費補助金
ヒト化マウスによる抗ドナー特異的HLA抗体産生機序の解明と個別化治療への臨床応用	田原 裕之	消化器外科	1,100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
大腸癌のサブクラス分類に対応するマウスモデルとオルガノイドの確立とその臨床応用	檜井 孝夫	遺伝子診療科	1,000,000	補	文部科学省科学研究費補助金
肝癌循環腫瘍細胞の免疫回避機構解明と制御法の開発	小林 剛	消化器外科	800,000	補	文部科学省科学研究費補助金
抗炎症効果の高い間葉系幹細胞を微重力培養して用いた虚血心筋細胞の保護と再生	黒崎 達也	消化器外科	1,000,000	補	文部科学省科学研究費補助金
悪性高熱症の新規原因遺伝子の機能解析	安田 季道	手術部	1,000,000	補	文部科学省科学研究費補助金
敗血症性脳症の発症メカニズム解明および新たな治療法確立	細川 康二	集中治療部	600,000	補	文部科学省科学研究費補助金
神経ペプチドを標的とした変形性関節症の新規治療戦略策定に向けた分子機序解明	中佐 智幸	未来医療センター	1,100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
去勢抵抗性前立腺癌オルガノイドの樹立とその解析による個別化医療の確立	亭島 淳	泌尿器科	1,200,000	補	文部科学省科学研究費補助金
大脳機能、聽覚賦活化による加齢性平衡障害の予防・治療法の確立	工田 昌也	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
角膜感染症に対する光線力学的化学療法(PACT)の臨床応用	近間 泰一郎	眼科	900,000	補	文部科学省科学研究費補助金
歯周炎で誘導されるRNA結合蛋白HuRを介した関節リウマチ悪化メカニズムの解明	應原 一久	歯周診療科	600,000	補	文部科学省科学研究費補助金
新しい咀嚼破碎圧検査の開発	津賀 一弘	口腔インプラント診療科	1,300,000	補	文部科学省科学研究費補助金
インプラント支持を可能とする生体活性チタン多孔体を用いた骨再建療法の確立	土井 一矢	口腔インプラント診療科	1,300,000	補	文部科学省科学研究費補助金
無血清培養系における口腔癌患者由来活性化リンパ球からのiPS細胞の樹立と治療応用	山崎 佐知子	顎・口腔外科	1,000,000	補	文部科学省科学研究費補助金
口腔扁平上皮癌由来Side Population細胞の癌幹細胞としての特性解析	虎谷 茂昭	顎・口腔外科	900,000	補	文部科学省科学研究費補助金
スタチンの血管新生作用と骨形成作用による薬剤関連頸骨壊死の予防・治療法の開発	中川 貴之	口腔顎顔面再建外科	1,100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
血中循環口腔癌細胞の分離とその細胞特性解析によるリキッドバイオプシーの確立研究	小泉 浩一	顎・口腔外科	1,000,000	補	文部科学省科学研究費補助金
骨形成能と抗菌活性を有する高機能性連通多孔体ハイドロキシアパタイトの開発	武知 正晃	口腔顎顔面再建外科	1,100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
HPV16陽性口腔扁平上皮癌における遺伝子メチル化を介した悪性化機構の解明	杉山 勝	口腔健康科	1,000,000	補	文部科学省科学研究費補助金
側坐核のドバミン神経刺激による下行性鎮痛系の増強を応用した新しい全身麻酔法の開発	入船 正浩	歯科麻酔科	700,000	補	文部科学省科学研究費補助金
口腔癌細胞のEMT調節機構におけるZIPファミリー分子の解析	島末 洋	口腔顎顔面再建外科	1,200,000	補	文部科学省科学研究費補助金

変形性頸関節症の軟骨破壊に対するAngptl2の作用機序解明と新規治療法への応用	麻川 由起	矯正歯科	1,400,000	補	文部科学省科学研究費補助金
プロバイオティクスによる周術期口腔機能管理の有用性	河口 浩之	口腔総合診療科	700,000	補	文部科学省科学研究費補助金
動脈硬化患者におけるプロポーフォール使用時の中心血圧低下の機序と予測因子	岡田 芳幸	障害者歯科	200,000	補	文部科学省科学研究費補助金
RFID技術を活用した個人線量計装着検知システムの構築	田村 恵美	診療支援部	800,000	補	文部科学省科学研究費補助金
膝前十字韌帯再建術後に再断裂を生じる重層的因素解明への新規アプローチ	中前 敦雄	整形外科	200,000	補	文部科学省科学研究費補助金
ウェアラブル端末を用いた日常生活動作における体幹・四肢運動機能評価とロコモ対策	中西 一義	整形外科	700,000	補	文部科学省科学研究費補助金
物性統一した嚥下機能評価の確立と舌圧の有効性と嚥下障害の脳局在の解明	細見 直永	脳神経内科	600,000	補	文部科学省科学研究費補助金
ロービジョン患者が利用し易い医療機関Webページのコンテンツ要件の定義	田中 武志	医療情報部	900,000	補	文部科学省科学研究費補助金
初期胚における放射線細胞応答としてのエピジェネティクス変化が細胞分化に与える影響	本庶 仁子	血液内科	900,000	補	文部科学省科学研究費補助金
難治性造血器腫瘍におけるPVT1-MYC融合遺伝子の解析および臨床応用	名越 久朗	血液内科	1,100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
直腸癌個別化医療に向けたDNA修復能に基づく治療効果及び有害事象予測指標の構築	今野 伸樹	放射線治療科	600,000	補	文部科学省科学研究費補助金
ヒト培養肝細胞を用いた非アルコール性脂肪肝炎のin vitroモデルの作成	村上 英介	消化器・代謝内科	1,000,000	補	文部科学省科学研究費補助金
肺癌患者における薬剤性肺障害の病態解明: RAGE/HMGB1 axisの視点から	山口 覚博	呼吸器内科	900,000	補	文部科学省科学研究費補助金
癌幹細胞の形質維持に対するPAI-1の関与の検討;進行肺癌を治癒に導く治療の開発	益田 武	呼吸器内科	800,000	補	文部科学省科学研究費補助金
膀胱に対する化学療法における、効果予測のバイオマーカーを用いた個別化治療の確立	近藤 成	消化器外科	800,000	補	文部科学省科学研究費補助金
次世代シーケンス法を用いたARDS末梢気道細菌叢解析による多角的病態解明	京 道人	高度救命救急センター	900,000	補	文部科学省科学研究費補助金
ヒト頭蓋骨骨髓間質細胞は重症神経疾患に対する新しい再生治療ソースとなるか?	光原 崇文	脳神経外科	500,000	補	文部科学省科学研究費補助金
Pin1阻害剤による新規尿路結石予防薬の開発を目指して	上野 剛	泌尿器科	1,300,000	補	文部科学省科学研究費補助金
Bio Tubeを用いた集合リンパ管再生研究	吉田 周平	国際リンパ浮腫治療センター	800,000	補	文部科学省科学研究費補助金
口腔癌におけるSnailを介した癌幹細胞特性の後天的獲得機構の解明	植月 亮	口腔顎顔面再建外科	900,000	補	文部科学省科学研究費補助金
歯由来の間葉系幹細胞におけるTh1系サイトカインによる新規分化誘導調節機構の解明	石田 陽子	口腔顎顔面再建外科	1,000,000	補	文部科学省科学研究費補助金
プロバイオティクス(L8020菌)を用いた障害者の歯周病発症リスクの軽減	尾田 友紀	障害者歯科	1,000,000	補	文部科学省科学研究費補助金
変形性膝関節症進行抑制に向けた膝関節急速内反運動改善に対する介入研究	島田 昇	診療支援部	600,000	補	文部科学省科学研究費補助金
敗血症患者に対する生活の質改善のための早期リハビリテーション方法の構築	対東 俊介	診療支援部	200,000	補	文部科学省科学研究費補助金
マルチオミックス解析を用いた原発性免疫不全症の病因病態解析	岡田 賢	小児科	4,800,000	補	文部科学省科学研究費補助金

一生細胞解析による小児腫瘍における次世代Cancer Liquid Biopsy	檜山 英三	小児外科	15,700,000	補	文部科学省科学研究費補助金
ユニークな表現型を示すB細胞による新規癌免疫回避機構の解明と制御法の開発	大段 秀樹	消化器外科	12,900,000	補	文部科学省科学研究費補助金
特定の病原体に対する易感染性に着眼した原発性免疫不全症の病因病態解明	岡田 賢	小児科	4,300,000	補	文部科学省科学研究費補助金
変形性関節症における老化細胞エクソソームの解明と機械学習を利用した治療薬の探索	味八木 茂	未来医療センター	4,600,000	補	文部科学省科学研究費補助金
細胞診検体を用いてmiRNAとlncRNAを標的とする胆管癌の診断モデルの構築	有廣 光司	病理診断科	1,400,000	補	文部科学省科学研究費補助金
Cureを可能とする関節リウマチの早期予測バイオマー カーの創出	平田 信太郎	リウマチ・膠原病科	1,000,000	補	文部科学省科学研究費補助金
アルツハイマー病におけるタウ蛋白凝集機構のモデル細胞確立	高橋 哲也	脳神経内科	1,100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
表情認知に着目した大うつ病性障害と双極性障害の新たな鑑別法の創出	樋 尚之	精神科	900,000	補	文部科学省科学研究費補助金
がんサバイバーの慢性疼痛に対する認知行動療法の施行と神経科学的基盤の解明	倉田 明子	精神科	1,300,000	補	文部科学省科学研究費補助金
自閉スペクトラム症児の母子関係強化に関する遺伝子多型解析と脳機能画像研究	梶梅 あい子	小児科	1,100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
食道癌化学放射線療法における人工知能を用いた治療効果予測モデルの開発	村上 祐司	放射線治療科	1,400,000	補	文部科学省科学研究費補助金
腎虚血再灌流障害後に食塩感受性高血圧が発症する機序の解明	土井 盛博	透析内科	1,000,000	補	文部科学省科学研究費補助金
OSMR β の機能異常からみる皮膚そう痒の新規機序	田中 晓生	皮膚科	1,100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
TALENを用いたゲノム編集によるユニバーサルな抗原特異的制御性T細胞の開発	川瀬 孝和	血液内科	700,000	補	文部科学省科学研究費補助金
関節リウマチ患者由来抗シトルリン化ペプチド抗体を用いた破骨細胞分化抑制剤の開発	杉山 英二	リウマチ・膠原病科	1,600,000	補	文部科学省科学研究費補助金
ベージュ脂肪細胞の機能維持に必要な因子の探索と機能解析	大野 晴也	呼吸器内科	800,000	補	文部科学省科学研究費補助金
脂肪肝切除における肝不全と周術期の癌進展におけるメカニズム解析・新規治療法の開発	黒田 慎太郎	消化器外科	600,000	補	文部科学省科学研究費補助金
拍動流体外循環と冷却血液大動脈内注入法を併用した胸部大動脈瘤の対麻痺予防	末田 泰二郎	心臓血管外科	1,200,000	補	文部科学省科学研究費補助金
胸腺上皮性腫瘍の免疫逃避機構解明と免疫療法の開発	宮田 義浩	呼吸器外科	1,200,000	補	文部科学省科学研究費補助金
吸入麻酔薬の心筋保護作用とマイクロドメイン・ミコンドリアダイナミクスの役割	堤 保夫	麻酔科	1,200,000	補	文部科学省科学研究費補助金
中性子捕捉療法に対するホウ素修飾アデノウイルスベクターの臨床応用へ向けて	濱 聖司	脳神経外科	1,100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
脊髄損傷ラットに対する微小重力環境培養を行った頭蓋骨由来間葉系幹細胞移植	武田 正明	脳神経外科	400,000	補	文部科学省科学研究費補助金
MSC由来エクソソームを用いた新たなデリバリーシステムと骨肉腫治療の開発	古田 太輔	整形外科	1,200,000	補	文部科学省科学研究費補助金
大腿骨頭壞死症に対するmicroRNAを診断マーカーとした新たな診断法の確立	庄司 剛士	整形外科	1,000,000	補	文部科学省科学研究費補助金
磁気ターゲティングを用いた勃起不全における新規治療アプローチの展開	井上 省吾	泌尿器科	1,100,000	補	文部科学省科学研究費補助金

転写超保存領域T-UCRを標的とした去勢抵抗性前立腺癌の新規診断・治療法の開発	松原 昭郎	泌尿器科	1,100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
抗がん剤耐性膀胱がんにおける抗NOTCH2抗体と抗PD-1抗体併用療法の確立	林 哲太郎	泌尿器科	1,100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
上気道好酸球性炎症の表現型解析による精密医療の開発	竹野 幸夫	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	900,000	補	文部科学省科学研究費補助金
立体間葉系幹細胞集塊と軟骨誘導を利用した他家移植歯周組織再生療法開発	加治屋 幹人	歯周診療科	1,200,000	補	文部科学省科学研究費補助金
創薬スクリーニングによるNR4A1を標的にした薬物性歯肉増殖症の治療薬の探索	松田 真司	歯周診療科	1,300,000	補	文部科学省科学研究費補助金
抗菌活性を再生できる新規抗菌性接着システムの開発	岡崎 洋平	口腔インプラント診療科	500,000	補	文部科学省科学研究費補助金
誤嚥性肺炎患者の経口摂取可否を客観的に診断するための科学的根拠の確立	吉田 光由	咬合・義歯診療科	700,000	補	文部科学省科学研究費補助金
多孔質セラミックスを用いた高機能培養骨による顎骨再建の臨床応用に向けた基礎的研究	多田 美里	顎・口腔外科	1,000,000	補	文部科学省科学研究費補助金
口腔癌に対する高精度高線量率組織内照射の規格化	柿本 直也	歯科放射線科	1,100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
TMEM16E変異による顎骨に生じる硬組織形成線維性病変の発症メカニズムの解明	水田 邦子	顎・口腔外科	1,100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
細胞接着分子を標的とした選択的オートファジー誘導による口腔癌転移阻止療法の開発	林堂 安貴	顎・口腔外科	1,100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
HBp17/FGFBPを制御するエクソソーム由来miRNAによる口腔癌治療の開発	新谷 智章	口腔検査センター	700,000	補	文部科学省科学研究費補助金
口腔癌の治療抵抗性獲得機構の解析	東川 晃一郎	口腔顎顔面再建外科	1,100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
口腔癌幹細胞ニッチにおけるT細胞抑制性リガンドPD-L1の発現動態と病態解析研究	谷 亮治	顎・口腔外科	800,000	補	文部科学省科学研究費補助金
変形性顎関節症の発症メカニクスの解明とNFATc阻害剤を用いた新規治療法の確立	廣瀬 尚人	矯正歯科	1,100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
機能性アメロゲニンペプチドを応用した骨オルガノイド作製と骨再生への展開	吉見 友希	矯正歯科	900,000	補	文部科学省科学研究費補助金
コールドレーザーを応用了した歯の移動時の歯周組織代謝誘導能と疼痛軽減の作用機序解明	國松 亮	矯正歯科	1,500,000	補	文部科学省科学研究費補助金
咽喉頭癌放射線治療後のモバイルアプリケーションによる音声リハビリテーションの効果	対東 真帆子	診療支援部	500,000	補	文部科学省科学研究費補助金
情報サービス利用者の行動や思考を支援する機能の今後のあり方～電子カルテを例に～	津久間 秀彦	医療情報部	1,000,000	補	文部科学省科学研究費補助金
没入型内視鏡画像処理機能と力学提示を応用した安全な内視鏡外科手術システムの開発	恵木 浩之	消化器外科	800,000	補	文部科学省科学研究費補助金
放射線治療における治療計画および照射位置精度管理の第三者調査手法の開発	小澤 修一	放射線治療科	1,200,000	補	文部科学省科学研究費補助金
Integrator complex による脂肪細胞分化制御機構の解明	大谷 裕一郎	総合内科・総合診療科	600,000	補	文部科学省科学研究費補助金
大腸癌に対する間質反応抑制剤と免疫チェックポイント阻害剤との併用療法の効果の検討	弓削 亮	内視鏡診療科	2,000,000	補	文部科学省科学研究費補助金
免疫チェックポイント阻害剤と他の癌治療を併用した際の細胞障害性T細胞活性の検証	坂本 信二郎	呼吸器内科	1,100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
若年性ミオクロニーでんかんにおける脳磁図所見のデータベース化に向けて	香川 幸太	脳神経外科	600,000	補	文部科学省科学研究費補助金

内臓動脈瘤のコンピュータシミュレーションによる血流動態解析	三谷 英範	放射線診断科	900,000	補	文部科学省科学研究費補助金
経皮的椎体形成術における骨セメント漏出予防のためのラジオ波焼灼および骨強度の研究	帖佐 啓吾	放射線部	2,400,000	補	文部科学省科学研究費補助金
画像誘導放射線治療の患者被ばく線量評価システムの開発と画質を考慮した最適化の挑戦	日置 一成	放射線治療科	500,000	補	文部科学省科学研究費補助金
放射線治療における不均質補正の第三者評価システムの開発	中尾 稔	放射線治療科	1,400,000	補	文部科学省科学研究費補助金
STAT1機能獲得型変異が自己免疫性の内分泌障害を引き起こす分子病態の解明	香川 札子	小児科	1,500,000	補	文部科学省科学研究費補助金
PCCRCの病態解明にむけた試み	二宮 悠樹	内視鏡診療科	2,200,000	補	文部科学省科学研究費補助金
心血管疾患発症予防を目的とした中性脂肪の治療目標値の推定	梶川 正人	未来医療センター	1,100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
メタボローム解析によるアルドステロン産生腺腫の治療標的因子や診断マーカーの開発	小武家 和博	内分泌・糖尿病内科	1,400,000	補	文部科学省科学研究費補助金
粉末siRNA製剤を用いたCCL15を標的とする気管支喘息の新規経気道治療の開発	宮本 真太郎	医療安全管理部	700,000	補	文部科学省科学研究費補助金
IPFの新規バイオマーカーおよび治療標的としてのIL-18BPの有用性	堀益 靖	呼吸器内科	200,000	補	文部科学省科学研究費補助金
ケラチノサイト由来神経ペプチドによる皮膚2型炎症反応制御機構の解明	松尾 佳美	皮膚科	1,300,000	補	文部科学省科学研究費補助金
単一細胞解析を基盤にしたアルドステロン合成機構の解明と創薬標的因子の同定	一町 澄宜	内分泌・糖尿病内科	1,000,000	補	文部科学省科学研究費補助金
高次脳機能評価に基づく成長ホルモン補充療法の効果判定と補充療法適応指針の作成	木下 康之	脳神経外科	700,000	補	文部科学省科学研究費補助金
ページュ脂肪細胞におけるUCP1非依存性熱産生機構の解明	長野 学	内分泌・糖尿病内科	1,200,000	補	文部科学省科学研究費補助金
乳癌幹細胞および制御性T細胞の定量化による新たな薬物療法の効果予測法	末岡 智志	乳腺外科	800,000	補	文部科学省科学研究費補助金
呼吸器外科領域における経皮的血液ガスモニタリング機器使用の有用性及び安全性の検討	藤原 誠	呼吸器外科	500,000	補	文部科学省科学研究費補助金
パクリタキセルによる神経障害性疼痛に対する抑肝散の鎮痛効果の検討	加藤 貴大	麻酔科	800,000	補	文部科学省科学研究費補助金
線維芽細胞を用いた悪性高熱症の低侵襲的診断法の確立	近藤 隆志	麻酔科	1,000,000	補	文部科学省科学研究費補助金
脊髄損傷における頭蓋骨由来間葉系幹細胞を用いた新たな再生医療の開発応用	阿美古 将	脳神経外科	1,000,000	補	文部科学省科学研究費補助金
カーボンナノチューブによる末梢神経再生促進効果の解明と新たな人工神経開発への応用	兒玉 祥	整形外科	700,000	補	文部科学省科学研究費補助金
ゲノム編集法を用いた関節リウマチ滑膜におけるサバインビアントの役割の解明	茂久田 肇	リウマチ・膠原病科	1,000,000	補	文部科学省科学研究費補助金
卵巣粘液性癌に対するバイオマーカーとしての CDX2 の発現動態の解明	古宇 家正	周産母子センター	1,200,000	補	文部科学省科学研究費補助金
角膜実質細胞の分化における小胞体ストレス応答の働き	宮城 秀考	眼科	1,800,000	補	文部科学省科学研究費補助金
HMGB1-RAGE axis制御による歯周炎及び血糖値の改善メカニズムの解明	芥川 桂一	歯科保存診療科	1,700,000	補	文部科学省科学研究費補助金
歯周組織で誘導されるHuRおよびエクソソームを介した関節リウマチ増悪機序の解明	宗永 修一	口腔総合診療科	1,600,000	補	文部科学省科学研究費補助金

浸潤γδT細胞による新規歯髄硬組織誘導メカニズムの解明	進藤 智	歯科保存診療科	1,500,000	補	文部科学省科学研究費補助金
歯髓炎におけるsemaphorin7Aの生理学的機能の解析と臨床応用	西藤 法子	歯科保存診療科	1,600,000	補	文部科学省科学研究費補助金
骨形成促進型ハイドロキシアパタイトを用いた骨粗鬆症に対する骨再生療法の確立	牧原 勇介	咬合・義歯診療科	1,600,000	補	文部科学省科学研究費補助金
FGF受容体シグナル阻害を用いたインプラント周囲炎骨欠損に対する骨再生療法の確立	横井 美有希	咬合・義歯診療科	800,000	補	文部科学省科学研究費補助金
補綴治療による機能回復の個別化予測モデルの開発	森 隆浩	口腔インプラント診療科	1,400,000	補	文部科学省科学研究費補助金
EMTを介した口腔癌の浸潤機構におけるAnnexinA8の解析	石田 扶美	口腔顎顔面再建外科	1,100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
メタゲノム・メタ16S解析を用いた口腔癌患者の腸内並びに口腔内細菌叢の多様性解析	松井 健作	顎・口腔外科	1,600,000	補	文部科学省科学研究費補助金
顎顔面口腔領域遺伝性疾患特異的iPSCの樹立・ゲノム手術・疾患モデルに関する研究	濱田 充子	顎・口腔外科	1,100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
無血清培養系での歯髄由来iPS細胞の未分化性の維持に関する細胞増殖因子群の同定	田口 有紀	顎・口腔外科	800,000	補	文部科学省科学研究費補助金
CD133陽性・陰性口腔癌細胞の細胞接着分子の翻訳後修飾の解析と診断治療応用	坂上 泰士	顎・口腔外科	1,100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
乳歯歯髄由来間葉系幹細胞のエクソソームを応用した低侵襲性顎裂閉鎖治療法の確立	阿部 崇晴	矯正歯科	1,600,000	補	文部科学省科学研究費補助金
アセトアミノフェンのCOX阻害作用の解明と歯根吸収抑制治療への応用	山本 多栄子	矯正歯科	1,400,000	補	文部科学省科学研究費補助金
成長ホルモン補充療法と機能的矯正装置を併用した新規矯正歯科治療法の確立	栗田 哲也	矯正歯科	1,400,000	補	文部科学省科学研究費補助金
カンボジアや東南アジア地域における小児への歯科保健教育モデルの開発	岩本 優子	小児歯科	700,000	補	文部科学省科学研究費補助金
総合健診における検査値の有意な変化量推定の新しいアプローチとその有用性の評価	川野 伶緒	広島臨床研究開発支援センター	100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
慢性肝炎患者におけるサルコペニアおよび肝組織改善のための運動療法プログラムの確立	筆保 健一	診療支援部	600,000	補	文部科学省科学研究費補助金
バイオミネラル生成プロセスへの蛋白分解酵素の導入とエナメル質再生修復への応用	谷本 幸太郎	矯正歯科	2,300,000	補	文部科学省科学研究費補助金
カーボンナノチューブと吸収性コラーゲンメンブレンを用いた人工韌帯の開発	亀井 豪器	整形外科	1,000,000	補	文部科学省科学研究費補助金
大腸癌における癌幹細胞及びEMT制御に関するメトホルミンの作用機序の解析	高倉 有二	消化器外科	1,100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
歯周病原細菌による腸管上皮コシル化抑制が関節リウマチを増悪させる機序の解明	濱本 結太	歯周診療科	1,100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
低宿主細胞障害性ヘパリン・LL37複合体を用いた新規歯内療法の確立	吉田 和真	歯科保存診療科	1,100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
BDNFによるセメント芽細胞分化誘導を基軸としたセメント質再生の基礎研究	佐々木 慎也	歯科保存診療科	1,100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
矯正歯科治療患者の細菌叢変化を含む口腔内環境変化の解明と新たな予防システムの構築	角 伊三武	矯正歯科	1,100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
タイトジャンクション構成蛋白を標的とした核酸医薬による口腔癌転移阻止療法の開発	信本 忠義	顎・口腔外科	1,100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
コレステロール代謝の修飾によるCD8+T細胞の抗腫瘍活性の増強効果の解明	三島 健史	顎・口腔外科	1,100,000	補	文部科学省科学研究費補助金

脳トランスクリプトームを起点としたAPOE4による認知症発症促進メカニズムの解明	山崎 雄	脳神経内科	3,500,000	補	文部科学省科学研究費補助金
幼少期の不遇な体験を持つうつ病の神経回路病態に基づく治療・予防に關わる基盤研究	岡本 泰昌	精神科	5,500,000	補	文部科学省科学研究費補助金
局所進行非小細胞肺癌に対する肺機能画像を用いたオーダーメイド放射線治療法の開発	木村 智樹	放射線治療科	2,200,000	補	文部科学省科学研究費補助金
腸内細菌叢に標的をおいた敗血症の多角的病態解明および新規治療法開発	志馬 伸朗	救急集中治療科	3,000,000	補	文部科学省科学研究費補助金
腱・韌帯の分子生物学的情報を基盤とした新たな治療法の開発	安達 伸生	整形外科	5,300,000	補	文部科学省科学研究費補助金
筋萎縮性側索硬化症の原因遺伝子変異モデルを用いた発症機序解明・治療薬の探索	丸山 博文	脳神経内科	1,500,000	補	文部科学省科学研究費補助金
深層学習を用いた心拍出量予測およびそれに基づく造影CTプロトコルの最適化	立神 史稔	放射線診断科	1,100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
理想的線量分布による患者固有テンプレートを用いた高精度放射線治療計画法の研究開発	三木 健太郎	放射線部	900,000	補	文部科学省科学研究費補助金
全身循環シミュレータを用いたCT angiographyにおける至適造影法の開発	檜垣 徹	放射線診断科	1,200,000	補	文部科学省科学研究費補助金
ユビキチン修飾異常による複合免疫不全症の病態解明	津村 弥來	小児科	1,100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
宿主と腸内共生菌のゲノム情報を用いた機械学習による非ウイルス性肝発癌リスクの予測	三木 大樹	消化器・代謝内科	1,300,000	補	文部科学省科学研究費補助金
大腸T1癌術前転移予測とゲノムマーカーによる新たな内視鏡的根治判定基準の開発	岡 志郎	内視鏡診療科	2,100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
自家単離ミトコンドリア局所移植による重症下肢虚血改善に関する基礎的研究	木原 康樹	循環器内科	1,100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
遺伝性不整脈疾患における筋小胞体膜蛋白質の遺伝子解析と機能異常	伊藤 英樹	医療安全管理部	1,100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
骨髄の性質変化に着目した肺線維症に有効な骨髄ALDH高発現細胞集団の選別	中島 拓	呼吸器内科	1,200,000	補	文部科学省科学研究費補助金
特発性肺線維症におけるGDF-15の新規バイオマーカー・治療標的としての確立	大下 慎一郎	救急集中治療科	1,000,000	補	文部科学省科学研究費補助金
間葉系幹細胞による腎線維化の抑制効果:免疫抑制療法との併用	正木 崇生	腎臓内科	1,100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
IgE受容体架橋形成の定量的測定によるI型アレルギー検査法の開発	松尾 裕彰	薬剤部	1,200,000	補	文部科学省科学研究費補助金
テロメアバイオロジーからの予後不良神経芽腫層別法の確立	栗原 将	小児外科	1,100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
統合画像解析を用いた乳癌に対する革新的な新規治療効果予測システムの開発	舛本 法生	乳腺外科	1,200,000	補	文部科学省科学研究費補助金
乳癌幹細胞の薬剤感受性に基づいた新しい個別化薬剤選択システムの確立	角倉 学行	乳腺外科	1,200,000	補	文部科学省科学研究費補助金
制御性B細胞機能を保持し抗HLA抗体産生を制御する抗体関連型拒絶反応治療法の開発	井手 健太郎	消化器外科	1,300,000	補	文部科学省科学研究費補助金
食道癌における癌特異的 transfer RNA 断片の同定と機能解析	浜井 洋一	消化器外科	1,300,000	補	文部科学省科学研究費補助金
大動脈石灰化因子(アポリポ蛋白E)を介した肝内在性NK細胞機能制御機構の解明	大平 真裕	未来医療センター	1,200,000	補	文部科学省科学研究費補助金
抗線維化作用を有する間葉系幹細胞による心筋梗塞後心機能低下の抑制	高橋 信也	心臓血管外科	1,700,000	補	文部科学省科学研究費補助金

肺腺癌のATP代謝経路を標的とした新規治療戦略の開発	見前 隆洋	呼吸器外科	1,100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
模擬微小重力環境で培養したヒト頭蓋骨由来間葉系幹細胞の脳梗塞ラットへの移植効果	岡崎 貴仁	脳神経外科	1,100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
マイクロニードラレイシートを用いた軟骨再生医療の開発	石川 正和	整形外科	1,600,000	補	文部科学省科学研究費補助金
胎盤形成不全を伴う疾患発症原因タンパクとしてのサブレイン機能解析	杉本 潤	産科婦人科	1,600,000	補	文部科学省科学研究費補助金
頭頸部癌における人工知能を用いた内視鏡と経口超音波による超高精度診断モデルの開発	上田 勉	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	900,000	補	文部科学省科学研究費補助金
アルドステロンによって誘発される網膜神経節細胞死と神経保護療法の開発	廣岡 一行	眼科	1,500,000	補	文部科学省科学研究費補助金
全身疾患関連口腔細菌遺伝子の迅速検出法の確立	北川 雅恵	口腔検査センター	1,200,000	補	文部科学省科学研究費補助金
共役因子MTI-IIによるエストロゲンシグナル調節を介した硬組織再生療法の開発	土屋 志津	歯科保存診療科	1,100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
エクソソームを介する歯周組織再生メカニズム解明および歯周組織再生治療法への応用	岩田 倫幸	歯周診療科	1,300,000	補	文部科学省科学研究費補助金
BDNFによる歯髄細胞とマクロファージの細胞連携を基盤とした歯髄保存療法の開発	武田 克浩	歯科保存診療科	1,000,000	補	文部科学省科学研究費補助金
要介護者の咀嚼能力が腸内細菌叢と短鎖脂肪酸產生に及ぼす影響の解明	森田 晃司	歯周診療科	1,100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
歯の喪失が認知機能低下を引き起こすメカニズムの解明	大上 博史	口腔インプラント診療科	2,200,000	補	文部科学省科学研究費補助金
義歯床深層にカンジダ菌を定着させない抗菌性義歯床用材料の開発	阿部 泰彦	口腔インプラント診療科	1,000,000	補	文部科学省科学研究費補助金
骨質改善療法が咀嚼機能および認知機能におよぼす影響の探索	久保 隆靖	口腔インプラント診療科	1,200,000	補	文部科学省科学研究費補助金
慢性咀嚼筋痛発症過程における中枢神経系の機能的变化の機序の解明	吉田 充広	歯科麻酔科	1,700,000	補	文部科学省科学研究費補助金
無血清培養系iPS細胞を用いたPTEN異常Cowden症候群の遺伝子治療の開発	神田 拓	顎・口腔外科	1,300,000	補	文部科学省科学研究費補助金
Snail誘導型口腔癌転移能獲得機構におけるEMTと癌幹細胞の関与の解明	小野 重弘	顎・口腔外科	1,000,000	補	文部科学省科学研究費補助金
ヒト唾液腺腫瘍における核内受容体を介した抗癌剤抵抗性獲得機序に関する研究	石岡 康希	口腔顎顔面再建外科	1,100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
口腔細菌を標的としたがん化学療法における全身合併症予防システムの構築	西 裕美	口腔総合診療科	1,300,000	補	文部科学省科学研究費補助金
苦味受容体TAS2Rファミリーによる小児の齶触予防メカニズムの解明	香西 克之	小児歯科	2,300,000	補	文部科学省科学研究費補助金
乳歯歯髄幹細胞の最適な移植条件探索とコールドレーザーによる口蓋裂再生治療法の確立	柄 優至	矯正歯科	1,100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
口腔内耐性菌の分布の把握と歯科による口腔衛生管理が医療・介護関連肺炎に及ぼす影響	吉川 峰加	口腔インプラント診療科	1,400,000	補	文部科学省科学研究費補助金
IoTやICTを活用し、AIによる介入を目指した生活習慣の遠隔指導の効果	米田 真康	内分泌・糖尿病内科	1,200,000	補	文部科学省科学研究費補助金
連続血液粘度測定法に基づく人工心肺中のマイクロバブル発生予測のモデル化と臨床応用	宮本 聰史	診療支援部	1,700,000	補	文部科学省科学研究費補助金
組織線維化に関わるmicroRNA-26aの機能解明、および線維化治療への展開	眞田 洋平	未来医療センター	1,400,000	補	文部科学省科学研究費補助金

レンバチニブの肝癌免疫微小環境への影響についての検討	大野 敦司	消化器・代謝内科	1,200,000	補	文部科学省科学研究費補助金
新規マイクロ波乳房画像診断システムによる高精度3次元画像識別機能開発	笛田 伸介	乳腺外科	700,000	補	文部科学省科学研究費補助金
マイクロRNAを用いた脳小血管病の認知症・脳卒中発症予測モデルの確立	柳津 智久	脳神経内科	600,000	補	文部科学省科学研究費補助金
てんかん焦点切除術後の脳機能温存への生態信号限界値:広帯域皮質脳波での探索	音成 秀一郎	脳神経内科	1,100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
ヒストン・メチル化障害による恐怖記憶の消去障害の機序解明とPTSD治療法の開発	片岡 努	精神科	1,300,000	補	文部科学省科学研究費補助金
造影下低エネルギーX線照射による被ばく線量定量化及び新規放射線治療法実現性の検討	河原 大輔	放射線治療科	1,000,000	補	文部科学省科学研究費補助金
免疫不全マウスを用いた異種移植によるTAM芽球のhomingに関わる解析	早川 誠一	周産母子センター	1,400,000	補	文部科学省科学研究費補助金
マイトラクリップ術前後の左室圧容積曲線の解析と予後予測の研究	池永 寛樹	循環器内科	1,300,000	補	文部科学省科学研究費補助金
PD-1阻害薬の耐性化機構におけるMUC1の役割	難波 将史	がん化学療法科	1,100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
ヒストン修飾による腹膜上皮細胞の老化を介した腹膜線維化の機序の解明	前田 和也	広島臨床研究開発支援センター	1,200,000	補	文部科学省科学研究費補助金
汗アレルギーにおける抗原感作経路とIgE産生機序の解明	石井 香	皮膚科	1,800,000	補	文部科学省科学研究費補助金
移植後アロ応答性T細胞疲弊機構の人為的誘導による新規免疫制御法の開発	谷峰 直樹	消化器外科	1,100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
病的肥満症における内臓脂肪局在自然免疫細胞を介した慢性炎症誘導機構の解明と制御	佐伯 吉弘	消化器外科	1,100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
悪性高熱症の新規原因遺伝子の探索	神崎 理英子	手術部	1,600,000	補	文部科学省科学研究費補助金
熱/労作不耐ヒアノジン受容体変異の関連性の探索	野田 祐子	麻酔科	1,300,000	補	文部科学省科学研究費補助金
CACNA1S変異が細胞内カルシウム動態に及ぼす影響の検討	大月 幸子	麻酔科	1,900,000	補	文部科学省科学研究費補助金
気管挿管の確実・安全性向上のための人工知能による生体構造物の認識・誘導技術の構築	鈴木 廉	高度救命救急センター	500,000	補	文部科学省科学研究費補助金
重症間質性肺炎急性増悪の治療標的分子同定および新規治療法開発	矢野 佳子	救急集中治療科	1,100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
重症患者に発症するびまん性神経障害の動物モデル作成及び病態解明	太田 浩平	救急集中治療科	1,100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
老化細胞と組織線維化を標的とした腱変性および腱損傷の新規治療の探索	生田 祥也	整形外科	1,100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
血友病性関節症における関節超音波画像診断のスコアリングシステムの構築	山崎 尚也	輸血部	2,500,000	補	文部科学省科学研究費補助金
扁平上皮分化を伴う浸潤性膀胱癌におけるJAG1の役割の解明	池田 健一郎	泌尿器科	2,000,000	補	文部科学省科学研究費補助金
去勢抵抗性前立腺がんに対するアセチル化HMGB1を標的とした新規診断治療法の確立	後藤 景介	泌尿器科	1,300,000	補	文部科学省科学研究費補助金
腎癌免疫療法時代の新たな治療戦略構築を目的としたDDX41の機能解明	稗田 圭介	泌尿器科	1,200,000	補	文部科学省科学研究費補助金
Hippo経路を制御する受容体型チロシンキナーゼの探索および頭頸部癌治療への応用	安藤 俊範	口腔検査センター	1,100,000	補	文部科学省科学研究費補助金

P. gingivalis感染によるNASH関連肝癌促進メカニズムの網羅的解析	坂本 真一	口腔検査センター	1,600,000	補	文部科学省科学研究費補助金
ハイブリット組み換えPhosphophorynを応用した新規歯髄保存療法の開発	中西 悅	歯科保存診療科	1,600,000	補	文部科学省科学研究費補助金
間葉系幹細胞が高発現する MXRA5 の歯髄組織恒常性機構探索と再生医療への応用	吉田 和真	歯科保存診療科	1,600,000	補	文部科学省科学研究費補助金
特発性歯肉線維腫症治療の標的分子の探索	岡信 愛	歯周診療科	1,400,000	補	文部科学省科学研究費補助金
歯周病原細菌特異的CAR導入Treg細胞を用いた関節リウマチ抑制効果の検討	濱本 結太	歯周診療科	900,000	補	文部科学省科学研究費補助金
侵襲性歯周炎新規モデルラットのインプラントの周囲組織反応の解明	岡田 信輔	歯科保存診療科	1,100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
細胞導入型バイオメンブレンの新規開発	沖 佳史	口腔インプラント診療科	2,300,000	補	文部科学省科学研究費補助金
軟組織/硬組織親和性を有する新規ハイブリッドチタンメンブレンの開発	保田 啓介	咬合・義歯診療科	800,000	補	文部科学省科学研究費補助金
BDNFを用いた新規インプラント周囲炎治療法開発の基礎研究	佐々木 慎也	歯周診療科	1,900,000	補	文部科学省科学研究費補助金
肥満が助長する歯周病感染による認知機能障害における相互作用メカニズムの解明研究	大植 香菜	歯科麻酔科	1,300,000	補	文部科学省科学研究費補助金
PTEN+/-カウデン症候群特異的iPSC由来オルガノイドを用いた腫瘍幹細胞研究	大林 史誠	顎・口腔外科	1,000,000	補	文部科学省科学研究費補助金
CD44, ALDH1およびRHAMMの口腔癌に対する臨床的意義について	清野 紗矢香	口腔顎頸面再建外科	1,000,000	補	文部科学省科学研究費補助金
癌の微小環境を模倣する口腔癌細胞培養上清によるヒトiPS細胞からの癌幹細胞誘導	中瀬 洋司	顎・口腔外科	1,400,000	補	文部科学省科学研究費補助金
口腔扁平上皮癌の浸潤転移に関与するインテグリン β 8を標的とした核酸医薬の開発研究	櫻井 繁	顎・口腔外科	1,000,000	補	文部科学省科学研究費補助金
矯正歯科治療中の歯周炎に対するラクトフェリン研究に基づく新規ペプチド創薬の開発	山田 桜	矯正歯科	1,700,000	補	文部科学省科学研究費補助金
メカニカルストレス下におけるSemaphorin3Aを介した骨細胞動態の解明	八島 由佳	矯正歯科	1,200,000	補	文部科学省科学研究費補助金
FAKと選択的オートファジーの相互作用の解明と変形性顎関節症治療への応用	矢野下 真	矯正歯科	1,600,000	補	文部科学省科学研究費補助金
アメロプラスチンによる破歯細胞活性の抑制メカニズムの解明と歯根吸収への治療応用	大西 梢	矯正歯科	2,200,000	補	文部科学省科学研究費補助金
ANGPTL2のMMPs誘導能による軟骨破壊メカニズムの解明とPCR治療への応用	高野 真実	矯正歯科	1,800,000	補	文部科学省科学研究費補助金
要介護者歯科診療の術者腰痛予防に有用な姿勢保持装具の新開発	平岡 緹	口腔インプラント診療科	1,800,000	補	文部科学省科学研究費補助金
放射線治療による味覚障害の本態と回復過程の解明	小西 勝	歯科放射線科	1,000,000	補	文部科学省科学研究費補助金
咀嚼能力が糖尿病に与える影響に関する探索的研究	宮川剛史	広島臨床研究開発支援センター	400,000	補	文部科学省科学研究費補助金
マルチプレックスPCR法と電子トリアージを用いた災害時の感染情報システムの確立	板井 純治	集中治療部	1,900,000	補	文部科学省科学研究費補助金
高齢心不全患者のICFに基づいた生活行為障害モデルの確立と新しい介入手法の検証	塩田 繁人	診療支援部	1,100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
膝癌患者のEMSを用いた新しい術期リハビリーションプログラムの開発	中島 勇樹	診療支援部	900,000	補	文部科学省科学研究費補助金

筋強剛の定量的評価手法の確立と新規診断マーカーとしての応用	西川 裕一	診療支援部	1,300,000	補	文部科学省科学研究費補助金
他家iPS細胞を用いたHLA適合移植後の新たな拒絶機構の解明と克服法の開発	大段 秀樹	消化器外科	6,300,000	補	文部科学省科学研究費補助金
薬剤業務での細菌伝播リスクと手消毒の有益性の評価	檜山 洋子	薬剤部	450,000	補	文部科学省科学研究費補助金
シミュレーション医療教育標準化のための日本発仮想患者モジュールの開発	黒崎 達也	広島臨床研究開発支援センター	200,000	補	文部科学省科学研究費補助金
圧流量特性モデルに基づく人工心肺装置操作支援システムの提案	黒崎 達也	広島臨床研究開発支援センター	55,000	補	文部科学省科学研究費補助金
NASH憎悪因子である悪玉ミュータンス菌の検出キットの開発	北川 雅恵	口腔検査センター	100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
低線量・低線量率放射線被ばくが疾病モデル動物の全身免疫能に及ぼす影響	一戸 辰夫	血液内科	200,000	補	文部科学省科学研究費補助金
血液網膜バリアに着目したVEGFを標的としない加齢黄斑変性の治療法の開発	原田 陽介	眼科	30,000	補	文部科学省科学研究費補助金
「血液粘度比」で人工肺不良の原因を検出する:連続評価可能な新指標の提案と臨床応用	宮本 肇史	診療支援部	50,000	補	文部科学省科学研究費補助金
パターン投影と深層学習を利用した頑健で高精度な3次元内視鏡システム	田中 信治	内視鏡診療科	100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
Systems Bone Biology～骨・軟骨疾患の発症予測から疾患予防へ	味八木 茂	未来医療センター	1,200,000	補	文部科学省科学研究費補助金
ゲノム編集を用いたBDNFメチル化操作による新規うつ病モデル・マーカー・治療開発	淵上 学	精神科	50,000	補	文部科学省科学研究費補助金
化学療法による味覚障害発症の機序解明及び有効食品のスクリーニングシステムの開発	堤 保夫	麻酔科	100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
変形性顆関節症の新規治療法の開発を目指したLubricinの発現調節機構の解明	中川 貴之	口腔顎顔面再建外科	100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
吸入麻酔薬の心保護作用に対するオートファジー・ミトコンドリアダイナミックスの影響	堤 保夫	麻酔科	700,000	補	文部科学省科学研究費補助金
放射線治療施設におけるリニアック出力線量測定データ収集・分析・管理システムの開発	小澤 修一	放射線治療科	100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
パーキンソン病の歩行障害に対するNIRS-ニューロフィードバックシステムの応用	丸山 博文	脳神経内科	750,000	補	文部科学省科学研究費補助金
発がんリスク遺伝子とライフスタイルに着目した小児がん経験者の生活に関する探索研究	檜山 英三	小児外科	50,000	補	文部科学省科学研究費補助金
機能性食品(AHCC)による肝癌治療成績改善を検証する二重盲検無作為化比較試験	上村 健一郎	消化器外科	100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
逐次近似法再構成冠動脈CTが臨床転帰に与える影響に関する多施設無作為化比較試験	立神 史穂	放射線診断科	60,000	補	文部科学省科学研究費補助金
運動器における幹細胞老化の理解と制御	味八木 茂	未来医療センター	700,000	補	文部科学省科学研究費補助金
深層学習を用いた仮想高線量化技術による放射線画像検査の被爆最小化	粟井 和夫	放射線診断科	180,000	補	文部科学省科学研究費補助金
肝胆膵がんの多元的オミックス解析による分子機構の解明	相方 浩	消化器・代謝内科	500,000	補	文部科学省科学研究費補助金
細胞外エクソソームによるSurvivin発現の制御機構の解明と治療・診断への応用	濱 聖司	脳神経外科	50,000	補	文部科学省科学研究費補助金
長鎖非翻訳RNAによる歯周炎発症制御機構の解明	土屋 志津	歯科保存診療科	100,000	補	文部科学省科学研究費補助金

がん臨床試験における患者の意思決定支援のための学習プログラム開発と実践知の可視化	吉村 健一	未来医療センター	50,000	補	文部科学省科学研究費補助金
口腔癌幹細胞ニッチにおける制御性ケミカルメントジャーモードの解明と診断治療応用	吉岡 幸男	顎・口腔外科	100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
多元的音情報に基づく口腔機能・摂食嚥下機能評価システムの開発と検証	津賀 一弘	口腔インプラント診療科	200,000	補	文部科学省科学研究費補助金
思春期からの主体価値の発展過程解明	岡本 泰昌	精神科	10,000,000	補	文部科学省科学研究費補助金
消化器癌に対するプラズマバブル噴霧投与の開発と臨床応用	工藤 美樹	産科婦人科	100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
CFDと人工知能を用いた門脈圧亢進症の門脈血流評価と異常探知法の開発	栗井 和夫	放射線診断科	30,000	補	文部科学省科学研究費補助金
世界最高速の光偏向方式OCTによる3次元組織構造計測と間接軟骨組織評価への応用	石川 正和	整形外科	50,000	補	文部科学省科学研究費補助金
ディスレクシア児の読字における視覚言語情報処理の特性と発達に関する脳科学研究	梶梅 あい子	小児科	50,000	補	文部科学省科学研究費補助金
歯の特性を活かした幼若期ストレスの遡及的定量解析	土屋 志津	歯科保存診療科	100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
間葉系幹細胞由来エクソソームの腫瘍修復に関する分子細胞学的メカニズムの解明	林 悠太	整形外科	1,100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
オシコスタチンMによるアトピー性皮膚炎の皮膚内に分布する神経線維増加	齋藤 怜	皮膚科	1,100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
脂肪性肝疾患における肝内腫瘍免疫微小環境の解明と新規治療法の開発	橋本 昌和	消化器外科	1,100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
レーザープロテオミクスにより同定された偽足突起特異分子制御による肺癌新規治療開発	熊田 高志	呼吸器内科	1,100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
歯周炎および二次齲歯予防効果を有する新規抗菌性銀ナノ粒子含有PEEK冠の開発	西尾 文子	歯周診療科	1,100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
メタボローム解析による抗炎症性ω3脂肪酸分解産物生成メカニズムの解明	竹村 翼	歯周診療科	1,100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
乳歯歯髄由来幹細胞培養上清の骨再生機構の解明と口蓋裂頸部骨再生治療への臨床応用	平木 智香	矯正歯科	1,100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
低分子ヒアルロン酸によるCD44架橋阻害とTLR4を介した軟骨破壊機構の解明	山内 優佳	矯正歯科	1,100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
神経堤細胞由来顎骨オルガノイドを用いたMRONJの病態解析及び創薬研究	本池 総太	歯周診療科	1,100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
薬物性歯肉増殖症におけるブチリデンフタリドの治癒効果の検証	畠野 紗希	歯周診療科	1,100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
免疫寛容の本質的解明に向けた多次元解析	大段 秀樹	消化器外科	1,000,000	補	文部科学省科学研究費補助金
fMRIニューロフィードバック法による慢性疼痛の神経科学的修復機構の解明	吉野 敦雄	精神科	1,000,000	補	文部科学省科学研究費補助金
肺・肝以外の諸臓器における定位放射線治療の効果と安全性の評価	木村 智樹	放射線治療科	40,000	補	文部科学省科学研究費補助金
ブレインセンシング技術を使用した在宅見取りにおける情動と痛みの研究	梅本 誠治	広島臨床研究開発支援センター	100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
慢性疼痛に対する認知行動療法の効果を向上させる脳内ネットワーク刺激戦略	吉野 敦雄	精神科	100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
抗ドナーHLA抗体生産を決定する濾胞ヘルパーT細胞クロノタイプの同定とその制御	一戸 辰夫	血液内科	500,000	補	文部科学省科学研究費補助金

HIV感染症の医療体制の整備に関する研究	藤井 輝久	輸血部	6,000,000	補	厚生労働省
新たな手法を用いた肝炎ウイルス検査受検率・陽性者受診率の向上に資する研究	加治屋 幹人	歯周診療科	400,000	補	厚生労働省
細菌の薬剤耐性機構解析に基づいた多職種連携による効率的・効果的な院内耐性菌制御の確立のための研究	大毛 宏喜	感染症科	7,375,000	補	厚生労働省
てんかんの地域診療連携体制の推進のためのてんかん診療拠点病院運用ガイドラインに関する研究	飯田 幸治	脳神経外科	250,000	補	厚生労働省
国際生活機能分類ICFを用いた医療と介護を包括する評価方法の確立とAIを利用したビッグデータ解析体制の構築	木村 浩彰	リハビリテーション科	3,715,000	補	厚生労働省
放射線業務従事医療関係者の職業被ばく実態調査と被ばく低減対策研究	粟井 和夫	放射線診断科	750,000	補	厚生労働省
新興・再興感染症のリスク評価と危機管理機能の実装のための研究	志馬 伸朗	救急集中治療科	8,908,840	補	厚生労働省
アレルギー疾患の多様性、生活実態を把握するための疫学研究	田中 晴生	皮膚科	100,000	補	厚生労働省
我が国の関節リウマチ診療の標準化に関する臨床疫学研究	平田 信太郎	リウマチ・膠原病科	385,000	補	厚生労働省
次期がん対策推進基本計画に向けて小児がん拠点病院および連携病院の小児がん医療・支援の質を評価する新たな指標開発のための研究	川口 浩史	小児科	200,000	補	厚生労働省
自己炎症性疾患とその類縁疾患の全国診療体制整備、移行医療体制の構築、診療ガイドライン確立に関する研究	岡田 賢	小児科	600,000	補	厚生労働省
先天性骨髄不全症の登録システムの構築と診断基準・重症度分類・診断ガイドラインの確立に関する研究	小林 正夫	小児科	600,000	補	厚生労働省
日本の集中治療臨床情報を基盤として人工知能を用いた本邦発の重症度予測モデルの開発とパネルデーテ活用環境の醸成	大下 慎一郎	救急集中治療科	800,000	補	厚生労働省
びまん性肺疾患に関する調査研究	服部 登	呼吸器内科	300,000	補	厚生労働省
薬剤耐性(AMR)アクションプランの実行に関する研究	大毛 宏喜	感染症科	900,000	補	厚生労働省
思春期・若年成人(AYA)世代がん患者の包括的ケア提供体制の構築に関する研究	一戸 辰夫	血液内科	400,000	補	厚生労働省
稀少難治性皮膚疾患に関する調査研究	秀 道広	皮膚科	500,000	補	厚生労働省
学会連携を通じた希少癌の適切な医療の質向上と次世代を担う希少がん領域の人材育成に資する研究	杉山 一彦	がん化学療法科	300,000	補	厚生労働省
原発性免疫不全症候群の診療ガイドライン改訂、診療提供体制・移行医療体制構築、データベースの確立に関する研究	岡田 賢	小児科	1,000,000	補	厚生労働省
運動失調症の医療水準、患者QOLの向上に資する研究班	丸山 博文	脳神経内科	700,000	補	厚生労働省
WHO 統合国際診断面接第5版(CIDI 5.0)日本語版の開発と信頼性・妥当性の検証および活用のための体制整備に資する研究	倉田 明子	精神科	250,000	補	厚生労働省
我が国における公衆衛生学的観点からの健康診断の評価と課題	川野 伶緒	広島臨床研究開発支援センター	300,000	補	厚生労働省

計22件

計347件

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における 所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Kodama H, Takahashi S, Okazaki T	心臓血管外科	Association between false lumen segmental arteries and spinal cord ischemia in type A acute aortic dissection	JOURNAL OF CARDIOVASCULAR SURGERY.2020APR;61(2):226-233-233	Article
2	Morita K, Tsuka H, Kuremoto KI	病院(歯) 口維持・歯・二補	Association between buccal mucosa ridging and oral feature/symptom and its effects on occlusal function among dentate young adults in a cross-sectional study of Japan	CRANIO-THE JOURNAL OF CRANIOMANDIBULAR & SLEEP PRACTICE.2021JAN;2;39(1):24-28-28	Article
3	Ueda T, Kubota K, Shiroma N	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Extra-axial chordoma of the gingiva	AURIS NASUS LARYNX.2020APR;47(2):299-304-304	Article
4	Otani I, Oka S, Tanaka S	消化器・代謝内科	Diagnostic Yield of Colon Capsule Endoscopy in Detection of Superficial Colorectal Lesions	DIGESTION.2020MAY;101(3):262-269-269	Article
5	Hirooka K, Nitta E, Ukegawa K	眼科	Effect of trabeculectomy on corneal endothelial cell loss	BRITISH JOURNAL OF OPHTHALMOLOGY.2020MAR;104(3):376-380-380	Article
6	Yoshida S, Koshima I, Imai H	国際リンパ浮腫治療センター	Indocyanine green lymphography findings in older patients with lower limb lymphedema	JOURNAL OF VASCULAR SURGERY-VENOUS AND LYMPHATIC DISORDERS.2020MAR;8(2):251-258-258	Article
7	Yamaguchi K, Iwamoto H, Sakamoto S	呼吸器内科	Serum high-mobility group box 1 is associated with the onset and severity of acute exacerbation of idiopathic pulmonary fibrosis	RESPIROLOGY.2020MAR;25(3):275-280-280	Article
8	Tsuboi A, Oka S, Aoyama K	消化器・代謝内科	Artificial intelligence using a convolutional neural network for automatic detection of small-bowel angioectasia in capsule endoscopy images	DIGESTIVE ENDOSCOPY.2020MAR;32(3):382-390-390	Article
9	Shintani T, Fujii T, Yamasaki N	病院(歯) 口腔検査センター	Oral environment and taste function of Japanese HIV-infected patients treated with antiretroviral therapy	AIDS CARE-PSYCHOLOGICAL AND SOCIO-MEDICAL ASPECTS OF AIDS/HIV.2020JUL 2;32(7):829-834-834	Article
10	Ohya K, Imamura M, Osawa M	消化器・代謝内科	Successful retreatment with 12 weeks of glecaprevir and pibrentasvir for a genotype 2a HCV-infected hemodialysis patient who failed to respond to 8 weeks of prior glecaprevir and pibrentasvir therapy	CLINICAL JOURNAL OF GASTROENTEROLOGY.2020 APR;13(2):267-270-270	Article

計10件

11	Kuroda S, Kihara T, Akita Y	消化器外科	Simulation and navigation of living donor hepatectomy using a unique three-dimensional printed liver model with soft and transparent parenchyma	SURGERY TODAY.2020MAR; 50(3):307-313-313	Article
12	Boda K, Oka S, Tanaka S	消化器・代謝内科	Real-world learning curve analysis of colorectal endoscopic submucosal dissection: a large multicenter study	SURGICAL ENDOSCOPY AND OTHER INTERVENTIONAL TECHNIQUES.2020AUG; 34(8):3344-3351-3351	Article
13	Kurisu S, Nitta K, Sumimoto Y	循環器内科	Effects of Myocardial Perfusion Defect on the Frontal QRS-T Angle in Anterior Versus Inferior Myocardial Infarction	INTERNAL MEDICINE.2020; 59(1):23-28-28	Article
14	Inezu T, Hosomi N, Kitagawa K	脳神経内科	Effect of Statin on Stroke Recurrence Prevention at Different Infarction Locations: A Post Hoc Analysis of The J-STARS Study	JOURNAL OF ATHEROSCLEROSIS AND THROMBOSIS.2020;27(6): 524-533-533	Article
15	Oiani I, Oka S, Aikata H	消化器・代謝内科	Exacerbation of Portal Hypertensive Enteropathy after Endoscopic Injection Sclerotherapy for Esophageal Varices	DIGESTION.2021FEB;102(2): 188-196-196	Article
16	Matsumoto K, Oka S, Tanaka S	消化器・代謝内科	Long-Term Outcomes after Endoscopic Submucosal Dissection for Ulcerative Colitis-Associated Dysplasia	DIGESTION.2021FEB;102(2): 205-215-215	Article
17	Hide M, Fukunaga A, Maehara J	皮膚科	Efficacy, pharmacokinetics, and safety of icatibant for the treatment of Japanese patients with an acute attack of hereditary angioedema: A phase 3 open-label study	ALLERGOLOGY INTERNATIONAL.2020APR; 69(2):268-273-273	Article
18	Mimae T, Okada M.	呼吸器外科	Are segmentectomy and lobectomy comparable in terms of curative intent for early stage non-small cell lung cancer?	GENERAL THORACIC AND CARDIOVASCULAR SURGERY.2020JUL;68(7): 703-706-706	Article
19	Yamasaki F, Takano M, Yonezawa U	脳神経外科	Bevacizumab for optic pathway glioma with worsening visual field in absence of imaging progression: 2 case reports and literature review	CHILDS NERVOUS SYSTEM.2020MAR;36(3): 635-639-639	Review
20	Hanaoka K, Takahagi S, Ishii K	皮膚科	Type-I-hypersensitivity to 15 kDa, 28 kDa and 54 kDa proteins in vitellogenin specific to <i>Gadus chalcogrammus roe</i>	ALLERGOLOGY INTERNATIONAL.2020APR; 69(2):253-260-260	Article

計10件

21	Saito R, Yanase Y, Hide M	皮膚科	Increase of tissue factor expression on the surface of peripheral monocytes of patients with chronic spontaneous urticaria	ALLERGY.2020APR;75(4):971-974-974	Article
22	Kishi N, Ito M, Okada M.	呼吸器外科	Intense Expression of EGFR L858R Characterizes the Micropapillary Component and L858R Is Associated with the Risk of Recurrence in pN0M0 Lung Adenocarcinoma with the Micropapillary Component	ANNALS OF SURGICAL ONCOLOGY.2020MAR;27(3):945-955-955	Article
23	Yamane H, Ide K, Tanaka A	消化器外科	Successful Treatment of Chronic Myeloid Leukemia With Dasatinib After Kidney Transplantation: A Case Report	TRANSPLANTATION PROCEEDINGS.2020MAR; 52(2):600-603-603	Article; Proceedings Paper
24	Tamura Y, Kawaoka T, Aikata H	消化器・代謝内科	Isolated cardiac metastases of hepatocellular carcinoma after resection: a case report	CLINICAL JOURNAL OF GASTROENTEROLOGY.2020JUN;13(3):421-427-427	Article
25	Kochi M, Egi H, Adachi T	消化器外科	Preoperative incremental maximum squeeze pressure as a predictor of fecal incontinence after very low anterior resection for low rectal cancer	SURGERY TODAY.2020MAY; 50.0(5):516-524-524	Article
26	Hiraki T, Kunimatsu R, Nakajima K	病院(歯) 口健康・歯矯正	Stem cell-derived conditioned media from human exfoliated deciduous teeth promote bone regeneration	ORAL DISEASES.2020MAR; 26.0(2):381-390-390	Article
27	Shiga Y, Nezu T, Hosomi N	脳神経内科	Effect of tooth loss and nutritional status on outcomes after ischemic stroke	NUTRITION.2020MAR;710:-	Article
28	Hata K, Ito M, Boda T	総合内科・総合診療科	The Evaluation of Esophageal Motility Using Infusion Manometry with a Trans-nasal Endoscope: A Preliminary Study	INTERNAL MEDICINE.2020; 59.0(7):887-890-890	Article
29	Yamamoto M, Kobayashi T, Oshita A	消化器外科	Laparoscopic versus open limited liver resection for hepatocellular carcinoma with liver cirrhosis: a propensity score matching study with the Hiroshima Surgical study group of Clinical Oncology (HiSCO)	SURGICAL ENDOSCOPY AND OTHER INTERVENTIONAL TECHNIQUES.2020NOV; 34(11):5055-5061-5061	Article
30	Yoshida S, Koshima I, Imai H	国際リンパ浮腫治療センター	Characteristics and outcomes of lymphaticovenular anastomosis in older patients with bilateral involvement versus younger patients with unilateral involvement in lower extremity lymphedema	JOURNAL OF VASCULAR SURGERY-VENOUS AND LYMPHATIC DISORDERS.2020JUL;8(4):646-657-657	Article

計10件

31	Yoshida S, Koshima I, Imai H	国際リンパ浮腫治療センター	Microscope-Induced Thermal Burns During Lymphaticovenular Anastomosis	ANNALS OF PLASTIC SURGERY.2020MAY;84(5): E24-E26-E26	Article
32	Onoe T, Yamaguchi M, Tashiro H.	消化器外科	Feasibility and efficacy of repeat laparoscopic liver resection for recurrent hepatocellular carcinoma	SURGICAL ENDOSCOPY AND OTHER INTERVENTIONAL TECHNIQUES.2020OCT; 34(10):4574-4581-4581	Article
33	Makidono K, Miyata Y, Okada M,	呼吸器外科	Investigation of surgical technique for bronchial stump closure after lobectomy in animal model	GENERAL THORACIC AND CARDIOVASCULAR SURGERY.2020JUN;68(6): 609-614-614	Article
34	Shiba E, Saito A, Furumi M	放射線治療科	Predictive gamma passing rate for three-dimensional dose verification with finite detector elements via improved dose uncertainty potential accumulation model	MEDICAL PHYSICS.2020MAR; 47.0(3): 1349-1356-1356	Article
35	Tamaura M, Satoh-Takayame N, Okada S	小児科	Human gain-of-function STAT1 mutation disturbs IL-17 immunity in mice	INTERNATIONAL IMMUNOLOGY.2020APR; 32(4):259-272-272	Article
36	Kaneyasu Y, Shigeishi H, Maehara T	口腔健康科	Measurement of bristle splaying of toothbrushes using digital imaging and evaluation of plaque removal efficacy over 3 months: A randomized controlled trial (RCT)	INTERNATIONAL JOURNAL OF DENTAL HYGIENE.2020MAY;18.0(2): 173-181-181	Article
37	Hirose N, Okamoto Y, Yanoshita M	矯正歯科	Protective effects of cilengitide on inflammation in chondrocytes under excessive mechanical stress	CELL BIOLOGY INTERNATIONAL.2020APR; 44.0(4):966-974-974	Article
38	Shinomiya R, Sunagawa T, Nakashima Y	整形外科	Monitoring Vascular Compromise Using Ultrasound After Free Tissue Transfer	JOURNAL OF ULTRASOUND IN MEDICINE.2020JUN;39(6): 1213-1222-1222	Article
39	Daijo K, Nakahara T, Chayama K.	消化器・代謝内科	Risk factors for histological progression of non-alcoholic steatohepatitis analyzed from repeated biopsy cases	JOURNAL OF GASTROENTEROLOGY AND HEPATOLOGY.2020AUG; 35(8):1412-1419-1419	Article
40	Kitagawa T, Nakamoto Y, Fujii Y	循環器内科	Relationship between coronary arterial F-18-sodium fluoride uptake and epicardial adipose tissue analyzed using computed tomography	EUROPEAN JOURNAL OF NUCLEAR MEDICINE AND MOLECULAR IMAGING.2020JUL;47(7): 1746-1756-1756	Article

計10件

41	Itakura K, Hidaka T, Nakano Y	循環器内科	Successful catheter ablation of persistent atrial fibrillation is associated with improvement in functional tricuspid regurgitation and right heart reverse remodeling	HEART AND VESSELS.2020JUN;35(6):842-851-851	Article
42	Kanemitsu M, Nakasa T, Shirakawa Y	未来医療センター	Role of vasoactive intestinal peptide in the progression of osteoarthritis through bone sclerosis and angiogenesis in subchondral bone	JOURNAL OF ORTHOPAEDIC SCIENCE.2020SEP;25(5):897-906-906	Article
43	Okubo Y, Nakano Y, Ochi H	循環器内科	Predicting atrial fibrillation using a combination of genetic risk score and clinical risk factors	HEART RHYTHM.2020MAY;17(5):699-705-705	Article
44	Kaneda-Ikeda E, Iwata T, Mizuno N	病院(歯) 口維持:歯・二保	Periodontal ligament cells regulate osteogenesis via miR-299-5p in mesenchymal stem cells	DIFFERENTIATION.2020MAR-APR;112(0):47-57-57	Article
45	Morio K, Kawaoka T, Aikata H	消化器・代謝内科	Preoperative PET-CT is useful for predicting recurrent extrahepatic metastasis of hepatocellular carcinoma after resection	EUROPEAN JOURNAL OF RADIOLOGY.2020MAR;124(0):—	Article
46	Taguchi A, Sakamoto S, Okazaki T	脳神経外科	Safety of carotid artery stenting for elderly patients with cervical carotid artery stenosis	INTERVENTIONAL NEURORADIOLOGY.2020AU G;26(4):439-445-445	Article
47	Yukawa K, Mokuda S, Sugiyama E.	リウマチ・膠原病科	Serum CXCL10 levels are associated with better responses to abatacept treatment of rheumatoid arthritis	CLINICAL AND EXPERIMENTAL RHEUMATOLOGY.2020SEP-OCT;38(5):956-963-963	Article
48	Kaneda-Ikeda E, Iwata T, Mizuno N	病院(歯) 口維持:歯・二保	Regulation of osteogenesis via miR-101-3p in mesenchymal stem cells by human gingival fibroblasts	JOURNAL OF BONE AND MINERAL METABOLISM.2020JUL;38(4):442-455-455	Article
49	Kosaka Y, Kawaoka T, Aikata H	消化器・代謝内科	A case of advanced HCC treated with lenvatinib after hepatic arterial infusion chemotherapy combined with radiation therapy treatment for portal vein tumor thrombosis in the main trunk	CLINICAL JOURNAL OF GASTROENTEROLOGY.2020OCT;13(5):839-843-843	Article
50	Mimae T, Tsutani Y, Okada M.	呼吸器外科	Solid Tumor Size of 2 cm Divides Outcomes of Patients With Mixed Ground Glass Opacity Lung Tumors	ANNALS OF THORACIC SURGERY.2020MAY;109(5):1530-1536-1536	Article

51	Umemoto S, Ogihara T, Matsuzaki M	病院総合医療研究推進センター	Effects of an Antihypertensive Combination in Japanese Hypertensive Outpatients Based on the Long-acting Calcium Channel Blocker Benidipine on Vascular and Renal Events: A Sub-analysis of the COPE Trial	CURRENT HYPERTENSION REVIEWS.2021;16(3):238-245-245	Article
52	Ando Y, Yamauchi M, Aikata H.	消化器・代謝内科	Complete response to pembrolizumab in advanced hepatocellular carcinoma with microsatellite instability	CLINICAL JOURNAL OF GASTROENTEROLOGY.2020 OCT;13(5):867-872-872	Article
53	Nakamoto T, Hatsuta S, Yagi S	歯科放射線科	Computer-aided diagnosis system for osteoporosis based on quantitative evaluation of mandibular lower border porosity using panoramic radiographs	DENTOMAXILLOFACIAL RADIOLOGY.2020;49(4):--	Article
54	Shimamoto K, Ianimoto K, Fukazawa T	救急集中治療科	GLIS1, a novel hypoxia-inducible transcription factor, promotes breast cancer cell motility via activation of WNT5A	CARCINOGENESIS.2020SEP;41(9):1184-1194-1194	Article
55	Kudo Y, Koh I, Yamazaki T	産科婦人科	Indoleamine 2,3-dioxygenase and trophoblast invasion in caesarean scar pregnancy: Implications for the aetiopathogenesis of placenta accreta spectrum	JOURNAL OF REPRODUCTIVE IMMUNOLOGY.2020APR;138():--	Article
56	Takeuchi Y, Murakami Y, Kameoka T	放射線部	Analysis of cardiac toxicity after definitive chemoradiotherapy for esophageal cancer using a biological dose-volume histogram	JOURNAL OF RADIATION RESEARCH.2020MAR;61(2):298-306-306	Article
57	Miura H PhD, Ozawa S PhD, Nakao M PhD	放射線治療科	Evaluation of interbreath-hold lung tumor position reproducibility with vector volume histogram using the breath-hold technique	MEDICAL DOSIMETRY.2020FAL;45(3):252-255-255	Article
58	Okayama Y, Matsumoto H, Hide M	皮膚科	Roles of omalizumab in various allergic diseases	ALLERGOLOGY INTERNATIONAL.2020APR;69(2):167-177-177	Review
59	Kikutani K, Itai J, Shime N,	救急集中治療科	A Ruptured Mediastinal Bronchial Artery Aneurysm Treated with Urgent Thoracic Endovascular Aortic Repair	INTERNAL MEDICINE.2020;59(10):1283-1286-1286	Article
60	Okubo A, Nakashima A, Masaki T,	腎臓内科	High-normal albuminuria is strongly associated with incident chronic kidney disease in a nondiabetic population with normal range of albuminuria and normal kidney function	CLINICAL AND EXPERIMENTAL NEPHROLOGY.2020MAY;24(5):435-443-443	Article

計10件

61	Kawaoka T, Ando Y, Aikata H.	消化器・代謝内科	Incidence of microsatellite instability-high hepatocellular carcinoma among Japanese patients and response to pembrolizumab	HEPATOPY RESEARCH.2020JUL;50(7):885-888-888	Article
62	Kawahara D, Wu L, Watanabe Y.	放射線治療科	Optimization of irradiation interval for fractionated stereotactic radiosurgery by a cellular automata model with reoxygenation effects	PHYSICS IN MEDICINE AND BIOLOGY.2020APR 21;65(8):--	Article
63	Teishima J, Hayashi T, Kitano H	泌尿器科	Impact of radiological morphology of clinical T1 renal cell carcinoma on the prediction of upstaging to pathological T3	JAPANESE JOURNAL OF CLINICAL ONCOLOGY.2020APR;50(4):473-478-478	Article
64	Kuranobu T, Mokuda S, Sugiyama E.	リウマチ・膠原病科	Activin A Expressed in Rheumatoid Synovial Cells Downregulates TNF alpha-Induced CXCL10 Expression and Osteoclastogenesis	PATHOBIOLOGY.2020JUN;87(3):198-207-207	Article
65	Nakano Y, Hirooka K, Chiba Y	眼科	Retinal ganglion cell loss in kinesin-1 cargo Alcadein alpha deficient mice	CELL DEATH & DISEASE.2020MAR 3;11(3):-	Article
66	Han X, Sekino Y, Babasaki T	泌尿器科	Microtubule-associated protein tau (MAPT) is a promising independent prognostic marker and tumor suppressive protein in clear cell renal cell carcinoma	UROLOGIC ONCOLOGY-SEMINARS AND ORIGINAL INVESTIGATIONS.2020JUN;38(6):--	Article
67	Okamoto Y, Oka S, Tanaka S	消化器・代謝内科	Clinical usefulness of the S-O clip during colorectal endoscopic submucosal dissection in difficult-to-access submucosal layer	ENDOSCOPY INTERNATIONAL OPEN.2020MAR;8(3):E437-E444-E444	Article
68	Kawahara D, Saito A, Ozawa S	放射線治療科	Assessment of biological dosimetric margin for stereotactic body radiation therapy	JOURNAL OF APPLIED CLINICAL MEDICAL PHYSICS.2020APR;21(4):31-41-41	Article
69	Nakasa T, Ikuta Y, Ota Y	未来医療センター	Relationship of T2 Value of High-signal Line on MRI to the Fragment in Osteochondral Lesion of the Talus	FOOT & ANKLE INTERNATIONAL.2020JUN;41(6):698-704-704	Article
70	Nishi H, Hosomi N, Ohta K	病院(医) 未来医療センター	Serum immunoglobulin G antibody titer to <i>Fusobacterium nucleatum</i> is associated with unfavorable outcome after stroke	CLINICAL AND EXPERIMENTAL IMMUNOLOGY.2020JUN;200(3):302-309-309	Article

計10件

71	Mizuno N, Iwata T, Ohsawa R	病院(歯) 歯総診:歯・総診	Optineurin regulates osteoblastogenesis through STAT1	BIOCHEMICAL AND BIOPHYSICAL RESEARCH COMMUNICATIONS.2020MAY; 14; 525(4):889-894-894	Article
72	Kurisu S, Nitta K, Ikenaga H	循環器内科	Frontal QRS-T angle and left ventricular diastolic function assessed by ECG-gated SPECT in the absence of significant perfusion abnormality	HEART AND VESSELS.2020AUG; 35(8): 1095-1101-1101	Article
73	Higaki M, Shintani T, Hamada A	(医学)循環器内科学 (循環器)	Eldecalcitol (ED-71)-induced exosomal miR-6887-5p suppresses squamous cell carcinoma cell growth by targeting heparin-binding protein 17/fibroblast growth factor-binding protein-1 (HBp17/FGFBP-1)	IN VITRO CELLULAR & DEVELOPMENTAL BIOLOGY-ANIMAL.2020MAR; 56(3): 222-233-233	Article
74	Oishi S, Amatya VJ, Yamasaki F.	脳神経外科	T2-FLAIR mismatch sign in dysembryoplasticneuroepithelial tumor	EUROPEAN JOURNAL OF RADIOLOGY.2020MAY; 1260:--	Article
75	Ishiiuchi N, Nakashima A, Masaki T.	腎臓内科	Hypoxia-preconditioned mesenchymal stem cells prevent renal fibrosis and inflammation in ischemia-reperfusion rats	STEM CELL RESEARCH & THERAPY.2020MAR 20; 11(1):--	Article
76	Nakase T, Ikuta Y, Ota Y	未来医療センター	Safe angles of ATFL and CFL anchor insertion into anatomical attachment of fibula in a lateral ankle ligament repair	JOURNAL OF ORTHOPAEDIC SCIENCE.2021JAN; 26(1): 156-161-161	Article
77	Sakata S, Kunimatsu R, Tsuka Y,	病院(医) 未来医療センター	High-Frequency Near-Infrared Diode Laser Irradiation Attenuates IL-1 beta-Induced Expression of Inflammatory Cytokines and Matrix Metalloproteinases in Human Primary Chondrocytes	JOURNAL OF CLINICAL MEDICINE.2020MAR; 9(3):--	Article
78	Matsumura M, Shigeishi H, Su CY	口腔健康科	High Rate of Oral Candida Detection in Dependent Japanese Older People	GERIATRICS.2020MARCH; 5(1):--	Article
79	Otsuka H, Murakami Y, Uemura K	消化器・代謝内科	Immunohistological evaluation of mismatch repair deficiency in pancreatic ductal adenocarcinoma treated with surgical resection	JOURNAL OF HEPATO-BILIARY-PANCREATIC SCIENCES.2020JUL; 27(7): 421-428-428	Article
80	Kume K, Morino H, Miyamoto R	脳神経内科	Middle-age-onset cerebellar ataxia caused by a homozygous TWNK variant: a case report	BMC MEDICAL GENETICS.2020MARCH 31; 21(1):--	Article

計10件

81	Sekino Y, Hagura T, Han X	泌尿器科	PTEN Is Involved in Sunitinib and Sorafenib Resistance in Renal Cell Carcinoma	ANTICANCER RESEARCH.2020APR;40(4):1943-1951	Article
82	Wakai M, Hayashi R, Tanaka S	内視鏡診療科	Serum amyloid A is a better predictive biomarker of mucosal healing than C-reactive protein in ulcerative colitis in clinical remission	BMC GASTROENTEROLOGY.2020 APR 3;20(1):—	Article
83	Shoji T, Yamasaki T, Ota Y	整形外科	Intra-articular pathology affects outcomes after joint preserving surgery for osteonecrosis of the femoral head	INTERNATIONAL ORTHOPAEDICS.2020JUL; 44(7):1295-1303-1303	Article
84	Kojima H, Hirooka K, Nitta E	眼科	Assessment of primary open-angle glaucoma peripapillary and macular choroidal area using enhanced depth imaging optical coherence tomography	PLOS ONE.2020APR 6;15(4):—	Article
85	Tsuka Y, Kunimatsu R, Gunji H	病院(医) 感覚器:医・眼科	Examination of the Effect of the Combined Use of Nd: YAG Laser Irradiation and Mechanical Force Loading on Bone Metabolism Using Cultured Human Osteoblasts	JOURNAL OF LASERS IN MEDICAL SCIENCES.2020SPR;11(2):138-143-143	Article
86	Masuda T, Fujitaka K, Ishikawa N	呼吸器内科	Treatment rationale and design of the PROLONG study: safety and efficacy of pembrolizumab as first-line therapy for elderly patients with non-small cell lung cancer	JOURNAL OF THORACIC DISEASE.2020MAR;12(3):1079-1084-1084	Article
87	Nakagawa T, Ohta K, Uetsuki R	病院(医) 呼吸器:医・二内	Zoledronate Inhibits Osteoclast Differentiation via Suppressing Vascular Endothelial Growth Factor Receptor 2 Expression	BIOCHEMICAL GENETICS.2020JUN;58(3):473-489-489	Article
88	Yoshioka Y, Hayashido Y, Ito Y	顎・口腔外科	Reconstruction of an upper lip and intraoral defect following resection of an upper lip melanoma using a lower lip musculomucosal flap combined with a tongue flap	JOURNAL OF SURGICAL CASE REPORTS.2020APR; (4):—	Article
89	Kitagawa H, Tadera K, Hara T	感染症科	Efficacy of pulsed xenon ultraviolet disinfection of multidrug-resistant bacteria and Clostridioides difficile spores	INFECTION DISEASE & HEALTH.2020AUG;25(3):181-185-185	Article
90	Hirata-Tsuchiya S, Suzuki S, Okamoto K	歯科保存診療科	A small nuclear acidic protein (MTI-II, Zn ²⁺ -binding protein, parathymosin) attenuates TNF-alpha inhibition of BMP-induced osteogenesis by enhancing accessibility of the Smad4-NF-kappa B p65 complex to Smad binding element	MOLECULAR AND CELLULAR BIOCHEMISTRY.2020JUN; 469(1-2):133-142-142	Article

91	Yoneda M, Kobuke K.	内分泌・糖尿病内科	A 50-year history of the health impacts of Westernization on the lifestyle of Japanese Americans: A focus on the Hawaii-Los Angeles-Hiroshima Study	JOURNAL OF DIABETES INVESTIGATION.2020NOV; 11(6):1382-1387-1387	Article
92	Miura H, Ozawa S, Kusaba H	放射線治療科	Characterization of robust optimization for VMAT plan for liver cancer	REPORTS OF PRACTICAL ONCOLOGY AND RADIOTHERAPY.2020MAY-JUN;25(3):376-381-381	Article
93	Teishima J, Murata D, Inoue S	泌尿器科	Improved prognosis for elderly patients with metastatic renal cell carcinoma in the era of targeted therapy	MOLECULAR AND CLINICAL ONCOLOGY.2020JUN;12(6): 557-564-564	Article
94	Nishida M, Takeno S, Takemoto K	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Increased Tissue Expression of Lectin-Like Ovidized LDL Receptor 1 (LOX-1) Is Associated with Disease Severity in Chronic Rhinosinusitis with Nasal Polyps	DIAGNOSTICS.2020APR; 10(4):—	Article
95	Ohki S, Shime N, Kosaka T	救急集中治療科	Impact of host- and early treatment-related factors on mortality in ICU patients with candidemia: a bicentric retrospective observational study	JOURNAL OF INTENSIVE CARE.2020APR 26;8(1):—	Article
96	Miyamori D, Tanaka Y, Ishikawa N	総合内科・総合診療科	Population history in Okinawa based on JC virus and ALDH2 genotypes	SCIENTIFIC REPORTS.2020APR 30;10(1): —	Article
97	Kawahara D, Nakano H, Saito A	放射線治療科	Dose compensation based on biological effectiveness due to interruption time for photon radiation therapy	BRITISH JOURNAL OF RADIOLOGY.2020;93(1111): —	Article
98	Yamamoto M, Kobayashi T, Kuroda S	消化器外科	Impact of postoperative bile leakage on long-term outcome in patients following liver resection for hepatocellular carcinoma	JOURNAL OF HEPATO-BILIARY-PANCREATIC SCIENCES.2020DEC;27(12): 931-941-941	Article
99	Dasgupta S, Imamura M, Chayama K.	消化器・代謝内科	Modeling-Based Response-Guided Glecaprevir-Pibrentasvir Therapy for Chronic Hepatitis C to Identify Patients for Ultrashort Treatment Duration	JOURNAL OF INFECTIOUS DISEASES.2020OCT 1; 222(7):1165-1169-1169	Article
100	Kitano H, Shigemoto N, Koba Y	泌尿器科	Indwelling catheterization, renal stones, and hydronephrosis are risk factors for symptomatic <i>Staphylococcus aureus</i> -related urinary tract infection	WORLD JOURNAL OF UROLOGY.2021FEB;39(2): 511-516-516	Article

計10件

101	Kobayashi T, Kanno K, Nguyen PT	総合内科・総合診療科	Periostin antisense oligonucleotide prevents hepatic steatosis and fibrosis in a mouse model of non-alcoholic steatohepatitis	JOURNAL OF GASTROENTEROLOGY AND HEPATOLOGY.2020DEC; 35(12):2140-2150-2150	Article
102	Miura H, Ozawa S, Doi Y	放射線治療科	Effectiveness of robust optimization in volumetric modulated arc therapy using 6 and 10 MV flattening filter-free beam therapy planning for lung stereotactic body radiation therapy with a breath-hold technique	JOURNAL OF RADIATION RESEARCH.2020JUL; 61(4): 575-585-585	Article
103	Ueno H, Kikumoto M, Takebayashi Y	脳神経内科	Pomalidomide-associated progressive multifocal leukoencephalopathy in multiple myeloma: cortical susceptibility-weighted imaging hypointense findings prior to clinical deterioration	JOURNAL OF NEUROVIROLOGY.2020JUN; 26(3):452-455-455	Article
104	Uchikawa S, Kawaoka T, Aikata H,	消化器・代謝内科	Skeletal Muscle Loss during Tyrosine Kinase Inhibitor Treatment for Advanced Hepatocellular Carcinoma Patients	LIVER CANCER.2020APR; 9(2):148-155-155	Article
105	Hamai Y, Emi M, Ibuki Y	消化器外科	Predictions of Pathological Features and Recurrence Based on FDG-PET Findings of Esophageal Squamous Cell Carcinoma after Trimodal Therapy	ANNALS OF SURGICAL ONCOLOGY.2020OCT; 27(11):4422-4430-4430	Article
106	Kondo N, Uemura K, Nakagawa N	消化器外科	Superior Mesenteric Artery Plexus-Preserving Pancreatoduodenectomy with Circumferential Dissection of Lymph Nodes	JOURNAL OF GASTROINTESTINAL SURGERY.2020JUL; 24(7): 1712-1719-1719	Article
107	Hidaka T, Sumimoto Y, Dohi Y	循環器内科	Non-Invasive Central Venous Pressure Measurement Using Enclosed-Zone Central Venous Pressure (ezCVP (TM))	CIRCULATION JOURNAL.2020JUL; 84(7): 1112-1117-1117	Article
108	Hiyama E, Hishiki T, Watanabe K,	小児外科	Outcome and Late Complications of Hepatoblastomas Treated Using the Japanese Study Group for Pediatric Liver Tumor 2 Protocol	JOURNAL OF CLINICAL ONCOLOGY.2020AUG 1; 38(22):2488-+→	Article
109	Mizuno N, Kume K, Nagatani Y	自然科学七研究開発部門(霞)	Aggressive periodontitis and NOD2 variants	JOURNAL OF HUMAN GENETICS.2020OCT; 65(10): 841-846-846	Article
110	Yonezawa U, Karlowee V, Yamasaki F.	脳神経外科	Radiology Profile as a Potential Instrument to Differentiate Between Posterior Fossa Ependymoma (PF-EPN) Group A and B	WORLD NEUROSURGERY.2020AUG; 1400:E320-E327-E327	Article

計10件

111	Sekino Y, Han X, Babasaki T	泌尿器科	Microtubule-associated protein tau (MAPT) promotes bicalutamide resistance and is associated with survival in prostate cancer	UROLOGIC ONCOLOGY—SEMINARS AND ORIGINAL INVESTIGATIONS.2020OCT; 38(10):—	Article
112	Takeishi Y, Takayasu T, Yamasaki F.	脳神経外科	Advantage of high b value diffusion-weighted imaging for differentiation of common pediatric brain tumors in posterior fossa	EUROPEAN JOURNAL OF RADIOLOGY.2020JUL;1280:—	Article
113	Nakamura K, Urabe Y, Oka S	未来医療センター	Usefulness of linked color imaging in the early detection of superficial esophageal squamous cell carcinomas	ESOPHAGUS.2021JAN;18(1): 118-124-124	Article
114	Umeshara H, Doi K, Oki Y	口腔インプラント診療科	Development of a novel bioactive titanium membrane with alkali treatment for bone regeneration	DENTAL MATERIALS JOURNAL.2020OCT;39(5): 877-882-882	Article
115	Okada Y, Galbreath MM, Jarvis SS	(歯学)先端歯科補綴学	Broader adaptive range of sympathetic burst size in response to blood pressure change in older women with greater arterial stiffness	JOURNAL OF PHYSIOLOGY-LONDON.2020AUG;598(16): 3331-3341-3341	Article
116	Kunimatsu R, Kimura A, Tsuka Y	病院(歯) 口健康・歯・特歯	Baicalin inhibits root resorption during tooth movement in a rodent model	ARCHIVES OF ORAL BIOLOGY.2020AUG;1160:—	Article
117	Yoshino A, Okamoto Y, Sumiya Y	精神科	Importance of the Habenula for Avoidance Learning Including Contextual Cues in the Human Brain: A Preliminary fMRI Study	FRONTIERS IN HUMAN NEUROSCIENCE.2020MAY 12;140:—	Article
118	Kitagawa H, Mori M, Hara T	感染症科	Effectiveness of pulsed xenon ultraviolet disinfection for Clostridioides (Clostridium) difficile surface contamination in a Japanese hospital	AMERICAN JOURNAL OF INFECTION CONTROL.2021JAN;49(1): 55-58-58	Article
119	Nishibuchi I, Murakami Y, Adachi Y	放射線治療科	Effectiveness of salvage radiotherapy for superficial esophageal Cancer after non-curative endoscopic resection	RADIATION ONCOLOGY.2020JUN 1; 15(1):—	Article
120	Sasada S, Kimura Y, Emi A	乳腺外科	Tumor-infiltrating Lymphocyte Score Based on FDG PET/CT for Predicting the Effect of Neoadjuvant Chemotherapy in Breast Cancer	ANTICANCER RESEARCH.2020JUN;40(6): 3395-3400-3400	Article

計10件

121	Sasada S, Masumoto N, Kimura Y	乳腺外科	Classification of Abnormal Findings on Ring-type Dedicated Breast PET for the Detection of Breast Cancer	ANTICANCER RESEARCH.2020JUN;40(6):3491-3497	Article
122	Ohira M, Tanimine N, Ohdan H.	未来医療センター	Essential updates 2018/2019: Liver transplantation	ANNALS OF GASTROENTEROLOGICAL SURGERY.2020MAY;4(3):195-207	Review
123	Hara T, Suzuki H, Oyanagi T	診療支援部	Clinical evaluation of a non-purified direct molecular assay for the detection of <i>Clostridioides difficile</i> toxin genes in stool specimens	PLOS ONE.2020JUN 3;15(6):—	Article
124	Kambara T, Amatya VJ, Kushitani K	病理診断科	SOX6 is a Novel Immunohistochemical Marker for Differential Diagnosis of Epithelioid Mesothelioma From Lung Adenocarcinoma	AMERICAN JOURNAL OF SURGICAL PATHOLOGY.2020SEP;44(9):1259-1265	Article
125	Shimomura M, Doi T, Nishimura S	小児科	Successful allogeneic bone marrow transplantation using immunosuppressive conditioning regimen for a patient with red blood cell transfusion-dependent pyruvate kinase deficiency anemia	HEMATOLOGY REPORTS.2020;12(1):—	Article
126	Takeuchi Y, Tsuge M, Chayama K.	消化器・代謝内科	Signal Activation of Hepatitis B Virus-Related Hepatocarcinogenesis by Up-regulation of SUV39h1	JOURNAL OF INFECTIOUS DISEASES.2020DEC 15;222(12):2061-2070	Article
127	Kan T, Takahagi S, Hide M.	皮膚科	Rechallenge of programmed cell death 1 inhibitor after an interval with dacarbazine treatment may be effective for advanced malignant melanoma	JOURNAL OF DERMATOLOGY.2020AUG;47(8):907-910	Article
128	Teishima J, Inoue S, Hayashi T	泌尿器科	Impact of the systemic immune-inflammation index for the prediction of prognosis and modification of the risk model in patients with metastatic renal cell carcinoma treated with first-line tyrosine kinase inhibitors	CUAJ-CANADIAN UROLOGICAL ASSOCIATION JOURNAL.2020NOV;14(11):E582-E587	Article
129	Takechi M, Ishioka Y, Ninomiya Y	口腔顎顔面再建外科	Morphological Evaluation of Bone by CT to Determine Primary Stability—Clinical Study	MATERIALS.2020JUN;13(11):—	Article
130	Ramandika E, Kurisu S, Nitta K	循環器内科	Effects of aging on coronary flow reserve in patients with no evidence of myocardial perfusion abnormality	HEART AND VESSELS.2020DEC;35(12):1633-1639	Article

計10件

131	Kawahara D, Ozawa S, Yokomachi K	放射線治療科	Evaluation of metal artefact techniques with same contrast scale for different commercially available dual-energy computed tomography scanners	PHYSICAL AND ENGINEERING SCIENCES IN MEDICINE.2020JUN;43(2): 539-546-546	Article
132	Yamaguchi K, Iwamoto H, Mazur W	呼吸器内科	Reduced endogenous secretory RAGE in blood and bronchoalveolar lavage fluid is associated with poor prognosis in idiopathic pulmonary fibrosis	RESPIRATORY RESEARCH.2020JUN 11; 21(1):--	Article
133	Okada K, Murakami Y, Uemura K	消化器・代謝内科	Flooring the Major Vessels with Falciform Ligament to Prevent Post-Pancreatectomy Hemorrhage	WORLD JOURNAL OF SURGERY.2020OCT;44(10): 3478-3485-3485	Article
134	Noda Y, Yasuda T, Kanzaki R	麻酔科	Functional analysis of newly identified RVR variants in patients susceptible to malignant hyperthermia	JOURNAL OF ANESTHESIA.2020OCT; 34(5): 658-665-665	Article
135	Kubo K, Murakami Y, Kenjo M	放射線治療科	Long-term outcomes of induction chemotherapy followed by chemoradiotherapy using volumetric-modulated arc therapy as an organ preservation approach in patients with stage IV A-B oropharyngeal or hypopharyngeal cancers	JOURNAL OF RADIATION RESEARCH.2020JUL; 61(4): 554-562-562	Article
136	Tanaka K, Tsutani Y, Wakabayashi M	呼吸器外科	Sublobar resection versus lobectomy for patients with resectable stage I non-small cell lung cancer with idiopathic pulmonary fibrosis: a phase III study evaluating survival (JCOG1708, SURPRISE)	JAPANESE JOURNAL OF CLINICAL ONCOLOGY.2020SEP;50(9): 1076-1079-1079	Article
137	Japan ECMOnet for COVID-19, Shime N.	救急集中治療科	Save the ICU and save lives during the COVID-19 pandemic	JOURNAL OF INTENSIVE CARE.2020JUN 15;8(1):--	Letter
138	Yanoshita M, Hirose N, Sumi C	(医学)救急集中治療医学(救急)	FAK inhibition protects condylar cartilage under excessive mechanical stress	ORAL DISEASES.2020NOV; 26(8):1736-1746-1746	Article
139	Miyoshi S, Saito A, Shigeishi H	口腔健康科	Association of physical performance with oral function in older women participating in community-based health exercise programs	CLINICAL AND EXPERIMENTAL DENTAL RESEARCH.2020JUN; 6(3): 311-317-317	Article
140	Naito H, Hosomi N, Nezu T	脳神経内科	Prognostic role of the controlling nutritional status score in acute ischemic stroke among stroke subtypes	JOURNAL OF THE NEUROLOGICAL SCIENCES.2020SEP 15;4160: --	Article

計10件

141	Ikuta Y, Ishikawa M, Suga N	整形外科	New standardization method of tibial tubercle-posterior cruciate ligament distance according to patient size in patients with patellofemoral instability	KNEE.2020JUN;27(3):695-700-700	Article
142	Honmyo N, Kobayashi T, Kuroda S	消化器外科	A novel model for predicting posthepatectomy liver failure based on liver function and degree of liver resection in patients with hepatocellular carcinoma	HPB.2021JAN;23(1):134-143-143	Article
143	Murakami Y, Kenjo M, Ishikawa K	放射線治療科	Risk factors for severe gastrointestinal toxicity in patients receiving palliative radiotherapy for metastatic bone tumors: association with the use of molecular-targeted agents	JOURNAL OF RADIATION RESEARCH.2020JUL;61(4):629-634-634	Article
144	Nagira K, Ikuta Y, Miyaki S	未来医療センター	Histological scoring system for subchondral bone changes in murine models of joint aging and osteoarthritis	SCIENTIFIC REPORTS.2020JUN 22;10(1):	Article
145	Yamauchi Y, Hirata I, Tanimoto K	病院(医) 未来医療センター	Epidermal growth factor-immobilized surfaces for the selective expansion of neural progenitor cells derived from induced pluripotent stem cells	BIOTECHNOLOGY AND BIOENGINEERING.2020SEP;117(9):2741-2748-2748	Article
146	Nagahara T, Takeda K, Wada K	病院(歯) 口健康・歯矯正	A mandibular second molar with a middle mesial root canal	CLINICAL CASE REPORTS.2020JUN;8(6):1015-1020-1020	Article
147	Mimae T, Miyata Y, Okada M.	呼吸器外科	Wedge resection as an alternative treatment for octogenarian and older patients with early-stage non-small-cell lung cancer	JAPANESE JOURNAL OF CLINICAL ONCOLOGY.2020SEP;50(9):1051-1057-1057	Article
148	Tsuka Y, Kunimatsu R, Gunji H	病院(医) 呼吸器・原外	Examination of the effect of combined use of Er:YAG laser irradiation and mechanical force loading on bone metabolism using primary human gingival fibroblasts	LASERS IN MEDICAL SCIENCE.2020DEC;35(9):2059-2064-2064	Article
149	Kaneyasu Y, Shigeishi H, Ohta K	口腔健康科	Changes in the Bristle Stiffness of Polybutylene Terephthalate Manual Toothbrushes over 3 Months: A Randomized Controlled Trial	MATERIALS.2020JUN;13(12):	Article
150	Nakanishi Y, Yamaguchi K, Yoshida Y	呼吸器内科	Coexisting TIF1 gamma-positive Primary Pulmonary Lymphoepithelioma-like Carcinoma and Anti-TIF1 gamma Antibody-positive Dermatomyositis	INTERNAL MEDICINE.2020;59(20):2553-2558-2558	Article

151	Okamoto T, Sugimoto S, Noda M	病院(医) 呼吸器:医・二内	Interleukin-8 Release Inhibitors Generated by Fermentation of <i>Artemisia princeps</i> Pamparini Herb Extract With <i>Lactobacillus plantarum</i> SN13T	FRONTIERS IN MICROBIOLOGY.2020JUN 3; 110:--	Article
152	Sekino Y, Han X, Babasaki T	泌尿器科	TUBB3 Is Associated with High-Grade Histology, Poor Prognosis, p53 Expression, and Cancer Stem Cell Markers in Clear Cell Renal Cell Carcinoma	ONCOLOGY.2020OCT; 98(10):689-698-698	Article
153	Okada K, Murakami Y, Uemura K	消化器・代謝内科	Neoadjuvant therapy for pancreatic cancer: an intention-to-treat analysis	LANGENBECKS ARCHIVES OF SURGERY.2020AUG; 405(5):623-633-633	Article
154	Nitagawa M, Nagamine K, Oka H	病院(医) 消化器・医・一外	Rapid detection of the <i>Streptococcus mutans</i> cmm gene by loop-mediated isothermal amplification	ANALYTICAL BIOCHEMISTRY.2020SEP 15; 6050:--	Article
155	Sakata S, Tsumura M, Okada S.	小児科	Autosomal recessive complete STAT1 deficiency caused by compound heterozygous intronic mutations	INTERNATIONAL IMMUNOLOGY.2020OCT; 32(10):663-671-671	Article
156	Ohsawa M, Hamai Y, Ibusuki Y	消化器外科	Successful Management of Esophageal Cancer With Perforation Using Bypass Surgery Followed by Definitive Chemoradiotherapy	IN VIVO.2020JUL-AUG; 34(4):2169-2172-2172	Article
157	Akabane S, Hinoh T, Akagi K	遺伝子診療科	A case of Turcot's syndrome type 1 with loss of immunexpression of MSH6 in colon cancer and liver metastasis due to secondary somatic mutation in coding mononucleotide (C)8 tract: a case report	BMC MEDICAL GENETICS.2020JUL 1; 21(1):	Article
158	Ko JA, Komatsu K, Okumichi H	眼科	Functional analysis of mesencephalic astrocyte-derived neurotrophic factor in retinal ganglion cells under oxidative stress	CELL BIOCHEMISTRY AND FUNCTION.2021JAN; 39(1): 98-106-106	Article
159	Yamamoto M, Kobayashi T, Mashima H	消化器外科	PD1 gene polymorphism is associated with a poor prognosis in hepatocellular carcinoma following liver resection, cohort study	INTERNATIONAL JOURNAL OF SURGERY.2020AUG; 80(): 84-90-90	Article
160	Kubo K, Murakami Y, Imano N	放射線治療科	A Single Institution's Experience of Definitive Radiotherapy Using Volumetric-modulated Arc Therapy for Hypopharyngeal Cancers	ANTICANCER RESEARCH.2020JUL; 40(7): 4183-4190-4190	Article

計10件

161	Kochi M, Hinoi T, Niitsu H	消化器外科	Oncogenic mutation in RAS-RAF axis leads to increased expression of GREB1, resulting in tumor proliferation in colorectal cancer	CANCER SCIENCE.2020OCT;111(10):3540-3549-3549	Article
162	Kondo T, Izumi H, Kitagawa M.	麻酔科	Comparison of the Effects of Desflurane, Sevoflurane, and Propofol on the Glottic Opening Area during Remifentanil-Based General Anesthesia Using a Supraglottic Airway Device	ANESTHESIOLOGY RESEARCH AND PRACTICE.2020JUN 19; 2020:—	Article
163	Ishii S, Sakurashita H, Mashida E	病院(医) 皮膚運・医・麻酔	Impact of systemic steroid treatment on talc pleurodesis: a report of six cases	JOURNAL OF PHARMACEUTICAL HEALTH CARE AND SCIENCES.2020JUL 3; 6(1):—	Article
164	Inoue S, Hayashi T, Teishima J	泌尿器科	Impact of Adrenalectomy on Cortisol-Producing Adenoma: Longitudinal Evaluation of Health-Related Quality of Life following Laparoscopic Adrenalectomy	UROLOGIA INTERNATIONALIS.2020SEP; 104(9-10):789-796-796	Article
165	Takaki S, Imamura M, Yamaguchi S	消化器・代謝内科	Real-word efficacy of sofosbuvir, velpatasvir plus ribavirin therapy for chronic hepatitis patients who failed to prior DAA therapy with NS5A-P32 deletion mutated HCV infection	CLINICAL JOURNAL OF GASTROENTEROLOGY.2020 DEC; 13(6):1233-1238-1238	Article
166	Sakuda T, Kubo T, Shinomiya R	整形外科	Rapidly growing Fibro-osseous pseudotumor of the digit A case report	MEDICINE.2020JUL 10; 99(28):—	Article
167	Izumino J, Kaku M, Yamamoto T	病院(医) 皮膚運・医・整形	Effects of hyperbaric oxygen treatment on calvarial bone regeneration in young and adult mice	ARCHIVES OF ORAL BIOLOGY.2020SEP; 117(0):—	Article
168	Kawahara D, Ozawa S, Yokomachi K	放射線治療科	Synthesized effective atomic numbers for commercially available dual-energy CT	REPORTS OF PRACTICAL ONCOLOGY AND RADIOTHERAPY.2020JUL-AUG; 25(4):692-697-697	Article
169	Nakasa T, Ikuta Y, Ota Y	未来医療センター	Bone Mineralization Changes in the Subchondral Bone of the Medial Gutter in Chronic Lateral Ankle Instability	FOOT & ANKLE INTERNATIONAL.2020NOV; 41(11):1419-1426-1426	Article
170	Shimoyama R, Tsutani Y, Wakabayashi M	呼吸器外科	A multi-institutional randomized phase III trial comparing anatomical segmentectomy and wedge resection for clinical stage I A non-small cell lung cancer in high-risk operable patients: Japan Clinical Oncology Group Study JCOG1909 (ANSWER study)	JAPANESE JOURNAL OF CLINICAL ONCOLOGY.2020OCT; 50(10):1209-1213-1213	Article

計10件

171	Kamimura T, Nezu T, Aoki S	脳神経内科	Conus Medullaris Infarction Involving the Paraspinal Muscles and Nerve Roots	JOURNAL OF STROKE & CEREBROVASCULAR DISEASES.2020AUG;29(8):--	Article
172	Murakami Y, Noda SE, Hayatama Y	放射線治療科	What motivated medical students and residents to become radiation oncologists in Japan?— Questionnaire report by the radiotherapy promotion committee of JASTRO	JOURNAL OF RADIATION RESEARCH.2020SEP;61(5): 727-732	Article
173	Ishii Y, Nakashima Y, Ishikawa M	整形外科	Dynamic ultrasonography of the medial meniscus during walking in knee osteoarthritis	KNEE.2020AUG;27(4):1256-1262	Article
174	Uchikawa S, Kawaoaka T, Aikata H.	消化器・代謝内科	Trends in Hepatic Functional Reserve of Patients with Hepatocellular Carcinoma Treated with Tyrosine Kinase Inhibitors	ONCOLOGY 2020OCT; 98(10):727-733-733	Article
175	Kyo M, Hosokawa K, Ohshima S	高度救命救急センター	Prognosis of pathogen-proven acute respiratory distress syndrome diagnosed from a protocol that includes bronchoalveolar lavage: a retrospective observational study	JOURNAL OF INTENSIVE CARE.2020JUL 23;8(1):--	Article
176	Yoshida S, Koshima I, Jinai H	国際リンパ浮腫治療センター	Lymphaticovenular anastomosis for recurrent cellulitis in a dementia patient with lymphedema	JOURNAL OF VASCULAR SURGERY CASES AND INNOVATIVE TECHNIQUES.2020SEP;6(3): 340-343-343	Article
177	Kiso M, Urabe Y, Ito M	未来医療センター	Clinical and genomic characteristics of mucosal signet-ring cell carcinoma in Helicobacter pylori-uninfected stomach	BMC GASTROENTEROLOGY.2020JUL 29;20(1):--	Article
178	Kurokawa T, Harnai Y, Emi M	消化器外科	Risk Factors for Recurrence in Esophageal Squamous Cell Carcinoma Without Pathological Complete Response After Trimodal Therapy	ANTICANCER RESEARCH.2020AUG;40(8): 4387-4394-4394	Article
179	Takemoto K, Teishima J, Kohada Y	泌尿器科	The Impact of Histological Variant on Oncological Outcomes in Patients With Urothelial Carcinoma of the Bladder Treated With Radical Cystectomy	ANTICANCER RESEARCH.2020AUG;40(8): 4787-4793-4793	Article; Proceedings Paper
180	Nezu T, Hosomi N, Kuzume D	脳神経内科	Effects of vascular compression on the rostral ventrolateral medulla for blood pressure variability in stroke patients	JOURNAL OF HYPERTENSION.2020DEC; 38(12):2443-2450-2450	Article

計10件

181	Kamegashira A, Yanase Y, Hide M.	皮膚科	Histamine- or vascular endothelial growth factor-induced tissue factor expression and gap formation between vascular endothelial cells are synergistically enhanced by lipopolysaccharide, tumor necrosis factor-alpha, interleukin (IL)-33 or IL-1 beta	JOURNAL OF DERMATOLOGY.2020NOV; 47(11):1293-1300-1300	Article
182	Shintani T, Iwata T, Okada M	(医学)皮膚科学(皮膚科)	Clinical Outcomes of Post-exposure Prophylaxis following Occupational Exposure to Human Immunodeficiency Virus at Dental Departments of Hiroshima University Hospital	CURRENT HIV RESEARCH.2020;18(6):475-479-479	Article
183	Murakami C, Kakuta N, Tsutsumi YM.	麻酔科	Neurokinin-1 receptor antagonists for postoperative nausea and vomiting: a systematic review and meta-analysis	REVISTA BRASILEIRA DE ANESTESIOLOGIA.2020; 70(5):508-519-519	Review
184	Utsunomiya H, Harada Y, Susawa H	循環器内科	Tricuspid valve geometry and right heart remodeling: insights into the mechanism of atrial functional tricuspid regurgitation	EUROPEAN HEART JOURNAL-CARDIOVASCULAR IMAGING.2020OCT;21(10): 1068-1078-1078	Article
185	Aoki S, Hosomi N, Nishi H	脳神経内科	Serum IgG titers to periodontal pathogens predict 3-month outcome in ischemic stroke patients	PLOS ONE.2020AUG 6;15(8): --	Article
186	Namba M, Masuda T, Takao S	がん化学療法科	Extent of pulmonary fibrosis on high-resolution computed tomography is a prognostic factor in patients with pleuroparenchymal fibroelastosis	RESPIRATORY INVESTIGATION.2020NOV; 58(6):465-472-472	Article
187	Nakamori M, Imamura E, Fukuta M	脳神経内科	Tongue thickness measured by ultrasonography is associated with tongue pressure in the Japanese elderly	PLOS ONE.2020AUG 7;15(8): --	Article
188	Doi Y, Nakao M, Miura H	放射線治療科	Hybrid volumetric-modulated arc therapy for postoperative breast cancer including regional lymph nodes: the advantage of dosimetric data and safety of toxicities	JOURNAL OF RADIATION RESEARCH.2020SEP;61(5): 747-754-754	Article
189	Kurisu S, Nitta K, Watanabe N	循環器内科	Effects of Newly Developed Right Versus Left Bundle Branch Block on the QRS Axis, T-wave Axis and Frontal QRS-T Angle in Patients with a Narrow QRS	INTERNAL MEDICINE.2021; 60(1):25-30-30	Article
190	Iwata T, Mizuno N, Nagahara T	(医学)循環器内科学(循環器)	Identification of regulatory mRNA and microRNA for differentiation into cementoblasts and periodontal ligament cells.	JOURNAL OF PERIODONTAL RESEARCH.2021JAN;56(1): 69-82-82	Article

計10件

191	Itoh H, Hisamatsu T, Tamura T	病院(歯) 口維持:歯:二保	Cardiac Conduction Disorders as Markers of Cardiac Events in Myotonic Dystrophy Type 1	JOURNAL OF THE AMERICAN HEART ASSOCIATION.2020SEP 1; 9(17):--	Article
192	Kitagawa T, Hattori T, Sentani K	循環器内科	Relationship between interleukin-1 beta gene expression in epicardial adipose tissue and coronary atherosclerosis based on computed tomographic analysis	JOURNAL OF CARDIOVASCULAR COMPUTED TOMOGRAPHY.2021MAR-APR;15(2):175-179-179	Article
193	Ishii Y, Serikawa M, Tsuboi T	消化器・代謝内科	Usefulness of peroral cholangioscopy in the differential diagnosis of IgG4-related sclerosing cholangitis and extrahepatic cholangiocarcinoma: a single-center retrospective study	BMC GASTROENTEROLOGY.2020 AUG 24;20(1):--	Article
194	Shoji T, Ota Y, Saka H	整形外科	Factors affecting impingement and dislocation after total hip arthroplasty - Computer simulation analysis	CLINICAL BIOMECHANICS.2020DEC; 800:--	Article
195	Tanimine N, Ohira M, Ohdan H,	消化器外科	Strategies for Deliberate Induction of Immune Tolerance in Liver Transplantation: From Preclinical Models to Clinical Application	FRONTIERS IN IMMUNOLOGY.2020JUL 31; 110:--	Review
196	Okada S, Asano T, Moriya K	小児科	HumanSTAT1Gain-of-Function Heterozygous Mutations: Chronic Mucocutaneous Candidiasis and Type I Interferonopathy	JOURNAL OF CLINICAL IMMUNOLOGY.2020NOV; 40(8):1065-1081-1081	Review
197	Tsukiyama N, Tahara H, Shimizu S	消化器外科	Rapidly Progressive Invasive Urothelial Carcinoma With Flat and Infiltrative Growth Pattern in the Graft Kidney After Living-Related Kidney Transplantation: A Case Report	TRANSPLANTATION PROCEEDINGS.2020NOV; 52(9):2726-2730-2730	Article
198	Higaki M, Kanda T, Ando T	病院(医) 消化器:医・二外	Development of Kikuchi-Fujimoto disease after a cervical lymph node metastasis of mucoepidermoid carcinoma: a case report	ORAL AND MAXILLOFACIAL SURGERY-HEIDELBERG.2021MAR; 25(1):133-137-137	Article
199	Nezu T, Hosomi N.	脳神経内科	Usefulness of Carotid Ultrasonography for Risk Stratification of Cerebral and Cardiovascular Disease	JOURNAL OF ATHEROSCLEROSIS AND THROMBOSIS.2020;27(10): 1023-1035-1035	Review
200	Kohata A, Hirata Y, Ishikawa S	消化器外科	Large hydrocele of the canal of Nuck diagnosed and treated using conventional and laparoscopic methods	JOURNAL OF SURGICAL CASE REPORTS.2020AUG; (8):--	Article

計10件

201	Sumiyoshi T, Uemura K, Kondo N	消化器外科	New surgical technique for pancreatic lithotripsy without coring-out	CLINICAL JOURNAL OF GASTROENTEROLOGY.2020 DEC;13(6):1343-1346-1346	Article
202	Ando Y, Kawaoka T, Aikata H.	消化器・代謝内科	Analysis of Post-Progression Survival in Patients with Unresectable Hepatocellular Carcinoma Treated with Lenvatinib	ONCOLOGY.2020NOV; 98(11):787-797-797	Article
203	Hamai Y, Emi M, Ibuki Y	消化器外科	Distribution of Lymph Node Metastasis in Esophageal Squamous Cell Carcinoma After Trimodal Therapy	ANNALS OF SURGICAL ONCOLOGY.2021MAR;28(3):1798-1807-1807	Article
204	Kawashima M, Ueda Y, Hiyama E.	小児外科	TERTpromotor region rearrangements analyzed in high-risk neuroblastomas by FISH method and whole genome sequencing	INTERNATIONAL JOURNAL OF CLINICAL ONCOLOGY.2020DEC; 25(12):2166-2174-2174	Article
205	Kitagawa H, Nomura T, Nazmul T	感染症科	Effectiveness of 222-nm ultraviolet light on disinfecting SARS-CoV-2 surface contamination	AMERICAN JOURNAL OF INFECTION CONTROL.2021MAR; 49(3):299-301-301	Article
206	Otsuka H, Uemura K, Kondo N	消化器外科	Clinical characteristics of initial recurrence in lung after surgical resection for pancreatic ductal adenocarcinoma	PANCREATOLOGY.2020OCT; 20(7):1472-1478-1478	Article
207	Morita Y, Ohno H, Yoneda M.	内分泌・糖尿病内科	Variation in plasma glucagon levels according to obesity status in Japanese Americans with normal glucose tolerance	ENDOCRINE JOURNAL.2021; 68(1):95-102-102	Article
208	Ogawa Y, Irfune M, Mukai A	(医学)糖尿病・生活習慣病予防(寄附)	The indirect gamma-aminobutyric acid (GABA) receptor agonist gabaculine-induced loss of the righting reflex may inhibit the descending analgesic pathway	PHARMACOLOGY BIOCHEMISTRY AND BEHAVIOR.2020NOV; 198():-	Article
209	Nakao S, Yamaguchi K, Iwamoto H	呼吸器内科	Serum high-mobility group box 1 as a predictive marker for cytotoxic chemotherapy-induced lung injury in patients with lung cancer and interstitial lung disease	RESPIRATORY MEDICINE.2020OCT; 1720():-	Article
210	Ishikawa N, Tateishi Y, Tani H	小児科	Effects of perampanel add-on therapy on immunoglobulin levels in pediatric patients with epilepsy	EPILEPSY RESEARCH.2020NOV; 1670():-	Article

計10件

211	Ohya K, Immura M, Chayama K.	消化器・代謝内科	Real-world efficacy of sofosbuvir plus velpatasvir therapy for patients with hepatitis C virus-related decompensated cirrhosis	HEPATOLOGY RESEARCH.2020NOV;50(11):1234-1243-1243	Article
212	Hide M, Horiuchi T, Ohsawa I	皮膚科	Management of hereditary angioedema in Japan: Focus on icatibant for the treatment of acute attacks	ALLERGOLOGY INTERNATIONAL.2021JAN;70(1):45-54-54	Review
213	Kitano H, Kako M, Tsuga K	泌尿器科	Developing New Information Sheets for Evacuees and Evacuation Centers to be Used During All Natural Disaster Phases	PREHOSPITAL AND DISASTER MEDICINE.2020DEC;35(6):683-687-687	Article
214	Kajikawa M, Maruhashi T, Kishimoto S	未来医療センター	Association of Body Mass Index with Endothelial Function in Asian Men	INTERNATIONAL JOURNAL OF CARDIOLOGY.2021FEB 1;3240:186-192-192	Article
215	Okazaki Y, Abe Y, Dainobu K	病院(医) 未来医療センター	A web-based survey of denture adhesive use among denture wearers 40 years of age and older	JOURNAL OF ORAL SCIENCE.2021JAN;63(1):98-100-100	Article
216	Inoue S, Hayashi T, Teishima J	泌尿器科	Effect of penile rehabilitation with low intensity extracorporeal shock wave therapy on erectile function recovery following robot-assisted laparoscopic prostatectomy	TRANSLATIONAL ANDROLOGY AND UROLOGY.2020AUG;9(4):1559-1565-1565	Article
217	Murodumi H, Shigeishi H, Kato H	病院(医) 泌尿生・医・泌尿	Melatonin-induced miR-181c-5p enhances osteogenic differentiation and mineralization of human jawbone-derived osteoblastic cells	MOLECULAR MEDICINE REPORTS.2020OCT;22(4):3549-3558-3558	Article
218	Nakasa T, Ikuta Y, Ota Y	未来医療センター	The Potential of Bone Debris as a Bioactive Composite for Bone Grafting in Arthroscopic Ankle Arthrodesis	JOURNAL OF FOOT & ANKLE SURGERY.2020NOV-DEC;59(6):1234-1238-1238	Article
219	Nakamori M, Immura E, Tachiyama K	脳神経内科	Patient Health Questionnaire-9 predicts the functional outcome of stroke patients in convalescent rehabilitation ward	BRAIN AND BEHAVIOR.2020DEC;10(12):--	Article
220	Morita K, Kimura H, Tsuka H	病院(医) 脳神精・医・三内	Association between salivary alpha-amylase and subjective and objective oral parafunctions in community-dwelling elderly individuals	JOURNAL OF DENTAL SCIENCES.2020SEP;15(3):310-314-314	Article

計10件

221	Oki K, Gomez-Sanchez CE.	内分泌・糖尿病内科	The landscape of molecular mechanism for aldosterone production in aldosterone-producing adenoma	ENDOCRINE JOURNAL.2020; 67(10):989-995-995	Review
222	Imaoka Y, Ohira M, Sato K	未来医療センター	Impact on biliary complications of donor abdominal aortic calcification among living donor liver transplantation: a retrospective study	TRANSPLANT INTERNATIONAL.2020DEC; 33(12):1745-1753-1753	Article
223	Ueda N, Kawaoka T, Imamura M	診療支援部	Liver fibrosis assessments using FibroScan, virtual-touch tissue quantification, the FIB-4 index, and mac-2 binding protein glycosylation isomer levels compared with pathological findings of liver resection specimens in patients with hepatitis C infection	BMC GASTROENTEROLOGY.2020 SEP 25;20(1):--	Article
224	Nakamori M, Hosomi N, Imamura E	脳神経内科	Association between stroke lesions and videofluoroscopic findings in acute stroke patients	JOURNAL OF NEUROLOGY.2021MAR; 268(3):1025-1035-1035	Article
225	Kurisu S, Nitta K, Watanabe N	循環器内科	Effects of upright T-wave in lead aVR on left ventricular volume and function derived from ECG-gated SPECT in patients with advanced chronic kidney disease	ANNALS OF NUCLEAR MEDICINE.2021JAN;35(1):1-7-7	Article
226	Okamura A, Otsubo H, Iida K.	脳神経外科	Secondary epileptogenesis on gradient magnetic-field topography correlates with seizure outcomes after vagus nerve stimulation	EPILEPSY RESEARCH.2020NOV;167():-	Article
227	Nakamori M, Imamura E, Kuwabara M	脳神経内科	Simplified cough test can predict the risk for pneumonia in patients with acute stroke	PLOS ONE.2020SEP 29; 15(9):—	Article
228	Furutama D, Matsuda S, Yamawaki Y	病院(医) 脳神精:医・三内	IL-6 Induced by Periodontal Inflammation Causes Neuroinflammation and Disrupts the Blood-Brain Barrier	BRAIN SCIENCES.2020OCT; 10(10):—	Article
229	Okumoto J, Sakamoto S, Masuda T	呼吸器内科	Alectinib-induced Immune Hemolytic Anemia in a Patient with Lung Adenocarcinoma	INTERNAL MEDICINE.2021; 60(4):611-615-615	Article
230	Matsumura R, Mochizuki S, Maruyama N	小児科	Bone marrow transplantation from a human leukocyte antigen-mismatched unrelated donor in a case with C1q deficiency associated with refractory systemic lupus erythematosus	INTERNATIONAL JOURNAL OF HEMATOLOGY.2021FEB; 113(2):302-307-307	Article

計10件

231	Watadani Y, Ohge H, Hashimoto Y	病院(医) 造血器:医・小兒	Validating the Japanese version of the Gastrointestinal Quality of Life Index (GIQLI) questionnaire	ANNALS OF GASTROENTEROLOGICAL SURGERY.2020SEP;4(5):597-601-601	Article
232	Nakamori M, Hosomi N, Tachiyama K	脳神経内科	Lobar microbleeds are associated with cognitive impairment in patients with lacunar infarction	SCIENTIFIC REPORTS.2020OCT 2;10(1):--	Article
233	Masuda Y, Okada G, Okamoto Y	精神科	White matter abnormalities and cognitive function in euthymic patients with bipolar disorder and major depressive disorder	BRAIN AND BEHAVIOR.2020DEC;10(12):--	Article
234	Abe Y, Okazaki Y, Dainobu K	口腔インプラント診療科	Antimicrobial effects of viscous mouthrinses containing cetylpyridinium chloride and isopropyl methylphenol	AMERICAN JOURNAL OF DENTISTRY.2020OCT;33(5):235-238-238	Article
235	Koshima I.	国際リンパ浮腫治療センター	Combined Tissue Transfer for Extensive Lower Limb Complex Defects: Flow-through Flaps, Chimera, and "Orochi" Flaps	JOURNAL OF RECONSTRUCTIVE MICROSURGERY.2021JAN;37(01):17-21-21	Article
236	Matsubara D, Takahagi S, Hide M.	皮膚科	Analysis of the long-term economic burden of omalizumab on patients with chronic spontaneous urticaria	JOURNAL OF DERMATOLOGY.2021JAN;48(1):56-63-63	Article
237	Erabi H, Okada G, Okamoto Y.	精神科	Kynurenic acid is a potential overlapped biomarker between diagnosis and treatment response for depression from metabolome analysis	SCIENTIFIC REPORTS.2020OCT 8;10(1):--	Article
238	Kondo T, Saeki N, Otsuki S	麻酔科	Evaluation of a new face mask concept for oxygen administration: a crossover study in healthy volunteers	JOURNAL OF ANESTHESIA.2020DEC;34(6):950-952-952	Article
239	Kan T, Takahagi S, Hide M.	皮膚科	Calculation of practical skin donor area for meshed skin grafting in real-world surgery	DERMATOLOGIC THERAPY.2020NOV;33(6):--	Article
240	Takeda C, Yoshida M, Nakamori M	咬合・義歯診療科	Delayed Swallowing Reflex is Overlooked in Swallowing Screening Among Acute Stroke Patients	JOURNAL OF STROKE & CEREBROVASCULAR DISEASES.2020DEC;29(12):--	Article

計10件

241	Onishi A, Abdullah AN, Tanimoto K	(歯学)先端歯科補綴学	Optimization of culture conditions for the efficient differentiation of mouse-induced pluripotent stem cells into dental epithelial-like cells	JIN VITRO CELLULAR & DEVELOPMENTAL BIOLOGY-ANIMAL.2020OCT; 56(9): 816-824	Article
242	Miki D, Akita T, Chayama K.	消化器・代謝内科	PNPLA3andHLA-DQB1polymorphisms are associated with hepatocellular carcinoma after hepatitis C virus eradication	JOURNAL OF GASTROENTEROLOGY.2020 DEC; 55(12): 1162-1170-1170	Article
243	Sasada S, Masumoto N, Song H	乳腺外科	Microwave Breast Imaging Using Rotational Bistatic Impulse Radar for the Detection of Breast Cancer: Protocol for a Prospective Diagnostic Study	JMIR RESEARCH PROTOCOLS.2020OCT; 9(10):--	Article
244	Hanamoto Y, Ouhara K, Munenaga S	病院(医) 内分泌・医・原外	Effect of Porphyromonas gingivalis infection on gut dysbiosis and resultant arthritis exacerbation in mouse model	ARTHRITIS RESEARCH & THERAPY.2020OCT 19; 22(1):--	Article
245	Nishida Y, Kawaoka T, Iimamura M,	消化器・代謝内科	Efficacy of Lusutrombopag for Thrombocytopenia in Patients with Chronic Liver Disease Scheduled to Undergo Invasive Procedures	INTERNAL MEDICINE.2021; 60(6): 829-837-837	Article
246	Wakabayashi Y, Masuda T, Fujitaka K	呼吸器内科	Clinical significance of BIM deletion polymorphism in chemoradiotherapy for non-small cell lung cancer	CANCER SCIENCE.2021JAN; 112(1): 369-379-379	Article
247	Hiyama T, Harada Y, Kiuchi Y.	眼科	Clinical characteristics and efficacy of methotrexate in Japanese patients with noninfectious scleritis	JAPANESE JOURNAL OF OPHTHALMOLOGY.2021JAN; 65(1): 97-106-106	Article
248	Yokoyama S, Shigeishi H, Murodumi H	口腔健康科	TGF-beta 1 induces amoeboid-to-mesenchymal transition of CD44(high) oral squamous cell carcinoma cells via miR-422a downregulation through ERK activation and Cofilin-1 phosphorylation	JOURNAL OF ORAL PATHOLOGY & MEDICINE.2021FEB; 50(2): 155-164-164	Article
249	Sakuda T, Kubo T, Johan MP	整形外科	Development of an Oncolytic Recombinant Vesicular Stomatitis Virus Encoding a Tumor-suppressor MicroRNA	ANTICANCER RESEARCH.2020NOV; 40(11): 6319-6325-6325	Article
250	Nakamori M, Hosomi N, Nishi H	脳神経内科	Serum IgG titers against periodontal pathogens are associated with cerebral hemorrhage growth and 3-month outcome	PLOS ONE.2020OCT 28; 15(10):--	Article

計10件

251	Yoshimura K, Ohge H, Shimada N	消化器外科	Successful surgical procedure based on careful preoperative imaging for chronic idiopathic colonic pseudo-obstruction: a case report	SURGICAL CASE REPORTS.2020OCT;28(1):--	Article
252	Aoki R, Hirooka K, Goda E	眼科	Comparison of Surgical Outcomes Between Microhook Ab Interno Trabeculotomy and Goniotomy with the Kahook Dual Blade in Combination with Phacoemulsification: A Retrospective, Comparative Case Series	ADVANCES IN THERAPY.2021JAN;38(1):329-336-336	Article
253	Teishima J, Inoue S, Miyamoto S	泌尿器科	Impact of postoperative acute kidney injury on predicting the upstaging of chronic kidney disease after robot-assisted partial nephrectomy	ASIAN JOURNAL OF ENDOSCOPIC SURGERY.2021JAN;14(1):50-56-56	Article
254	Torita N, Yuge R, Takigawa H	内視鏡診療科	Stromal reaction inhibitor and immune-checkpoint inhibitor combination therapy attenuates excluded-type colorectal cancer in a mouse model	CANCER LETTERS.2021FEB;1;4980:111-120-120	Article
255	Yoshida M, Ono S, Shimizu Y	病院(医) 内視鏡診療科	Usefulness of Tranexamic Acid Administration During Sagittal Split Ramus Osteotomy	JOURNAL OF CRANIOFACIAL SURGERY.2021JAN-FEB;32(1):273-276-276	Article
256	Hamada A, Akagi E, Okamoto T.	病院(歯) 口再建:歯・麻酔	Induction of Noonan syndrome-specific human-induced pluripotent stem cells under serum-, feeder-, and integration-free conditions	IN VITRO CELLULAR & DEVELOPMENTAL BIOLOGY-ANIMAL.2020DEC;56(10):888-895-895	Article
257	Yasuda K, Okada S, Abe Y.	病院(歯) 口再建:歯・一外	Bone turnover markers to assess jawbone quality prior to dental implant treatment: a case-control study	INTERNATIONAL JOURNAL OF IMPLANT DENTISTRY.2020NOV 3;6(1):--	Article
258	Michiue K, Nishikawa Y.	診療支援部	Electrical muscle stimulation intervention in the acute phase of neuromyelitis optica: Two case reports	SAGE OPEN MEDICAL CASE REPORTS.2020OCT;80:--	Article
259	Akagi M, Nakamura Y, Higaki T	放射線診断科	Deep learning reconstruction of equilibrium phase CT images in obese patients	EUROPEAN JOURNAL OF RADIOLOGY.2020DEC;1330:--	Article
260	Ikuta Y, Nakasa T, Sumii J	整形外科	Long-term Natural Course of the Osteochondral Lesion of the Talus in a Child: A Case Report	JOURNAL OF FOOT & ANKLE SURGERY.2021MAR-APR;60(2):396-398-398	Article

計10件

261	Hama S, Yoshimura K, Yanagawa A	脳神経外科	Relationships between motor and cognitive functions and subsequent post-stroke mood disorders revealed by machine learning analysis	SCIENTIFIC REPORTS.2020NOV 11;10(1):--	Article
262	Liu S, Murakami E, Chayama K.	消化器・代謝内科	In vitro analysis of hepatic stellate cell activation influenced by transmembrane 6 superfamily 2 polymorphism	MOLECULAR MEDICINE REPORTS.2021JAN;23(1):--	Article
263	Shimoji K, Masuda T, Yamaguchi K	呼吸器内科	Association of Preexisting Interstitial Lung Abnormalities With Immune Checkpoint Inhibitor-Induced Interstitial Lung Disease Among Patients With Nonlung Cancers	JAMA NETWORK OPEN.2020NOV 12;3(11):--	Article
264	Okumichi H, Itakura K, Yuasa Y	眼科	Foveal structure in nanophthalmos and visual acuity	INTERNATIONAL OPHTHALMOLOGY.2021MAR;41(3):805-813-813	Article
265	Miki K, Kusters M, Nakashima T	放射線部	Evaluation of optimization workflow using custom-made planning through predicted dose distribution for head and neck tumor treatment	PHYSICA MEDICA-EUROPEAN JOURNAL OF MEDICAL PHYSICS.2020DEC;800:167-174	Article
266	Nitta K, Fukuda Y, Susawa H	循環器内科	Impact of Prosthesis-Patient Mismatch After Transcatheter Aortic Valve Replacement on Changes in Cardiac Sympathetic Nervous Function Assessment by ¹²³ I-Metaiodobenzylguanidine Myocardial Scintigraphy	INTERNATIONAL HEART JOURNAL.2020NOV;61(6):1188-1195-1195	Article
267	Yokoya S, Harada Y, Negi H	整形外科	Arthroscopic Rotator Cuff Repair With Muscle Advancement and Artificial Biodegradable Sheet Reinforcement for Massive Rotator Cuff Tears	ORTHOPAEDIC JOURNAL OF SPORTS MEDICINE.2020OCT;8(10):--	Article
268	Teraoka Y, Imamura M, Chayama K.	消化器・代謝内科	Abatacept treatment for patients with severe acute hepatitis caused by hepatitis B virus infection—Pilot study	JOURNAL OF VIRAL HEPATITIS.2021FEB;28(2):400-409-409	Article
269	Yoshikawa Y, Imamura M, Chayama K.	消化器・代謝内科	A case with life-threatening secondary sclerosing cholangitis caused by nivolumab	CLINICAL JOURNAL OF GASTROENTEROLOGY.2021 FEB;14(1):283-287-287	Article
270	Onishi S, Amatya VJ, Yamasaki F.	脳神経外科	Radiological and Immunostaining Characteristics of H3.3 G34R-Mutant Glioma: A Report of 3 Cases and Review of the Literature	PEDIATRIC NEUROSURGERY.2020DEC;55(5):319-325-325	Review

計10件

271	Kikumoto M, Aoki S, Shiga Y	脳神経内科	Giant Cell Arteritis with Internal Carotid Artery Occlusion in the Absence of Typical Clinical Features	INTERNAL MEDICINE.2021; 60(8):1293-1297-1297	Article
272	Yoneda M, Kubota M, Watanabe H	内分泌・糖尿病内科	Westernization of Lifestyle and Atherosclerosis in the Japanese: Lessons from the Hawaii - Los Angeles - Hiroshima Study	JOURNAL OF ATHEROSCLEROSIS AND THROMBOSIS.2021;28(3): 214-222-222	Review
273	Hara N, Morino H, Matsuda Y	脳神経内科	Zonisamide can ameliorate the voltage-dependence alteration of the T-type calcium channel Ca(V)3.1 caused by a mutation responsible for spinocerebellar ataxia	MOLECULAR BRAIN.2020DEC 26;13(1):--	Article
274	Nakashima Y, Kawae T, Iwaki D	診療支援部	Changes in motor function and quality of life after surgery in patients with pancreatic cancer	EUROPEAN JOURNAL OF CANCER CARE.2021MAR; 30(2):--	Article
275	Takahashi T, Yoshida T, Harada K	診療支援 リハビリテーション	Component of nicotine-induced intracellular calcium elevation mediated through alpha 3-and alpha 5-containing nicotinic acetylcholine receptors are regulated by cyclic AMP in SH-SY 5Y cells	PLOS ONE.2020NOV 30; 15(11):--	Article
276	Kawahara D, Saito A, Ozawa S	放射線治療科	Image synthesis with deep convolutional generative adversarial networks for material decomposition in dual-energy CT from a kilovoltage CT	COMPUTERS IN BIOLOGY AND MEDICINE.2021JAN; 1280:--	Article
277	Ushio K, Nakanishi K, Mikami Y	リハビリテーション科	Altered Resting-State Connectivity with Pain-Related Expectation Regions in Female Patients with Severe Knee Osteoarthritis	JOURNAL OF PAIN RESEARCH.2020;13(0):3227-3234-3234	Article
278	Kondo T, Toyota Y, Narasaki S	麻酔科	Intraoperative responses of motor evoked potentials to the novel intravenous anesthetic remimazolam during spine surgery: a report of two cases	JA CLINICAL REPORTS.2020DEC 9;6(1):--	Article
279	Kado I, Hisatsune J, Sugai M.	病院(医) 皮膚運・医・麻酔	The impact of fixed orthodontic appliances on oral microbiome dynamics in Japanese patients	SCIENTIFIC REPORTS.2020DEC 15;10(1):--	Article
280	Ohge H, Mayumi T, Haji S	感染症科	The Japan Society for Surgical Infection: guidelines for the prevention, detection, and management of gastroenterological surgical site infection, 2018	SURGERY TODAY.2021JAN; 51(1):1-31-31	Article

計10件

281	Kawahara D, Nakano H, Saito A	放射線治療科	Formulation of objective indices to quantify machine failure risk analysis for interruptions in radiotherapy	JOURNAL OF APPLIED CLINICAL MEDICAL PHYSICS.2021JAN;22(1):165-173-173	Article
282	Nakamura M, Shigeishi H, Cheng-Yih SU	診療支援部	Oral human cytomegalovirus prevalence and its relationships with periodontitis and Porphyromonas gingivalis in Japanese adults: a cross-sectional study	JOURNAL OF APPLIED ORAL SCIENCE.2020;280:-	Article
283	Imano N, Murakami Y, Kubo K	放射線治療科	Efficacy and tolerability of preoperative chemoradiotherapy with S-1 alone for locally advanced rectal cancer	JOURNAL OF RADIATION RESEARCH.2021MAR;62(2):300-308-308	Article
284	Yamaga S, Kawabata A, Shime N.	救急集中治療科	Hypothermia, Poorly Recognized by clinicians, is associated with Higher Mortality Among Critically Ill Patients with infections: A Retrospective Observational Study	JOURNAL OF INFECTION AND CHEMOTHERAPY.2021MAR;27(3):540-543-543	Article
285	Yoshikawa M, Fukuoka T, Mori T	口腔インプラント診療科	Comparison of the Iowa Oral Performance Instrument and JMS tongue pressure measurement device	JOURNAL OF DENTAL SCIENCES.2021JAN;16(1):214-219-219	Article
286	Yoshikawa M, Nagakawa K, Tanaka R	口腔インプラント診療科	Original Article Improper sitting posture while eating adversely affects maximum tongue pressure	JOURNAL OF DENTAL SCIENCES.2021JAN;16(1):467-473-473	Article
287	Toko M, Kitamura J, Ueno H	脳神経内科	Prospective Memory Deficits in Multiple Sclerosis: Voxel-based Morphometry and Double Inversion Recovery Analysis	INTERNAL MEDICINE.2021;60(1):39-46-46	Article
288	Ochi M, Murakami Y, Nishibuchi I	放射線治療科	Long-term results of definitive chemoradiotherapy for unresectable locally advanced esophageal squamous cell carcinoma	JOURNAL OF RADIATION RESEARCH.2021JAN;62(1):142-148-148	Article
289	Imano N, Nishibuchi I, Kawabata E	放射線治療科	Evaluating Individual Radiosensitivity for the Prediction of Acute Toxicities of Chemoradiotherapy in Esophageal Cancer Patients	RADIATION RESEARCH.2021MAR;195(3):244-252-252	Article
290	Miyamoto S, Soh Z, Okahara S	診療支援部	Neural network-based modeling of the number of microbubbles generated with four circulation factors in cardiopulmonary bypass	SCIENTIFIC REPORTS.2021JAN 12;11(1):	Article

計10件

291	Kuroki K, Oka S, Tanaka S	消化器・代謝内科	Preceding endoscopic submucosal dissection in submucosal invasive gastric cancer patients does not impact clinical outcomes	SCIENTIFIC REPORTS.2021JAN 13;11(1):--	Article
292	Kanai R, Nakashima A, Masaki T.	腎臓内科	Interferon-gamma enhances the therapeutic effect of mesenchymal stem cells on experimental renal fibrosis	SCIENTIFIC REPORTS.2021JAN 13;11(1):--	Article
293	Kudo Y, Koh I, Sugimoto J.	産科婦人科	Localization of Indoleamine 2,3-Dioxygenase-1 and Indoleamine 2,3-Dioxygenase-2 at the Human Maternal-Fetal Interface	INTERNATIONAL JOURNAL OF TRYPTOPHAN RESEARCH.2020DEC;130:--	Article
294	Shigeishi H, Su CY, Kaneyasu Y	口腔健康科	Association of oral HPV16 infection with periodontal inflammation and the oral microbiome in older women	EXPERIMENTAL AND THERAPEUTIC MEDICINE.2021FEB;21(2):--	Article
295	Fujii T, Kidoguchi Y, Takahashi N	輸血部	Budget impact analysis of Jivi (danoctocog alfa, pegol, Bay 94-9027) in severe hemophilia A in Japan	JOURNAL OF MEDICAL ECONOMICS.2021JAN 1; 24(1):218-225-225	Article
296	Takano M, Kinoshita Y, Yamasaki F.	脳神経外科	Detecting non-germinomatous germ cell tumor component by arterial spin labeling perfusion-weighted MR imaging in central nervous system germ cell tumor	EUROPEAN JOURNAL OF RADIOLOGY.2021MAR; 1360:--	Article
297	Kitagawa H, Nomura T, Nazmul T	感染症科	Effect of intermittent irradiation and fluence-response of 222 nm ultraviolet light on SARS-CoV-2 contamination	PHOTODIAGNOSIS AND PHOTODYNAMIC THERAPY.2021MAR;330:--	Article
298	Watanabe T, Miyoshi H, Noda Y	麻酔科	Effects of Remimazolam and Propofol on Ca2+ Regulation by Ryanodine Receptor 1 with Malignant Hyperthermia Mutation	BIOMED RESEARCH INTERNATIONAL.2021JAN 4; 20210:--	Article
299	Kawahara D, Tang X, Lee CK	放射線治療科	Predicting the Local Response of Metastatic Brain Tumor to Gamma Knife Radiosurgery by Radiomics With a Machine Learning Method	FRONTIERS IN ONCOLOGY.2021JAN 11; 100:--	Article
300	Okamura S, Onohara Y, Nakano Y,	循環器内科	Minor allele of GJA1 gene polymorphism is associated with higher heart rate during atrial fibrillation	SCIENTIFIC REPORTS.2021JAN 28;11(1):--	Article

計10件

301	Ohshima S, Wang CH, Couto TB	救急集中治療科	Pediatric timing of epinephrine doses: A systematic review	RESUSCITATION.2021MAR; 160(1):106-117-117	Review
302	Yamasaki F, Nishibuchi I, Karakawa S	脳神経外科	T2-FLAIR Mismatch Sign and Response to Radiotherapy in Diffuse Intrinsic Pontine Glioma	PEDIATRIC NEUROSURGERY.2021MAR; 56(1):1-9-9	Article
303	Yanagawa S, Tahara H, Tanaka Y	消化器外科	Analysis of Risk Factors Affecting Incidence of Osteoporosis and Fragility Fractures in Liver Transplant Recipients	ANNALS OF TRANSPLANTATION.2021FE B 5;260:—	Article
304	Yanagawa S, Tahara H, Shirouzu T	消化器外科	Development of a humanized mouse model to analyze antibodies specific for human leukocyte antigen (HLA)	PLOS ONE.2021FEB 5;16(2):—	Article
305	Yoshikawa Y, Imamura M, Chayama K.	消化器・代謝内科	A case of acute liver failure with echovirus infection diagnosed by a multi-virus real-time PCR system	IDCASES.2021;230:—	Article
306	Ishii Y, Serikawa M, Tsuboi T	消化器・代謝内科	Role of Endoscopic Ultrasonography and Endoscopic Retrograde Cholangiopancreatoigraphy in the Diagnosis of Pancreatic Cancer	DIAGNOSTICS.2021FEB; 11(2):—	Review
307	Kodama A, Sunagawa T, Shinomiya R	整形外科	Treatment of Intra-Articular Distal Phalanx Fractures in Baseball Players by Joint Distraction and Early Mobilization Using a New Dynamic External Finger Fixator	JOURNAL OF HAND SURGERY-ASIAN-PACIFIC VOLUME.2021MAR;26(01): 112-117-117	Article
308	Takasu M, Tanitame K, Baba Y	放射線診断科	Does chemical shift imaging offer a biomarker for the diagnosis and assessment of disease severity in multiple myeloma? A cross-sectional study	MEDICINE.2021FEB 12; 100(6):—	Article
309	Sekino Y, Han X, Kobayashi G	泌尿器科	BUB1B Overexpression Is an Independent Prognostic Marker and Associated with CD44, p53, and PD-L1 in Renal Cell Carcinoma	ONCOLOGY.2021MAR;99(4): 240-250-250	Article
310	Edahiro T, Kawase T, Ichinohe T,	血液内科	Allogeneic hematopoietic cell transplantation using fludarabine plus myeloablative busulfan and melphalan confers promising survival in high-risk hematopoietic neoplasms: a single-center retrospective analysis	HEMATOLOGY.2021JAN 1; 26(1):186-198-198	Article

311	Matsumoto Y, Horimasu Y, Yamaguchi K	呼吸器内科	D-dimer can be a diagnostic marker for cisplatin-related aortic thrombosis A case report	MEDICINE.2021FEB 19; 100(7):—	Article
312	Horimasu Y, Ohshima S, Yamaguchi K	呼吸器内科	A machine-learning based approach to quantify fine crackles in the diagnosis of interstitial pneumonia A proof-of-concept study	MEDICINE.2021FEB 19; 100(7):—	Article
313	Shoji T, Saka H, Inoue T	整形外科	Three-dimensional analysis of the cortical contact state of short and conventional stems in different stem positions in total hip arthroplasty	CLINICAL BIOMECHANICS.2021MAR; 830:—	Article
314	Sakuda T, Furuta T, Johan MP	整形外科	Extraskeletal Ewing sarcoma attached to the ulnar nerve: A case report	INTERNATIONAL JOURNAL OF SURGERY CASE REPORTS.2021;80():—	Article
315	Okamoto Y, Oka S, Tanaka S	消化器・代謝内科	Effect of educational lecture on the diagnostic accuracy of Japan NBI Expert Team classification for colorectal lesions	BMC GASTROENTEROLOGY.2021 MAR 5;21(1):—	Article
316	Inoue S, Miyoshi H, Hieda K	泌尿器科	Postoperative around-the-clock administration of intravenous acetaminophen for pain control following robot-assisted radical prostatectomy	SCIENTIFIC REPORTS.2021MAR 4;11(1):—	Article
317	Kitano H, Sanjoba C, Goto Y	泌尿器科	Complicated cutaneous leishmaniasis caused by an imported case of Leishmania tropica in Japan: a case report	TROPICAL MEDICINE AND HEALTH.2021MAR 6;49():—	Article
318	Akimoto S, Yokooji T, Ogino R	病院(医) 泌尿生:医・泌尿	Identification of allergens for food-dependent exercise-induced anaphylaxis to shrimp	SCIENTIFIC REPORTS.2021MAR 8;11(1):—	Article
319	Obayashi H, Ikuta Y, Fujishita H	診療支援部	The relevance of whole or segmental body bioelectrical impedance phase angle and physical performance in adolescent athletes	PHYSIOLOGICAL MEASUREMENT.2021MAR 1; 42(3):—	Article
320	Yoshida M, Hirashio S, Masaki T.	腎臓内科	Low-Vacuum Scanning Electron Microscopy to Assess Histopathological Resolution of Class V Lupus Nephritis: A Case Report	CASE REPORTS IN NEPHROLOGY AND DIALYSIS.2021;11(1):36-47-47	Article

計10件

321	Kagimoto A, Tsutani Y, Mimae T	呼吸器外科	Preoperative nivolumab to evaluate pathological response in patients with stage I non-small cell lung cancer: a study protocol of phase II trial (POTENTIAL)	BMJ OPEN.2021;11(3):--	Article
322	Kado I, Kunimatsu R, Yoshimi Y	原医研腫瘍外科	Surveillance of salivary properties of pre-orthodontic patients in relation to age and sex	SCIENTIFIC REPORTS.2021MAR 22;11(1):--	Article
323	Nagasaki K, Nakashima A, Masaki T.	腎臓内科	Mesenchymal stem cells cultured in serum-free medium ameliorate experimental peritoneal fibrosis	STEM CELL RESEARCH & THERAPY.2021MAR 23;12(1):--	Article
324	Neshige S, Narumi O, Aoki S	脳神経内科	Rapid ping-pong eye deviation following a recovery from carbon dioxide narcosis	BMJ CASE REPORTS.2021MAR;14(3):--	Article
325	Ito N, Masuda T, Nakashima T	呼吸器内科	Autoantibody Positivity Is a Risk Factor for Chemotherapy-induced Exacerbation of Interstitial Pneumonia in Lung Cancer	ANTICANCER RESEARCH.2021MAR;41(3):1497-1506	Article
326	Sanada Y, Tan SJO, Miyaki S.	未来医療センター	Pharmacological Targeting of Heme Oxygenase-1 in Osteoarthritis	ANTIOXIDANTS.2021MAR;10(3):--	Review
327	Kawahara D, Nagata Y.	放射線治療科	T1-weighted and T2-weighted MRI image synthesis with convolutional generative adversarial networks	REPORTS OF PRACTICAL ONCOLOGY AND RADIOTHERAPY.2021;26(1):35-42-42	Article
328	Takahagi S, Harada N, Kamegashira A	皮膚科	Randomized double-blind cross-over trial of bath additive containing tannic acid in patients with atopic dermatitis	JOURNAL OF CUTANEOUS IMMUNOLOGY AND ALLERGY.2020JUN;3(3):56-61-61	Article
329	Ojo A, Aikata H, Yamauchi M	消化器・代謝内科	Circulating cytokines and angiogenic factors based signature associated with the relative dose intensity during treatment in patients with advanced hepatocellular carcinoma receiving lenvatinib	THERAPEUTIC ADVANCES IN MEDICAL ONCOLOGY.2020MAY;12(0):--	Article
330	Yoshida S, Koshima I, Imai H	国際リンパ浮腫治療センター	Lymphovenous Anastomosis for Morbidly Obese Patients with Lymphedema	PLASTIC AND RECONSTRUCTIVE SURGERY-GLOBAL OPEN.2020MAY;8(5):--	Article

計10件

331	Doi K, Kobatake R, Makihara Y	咬合・義歯診療科	The development of novel bioactive porous titanium as a bone reconstruction material	RSC ADVANCES.2020JUN 14;10(38):22684-22690-22690	Article
332	Yamauchi M, Ono A, Ishikawa A	がん化学療法科	Tumor Fibroblast Growth Factor Receptor 4 Level Predicts the Efficacy of Lenvatinib in Patients With Advanced Hepatocellular Carcinoma	CLINICAL AND TRANSLATIONAL GASTROENTEROLOGY.2020 MAY;110:--	Article
333	Nagamatsu S, Sasaki A, Uchiki T	形成外科	A Simple, Versatile Device for Multiplanar Photography	PLASTIC AND RECONSTRUCTIVE SURGERY-GLOBAL OPEN.2020JUN;8(6):--	Article
334	Kitano H, Sentani K, Goto K	泌尿器科	Primary adenocarcinoma of the rete testis with elevated serum CA19-9 antigen levels	INTERNATIONAL CANCER CONFERENCE JOURNAL.2020OCT;9(4): 240-243-243	Article
335	Yoshino A, Okamoto Y, Yamawaki S	精神科	Neuroimaging studies about the relationship between negative emotions and pain	PAIN RESEARCH.2020;35(1): 17-23-23	Article
336	Saeki I, Kurihara S, Kojima M	周産母子センター	Paratesticular cholesterol granuloma	JOURNAL OF PEDIATRIC SURGERY CASE REPORTS.2020OCT;610:--	Article
337	Tachiyama K, Nakamori M, Hayashi Y	脳神経内科	Infant critical head injury could be a remote cause of middle-aged cerebral amyloid angiopathy	INTERDISCIPLINARY NEUROSURGERY-ADVANCED TECHNIQUES AND CASE MANAGEMENT.2020DBC; 220:--	Article
338	Yamada H, Nishikawa T, Yamasaki M	脳神経内科	Deep vein thrombosis in patients with neuromuscular disease who undergo tracheotomy with positive pressure ventilation	NEUROLOGY AND CLINICAL NEUROSCIENCE.2021JAN; 9(1):63-67-67	Article
339	Sasada S, Masumoto N, Song H	乳腺外科	Microwave Breast Imaging Using Rotational Bistatic Impulse Radar for the Detection of Breast Cancer: Protocol for a Prospective Diagnostic Study	JOURNAL OF MEDICAL INTERNET RESEARCH.2020OCT 19; 22(10):--	Article
340	Nishio F, Hirata I, Nakamae K	病院(医) 内分泌:医原外	Mucoadhesion of polyamphoteric hydrogels synthesized from acrylic acid and N,N-dimethylaminopropyl acrylamide	INTERNATIONAL JOURNAL OF ADHESION AND ADHESIVES.2021JAN;1040:--	Article

計10件

341	Shigeishi H, Murodumi H, Ohta K	口腔健康科	Detection of HPV16 E6 DNA in periodontal pockets of middle-aged and older people	ORAL SCIENCE INTERNATIONAL.2021JAN; 18(1):50-55-55	Article
342	Taguchi S, Saeki N, Morio A	麻酔科	Novel technique for identification of the pulmonary intersegmental plane using manual jet ventilation during pulmonary segmentectomy	VIDEOSURGERY AND OTHER MININVASIVE TECHNIQUES.2021;16(1): 169-174-174	Article
343	Yamazaki T, Koh I, Kudo Y	産科婦人科	Predictive Accuracy of Soluble FMS-Like Tyrosine Kinase-1/Placental Growth Factor Ratio for Preeclampsia in Japan: A Systematic Review	HYPERTENSION RESEARCH IN PREGNANCY.2021FEB; 9(1):1-7-7	Review

計3件
計343件

(注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。

2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)

3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet alとする。

4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。

5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名・出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 卷数: 該当ページ」の形式で記載すること
(出版がオンラインのみの場合は雑誌名・出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。

記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)

6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における 所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1					Original Article
2					Case report
3					
～					計 件

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	○有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	○有・無
<ul style="list-style-type: none"> 手順書の主な内容 委員会の設置、委員会の業務、委員の責務、審査、判定の区分、手数料等 	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年12回

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。

2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	○有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	○有・無
<ul style="list-style-type: none"> 規定の主な内容 本学の教職員等が臨床研究に係る産学連携活動等を行う場合における利益相反を適正に管理するために必要な事項を定めている。具体的には、ポリシー及び臨床研究利益相反管理委員会の設置、アドバイザーの設置、臨床研究を実施しようとする職員等による自己申告、同委員会の調査、審査及びその他必要な手続きなどを定めている。 	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年23回

(注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年11回
<ul style="list-style-type: none"> 研修の主な内容 「臨床研究法」、「倫理指針とヘルシンキ宣言」、「臨床研究実施における注意点」、「人を対象とする医学系研究に関する教育・研修セミナー」等 	

(注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

広島大学病院を基幹施設として、広島県全体の医療圏・近隣医療圏にある連携施設とで専門研修を行います。これにより広島県及び近隣の医療圏の医療事情を理解し、地域の実情に合わせた実践的な医療も行えるように訓練され、専門医としての基本的臨床能力の獲得、さらに高度なSubspecialty専門医取得に向け、各領域別に研修を行って専門医の育成を行います。

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	136.35人
-------------	---------

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
伊藤 公訓	総合内科・総合診療科	教授	33年	内科
服部 登	呼吸器内科	教授	34年	アレルギー疾患内科 またはアレルギー科
相方 浩	消化器・代謝内科	准教授	29年	消化器内科 代謝内科
中野 由紀子	循環器内科	教授	30年	
正木 崇生	腎臓内科	教授	29年	
丸山 博文	脳神経内科	教授	31年	神経内科
一戸 辰夫	血液内科	教授	32年	
米田 真康	内分泌・糖尿病内科	寄附講座教授	22年	内分泌内科
大毛 宏喜	感染症内科	教授	30年	
平田 信太郎	リウマチ科	准教授	23年	
杉山 一彦	腫瘍内科	教授	37年	
岡田 守人	呼吸器外科	教授	33年	
大段 秀樹	消化器外科・移植外科	教授	33年	
岡田 守人	乳腺外科	教授	33年	内分泌外科
高橋 信也	心臓血管外科	教授	23年	
檜山 英三	小児外科	教授	39年	
岡本 泰昌	精神科	教授	32年	
岡田 賢	小児科	教授	22年	
安達 伸生	整形外科	教授	33年	
飯田 幸治	脳神経外科	准教授	31年	
田中 晓生	皮膚科	准教授	21年	
亭島 淳	泌尿器科	准教授	27年	
工藤 美樹	産婦人科	教授	37年	
木内 良明	眼科	教授	38年	
竹野 幸夫	耳鼻咽喉科	教授	34年	
衆井 和夫	放射線診断科	教授	35年	
永田 靖	放射線治療科	教授	39年	
堤 保夫	麻酔科	教授	24年	

志馬 伸朗	救急科	教授	33年	
有廣 光司	病理診断科	教授	34年	
光嶋 勲	形成外科	寄附講座教授	36年	
木村 浩彰	リハビリテーション科	教授	33年	
光畠 智恵子	小児歯科	准教授	26年	
谷本 幸太郎	矯正歯科	教授	32年	
虎谷 茂昭	顎・口腔外科	准教授	32年	口腔外科
武知 正晃	口腔顎顔面再建外科	准教授	32年	口腔外科
太田 耕司	口腔健康科	教授	26年	歯科
柴 秀樹	歯科保存診療科	教授	32年	歯科
水野 智仁	歯周診療科	教授	25年	歯科
津賀 一弘	口腔インプラント診療科 咬合・義歯診療科	教授	36年	歯科
柿本 直也	歯科放射線科	教授	25年	歯科
入船 正浩	歯科麻酔科	教授	36年	歯科
岡田 芳幸	障害者歯科	教授	22年	歯科
河口 浩之	口腔総合診療科	教授	35年	歯科

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画 ②. 現状
管理責任者氏名	病院長 木内 良明
管理担当者氏名	病院総務グループリーダー 小左古 学 病院医事グループリーダー 中井 智雄

診療に関する諸記録	規則第十二条の三第二項に規定する事項	保管場所	管理方法
	病院日誌	総務グループ	カルテは電子カルテで、広島大学病院情報システム運用内規の定めるところにより管理運用している。
	各科診療日誌	病歴管理センター	
	処方せん		
	手術記録		
	看護記録		
	検査所見記録		
	エックス線写真		
	紹介状		
	退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第十二条の三第三項に規定する事項	保管場所	管理方法
	従業者数を明らかにする帳簿	総務グループ	
	高度の医療の提供の実績	医事グループ	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	医事グループ	
	高度の医療の研修の実績	総務グループ	
	閲覧実績	総務グループ	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事グループ	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事グループ、薬剤部	
規則第一条の十一第一項に規定する事項	規則第一項に規定する事項	保管場所	管理方法
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	各診療科	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理部	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善の方策の状況	医療安全管理部	

病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	保管場所 感染制御部	管 理 方 法
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染制御部	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御部	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善の方策の実施状況	感染制御部	
		医薬品安全管理責任者の配置状況	総務グループ	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のために必要な未承認等の医薬品の使用情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	薬剤部	
		医療機器安全管理責任者の配置状況	総務グループ	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	ME機器管理室	
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	ME機器管理室	
		医療機器の安全使用のために必要な情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	ME機器管理室	

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録 規則第九条の二十一の二第一項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	総務グループ	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	総務グループ	
	医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部	
	医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	総務グループ	
	診療録等の管理に関する責任者の選任状況	総務グループ	
	医療安全管理部門の設置状況	総務グループ	
	高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	高難度新規医療技術審査部	
	未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	未承認新規医薬品等審査部	
	監査委員会の設置状況	総務グループ	
	入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療安全管理部	
	他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医療安全管理部	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	患者支援センター	
	医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	財務・総務室総務グループ	
	職員研修の実施状況	医療安全管理部	
	管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	総務グループ	
	管理者が有する権限に関する状況	総務グループ	
	管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	総務グループ	
	開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	財務・総務室総務グループ	

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	②. 現状	
閲 覧 責 任 者 氏 名	病院運営支援部長	新本 陽一郎	
閲 覧 担 当 者 氏 名	病院総務グループリーダー	小左古 学	
閲 覧 の 求 め に 応 じ る 場 所	総務グループ事務室		
閲覧の手続の概要			
閲覧希望者の求めに応じて、総務グループ室内で行っている。			

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前 年 度 の 総 閲 覧 件 数	延	0 件
閲 覧 者 別	医 師	延 0 件
	歯 科 医 師	延 0 件
	国	延 0 件
	地 方 公 共 団 体	延 0 件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<ul style="list-style-type: none">・ 指針の主な内容： 【医療安全管理のための指針】<ol style="list-style-type: none">1. 医療安全管理に関する基本的な考え方2. 用語の説明<ol style="list-style-type: none">1) インシデント2) 医療事故3) 医療過誤4) ヒヤリ・ハット（ゼロレベルインシデント）5) 合併症3. 医療安全管理に関する推進方法<ol style="list-style-type: none">1) 医療安全管理体制の構築2) 医療事故・インシデントなどの報告制度の確立3) 職員に対する医療安全教育・研修の実施4) 事故発生時の対応方法の確立5) 医療事故の公表と報告4. 医療安全管理に関する指針の閲覧について5. 患者相談窓口について6. その他医療安全の推進のために必要な基本方針	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<ul style="list-style-type: none">・ 設置の有無（有・無）・ 開催状況：年 73 回・ 活動の主な内容： 【医科・歯科共通】<ol style="list-style-type: none">1) 「医療安全管理委員会」は、月1回開催し、本院の医療安全管理の統括的な事項について審議する委員会で、「患者影響レベル判定小委員会（医科領域）」及び「医療事故防止等対策小委員会（歯科領域）」を統括し、医療の安全管理、医療事故の防止、医療訴訟に関する事項を審議する。 また、「医療安全管理委員会」は、「患者影響レベル判定小委員会（医科領域）」、「医療事故防止等対策小委員会（歯科領域）」及び「医療安全管理部会議」から改善策等の審議内容の報告を受けて審議決定し改善策やマニュアルについて医療安全管理部に周知徹底するようフィードバックする。 (年12回)2) 「医療安全管理部会議」は、隔週で開催し、医療事故防止及び安全性の確保に必要な企画・立案及び評価を行うとともに、医療現場において機能的に対処・指導を行い、病院内の医療安全に関する対策と意識向上を図る。（年26回）	
【医科領域】 <ol style="list-style-type: none">1) 「患者影響レベル判定小委員会（医科領域）」は、インシデントレポートの患者影響レベルの判定と医療事故の定義に照らして、患者影響レ	

ペル3 a 以上の過誤が疑われる、又は、患者影響レベル3 b 以上の事象について、患者影響度・原因・医療過誤の有無を判定し、病院長に報告する。（年23回）

【歯科領域】

1) 「医療事故防止等対策小委員会（歯科領域）」は、月1回開催し、歯科領域のインシデントレポートに基づき、患者影響レベルの判定及び医療事故の防止策等を審議する。医療過誤がある事例については病院長へ報告する。（年12回）

③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 5 回
--------------------------	-------

- ・ 研修の内容（すべて）・別紙①のとおり

④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善の方策の実施状況

- ・ 医療機関内における事故報告等の整備（有・無）
- ・ その他の改善の方策の主な内容：

【医科・歯科共通】

- 1) インシデント報告制度の目的や趣旨が十分に伝わるように研修会やリスクマネジャー会議を通じて伝達している。
- 2) 病院全体に係る重要事象の分析・改善策は医療安全管理部で検討し、医療安全管理委員会で審議のうえ、病院運営会議で報告し、改善策の周知徹底を図る。
- 3) 院内安全巡視等を行うことで、改善状況を評価する。
- 4) 発生した重大なインシデントについては、現場のリスクマネジャーを中心にチームで分析・改善策を検討し、医療安全管理部に報告する。医療安全管理部は、必要に応じて事実確認及び詳細な情報収集を行い、要因を特定し、対策を立案し、医療安全管理委員会へ報告するとともに、リスクマネジャー会議へフィードバックする。
- 5) 月々のインシデントレポートのマクロ的な集計結果及び重要事象の分析結果をリスクマネジャー会議で報告し、情報の共有化を図る。

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容 : <ol style="list-style-type: none"> 1. 院内感染対策に関する基本的な考え方 2. 院内感染対策のための委員会等の組織に関する基本的事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 感染症対策委員会 (2) 感染制御チーム（ICT）、感染対策リンクナース及び感染対策実践者 3. 院内感染対策のための従業員に対する研修に関する基本方針 4. 感染症発生状況の報告に関する基本方針 5. 院内感染発生時の対応に関する基本方針 <ol style="list-style-type: none"> (1) 通常時の対応 (2) 緊急時（重大な院内感染等の発生）の対応 6. 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針 7. 病院における院内感染対策の推進のために必要な基本方針 	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 49 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の主な内容 : <p>【医科・歯科共通】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 「感染症対策委員会」は、月1回開催し、院内の感染防止のための調査、研究、対策に関する事項の統括審議を行い、また、小委員会の審議結果の調整及びその他感染症に関する事項の審議を行う。（年12回） 2) 「感染制御チーム会議」は月1回開催し、院内感染情報等の収集、調査、分析を行い、院内感染防止のための対策及び啓発の企画・立案並びに情報提供に関する審議を行う。 (年12回) (臨時1回) <p>【医科領域】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 「感染症対策小委員会（医科領域）」は、月1回開催し、医科領域に関し、院内の感染防止のための対策、感染情報レポートの分析・活用及び針刺し（穿刺）感染に関する事項の審議を行う。また、感染防止に係る教育・研修及び院内感染防止に係るマニュアルの策定・改訂に関する事項を審議し、周知徹底するようフィードバックする。（年12回） <p>【歯科領域】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 「感染症対策小委員会（歯科領域）」は、月1回開催し、歯科領域に関し、院内の感染防止のための対策、感染情報レポートの分析・活用及び針刺し（穿刺）感染に関する事項の審議を行う。また、感染防止に係る教育・研修及び院内感染防止に係るマニュアルの策定・改訂に関する事項を審議し、周知徹底するようフィードバックする。（年12回） 	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 4 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の内容（すべて）：別紙②のとおり 	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善の方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院における発生状況の報告等の整備 <input checked="" type="checkbox"/> (<input checked="" type="checkbox"/> 有・無) ・ その他の改善の方策の主な内容 : <p>感染対策の実務を行うICT活動を実施し、情報の収集と対策について、現場へフィードバックをする。</p> 	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る
措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 9 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容 : ・ 「安全なミキシングについて」 全職員対象に、薬剤部の製剤室にて見学実習・研修会 ・ 「医薬品の医療安全（薬剤の基礎知識）」 研修医オリエンテーション ・ 「医薬品の医療安全（薬剤の基礎知識）」 新規（新人・中途）採用看護師 ・ 麻薬の取り扱いに関する研修会 全職員対象 	
<p>③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 手順書の作成 (有・無) ・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容 : <p>隨時、必要時に、各業務の部門責任者及び業務担当責任者が手順書の業務内容に該当する項目が守られているか確認して見直しを図っている。また、薬品管理に関しては、担当者が看護師と協力してマニュアルに基づいて管理を行うとともに、医薬品安全管理責任者（必要に応じて担当者）が必要時実施状況の確認が必要と思われる部門に出向いて確認を行っている。</p> <p>また、業務の実施状況の確認については、医療安全管理部と連携して院内ラウンドを実施している。</p> 	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無) ・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例（あれば） : <p>未承認：同種造血幹細胞移植後のアデノウイルス感染症に対するシドフォビル療法 適応外：胸腺腫に対するCAMP療法 (シスプラチンドキソルビシン+メチルプレドニゾロン)</p> ・ その他の改善の方策の主な内容 : <p>①未承認新規医薬品等審査部の組織図や内規などを院内webに掲載し、未承認や適応外使用の申請の必要性や理解の定着を図っている。</p> <p>②各診療科へそれぞれ年1回、使用調査および使用報告依頼を実施している。これにより、当該年度の新規未承認および適応外の使用薬の把握が可能となり、昨年度の使用件数、有効性および安全性の把握に努めている。</p> <p>③薬剤師向けに未承認新規医薬品等審査部の業務について広報を実施。普段の業務中に未承認等に該当する医薬品を発見した場合は、医師への疑義照会に加え、エクセルシートに疾患名や薬品名をリストアップしている。これにより、医師が申請していない場合でも、審査部が把握することができている。</p> 	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 55 回
<ul style="list-style-type: none"> 研修の主な内容 : <p>以下の、機器（特定機器5種を含む）について年度を通して勉強会ならびに研修会を行った。</p> <ol style="list-style-type: none"> 人工呼吸器の概要および安全使用について 血液浄化装置の概要および安全使用について 補助循環装置の概要および安全使用について 除細動器の概要および安全使用について 閉鎖式保育器の概要および安全使用について RFA装置の概要および取り扱いについて 加温加湿器の取り扱いについて 	
<p>③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療機器に係る計画の策定 (有・無) 機器ごとの保守点検の主な内容 : <p>機器管理システム使用して、各機器の取り扱い説明書に準じた期間を設定し点検期限が超過しないように管理している。年1回のメーカーによる定期点検は、時期を決めて集中的に点検を実施している。</p> <p>＜特定管理機器5種およびME室管理機器 点検計画実施について＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 年に1回メーカーによる定期点検：人工心肺及び補助循環装置、人工呼吸器 年に1回または、2年に1回メーカーによる定期点検：血液浄化装置 年に3回は部内で定期点検、年に1回はメーカーによる定期点検実施：閉鎖式保育器 半年に1回部内で定期点検：輸液ポンプ・シリンジポンプ 年に1回部内で定期点検：除細動器、持続吸引機、ネブライザー、心電計 	
<p>④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集 その他の医療機器の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無) 未承認等の医療機器の具体的な使用事例（あれば）：無し 他の改善の方策の主な内容 : <ul style="list-style-type: none"> 未承認新規医薬品等審査部を通じて各部署に申請対象機器に係る案内文書を作成し、広報予定。 新規および軽微な変更等あれば、研修を実施し、研修会記録を保管している。 	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号の二に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	有・無
<ul style="list-style-type: none">・責任者の資格（医師・歯科医師）・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況 <p>医療安全管理担当の副病院長を医療安全管理責任者として配置し、統括している。</p>	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有（2名）・無
③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況	
<ul style="list-style-type: none">・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況<ul style="list-style-type: none">・採用医薬品について、添付文書、インタビューフォーム、使用上の注意の解説、製品情報概要等を入手し、紙面は専用キャビネット及び本棚で、電子ファイルは薬剤部サーバで保管している。・添付文書の改訂情報を把握し、改訂時には新添付文書及び改訂内容を解説した使用上の注意の改訂のお知らせを当該医薬品の製造・販売企業より入手する。・緊急安全性情報・安全性速報の発出時、およびこれらに準じる緊急性の高い情報を取得した際には、医薬品安全管理責任者へ報告し、関係者と緊急度および重要度に応じて対応を協議している。・使用患者を特定して対応する必要のある場合には、診療 DWH を使用して情報収集を行い、関係部署へ直接連絡を行って、対応を協議する。必要に応じて診療 DWH から抽出した情報に基づいて、当該患者の担当診療科・担当医師に対して患者一覧を添えた通知や、個別の患者への通知を行う。・効能効果・用法用量の追加・変更情報、処方日数制限の変更、採用医薬品の取り扱いの変更や供給に関する情報などについて、内容に応じ適宜書面、院内情報ウェブ掲示板を用いて通知を行う。・その他、添付文書情報の改訂、各機関から発出された安全性情報などは原則月1回、まとめて各部科長、病棟看護師長、薬剤部各部署に通知し、病院情報システムグループを通じて院内掲示板にも掲示する。・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況<ul style="list-style-type: none"><未承認薬について> 当院は、オーダリングシステムによってオーダ入力された処方について調剤を行っている。未承認薬は、オーダリングシステムに登録されていないことから誤って調剤することはない。<適応外使用および禁忌に該当する医薬品の使用について><ul style="list-style-type: none">・入院患者については、全病棟に薬剤師を配置しており、病棟担当薬剤師が全患者の処方についてチェックを行い、医師へ情報提供や処方変更の提案・相談などを行っている。その結果は、病棟薬剤業務・薬剤管理指導記録へ記録しており、その記録は電子カルテに保管され、医師や看護師を始めとして全職種が確認可能となっている。該当する医薬品の使用を認めた場合は、薬剤部へ報告する。・外来患者については、隨時医師の相談に応じて対応している。・処方オーダ時に、併用禁忌に関してはアラートが出るシステムとなっている。・薬剤師からの情報提供や医師や看護師からの質問や相談、処方変更などの内容は、院内インシデントシステムにてプレアボイド報告として記録されている。これらの情報は、毎月全職種が	

出席するリスクマネージャー会議にて報告され、院内全体に情報共有され、注意喚起が行われている。

*なお、2017年4月、未承認新規医薬品等審査部および未承認新規医薬品等評価委員会を設置した。具体的な活動内容については、「⑧未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況」を参照。

- ・担当者の指名の有無（有・無）※業務によって任命することがある

- ・担当者の所属・職種：

（所属：薬剤部、職種：薬剤師）（所属：、職種：）

④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
-----------------------------	---

- ・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無（有・無）

- ・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容：

病歴管理センター長（病院長補佐）を医療提供説明責任者に定め、医療安全管理部が定めたインフォームド・コンセントマニュアルの遵守状況の定期的な確認を行っている。適切でない事例が認められた場合には、必要な指導を行うとともに該当事例を病院各部署に通知又は研修で取り上げる等適切に説明が行われるよう啓発している。また、説明内容の記載を標準化するため「ICテンプレート」を作成し活用している。

⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
-----------------------	---

- ・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容：

責任者として病院長補佐（医科診療・研修担当）を病歴管理センター長に定め、診療録が適切に運用されているか監査するため量的監査（毎月）を病歴管理センターの診療情報管理士等が、質的監査（年に数回）を医師・歯科医師のみならず多職種で行っている。病歴管理センターでは、監査項目及び具体的な監査方法の決定や監査結果を診療記録管理委員会へ報告するとともに院長、診療科等へ報告している。また、監査の質向上に向けた取り組みとして、「診療録等について」「質的監査について」等の動画作成を準備中で、来年度は院内に周知するとともに、病院新規採用者研修や他部署の新規採用者研修等でも活用していく予定です。

⑥ 医療安全管理部門の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
-----------------	---

- ・所属職員：専従（4）名、専任（2）名、兼任（）名

うち医師：専従（1）名、専任（2）名、兼任（）名

うち薬剤師：専従（1）名、専任（）名、兼任（）名

うち看護師：専従（2）名、専任（）名、兼任（）名

（注）報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること

- ・活動の主な内容：

- 1) 委員会の運営及び決定事項の周知徹底並びに委員会その他関係部署との連絡調整
- 2) 医療安全対策の推進
- 3) 医療安全の確保に資する診療状況の把握及び職員の意識向上
- 4) 医療安全に係る教育・研修の企画立案
- 5) 医療安全に係る各種マニュアルの管理
- 6) 医療事故等に関連する情報の収集、調査及び分析
- 7) 入院患者の死亡及び医療上の重大事象に係る職員からの報告に関すること
- 8) 医療事故等に関する診療録等の記載内容が正確であるかの点検及び指導
- 9) 患者及び家族への説明等、医療事故発生時における対応状況の確認及び指導
- 10) 医療事故等の原因究明の実施・確認及び指導
- 11) 定期的な院内の巡視

※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。

※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

- ・前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（4件）、及び許可件数（4件）
- ・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（・無）
- ・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（・無）
- ・活動の主な内容：
審査部では、各診療科等から提出される申請書を確認の上、審査部内に設置された高難度新規医療技術評価委員会からの意見を踏まえ、提供にあたっての条件などを含め、医療提供の適否について決定します。また、提供を認めた症例について、適正な手続きに基づいて提供されていたかどうか、確認を行います。
- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（・無）
- ・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（・無）

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用的適否等を決定する部門の状況

- ・前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（37件）、及び許可件数（37件）
- ・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用的適否等を決定する部門の設置の有無（・無）
- ・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用的適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（・無）
- ・活動の主な内容：
審査部では、各診療科等から提出される申請書を確認の上、審査部内に設置された未承認新規医薬品等評価委員会からの意見を踏まえ、使用にあたっての条件などを含め、使用の適否について決定します。また、使用を認めた症例について、適正な手続きに基づいて提供されていたかどうか、確認を行います。
- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（・無）
- ・未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無（・無）

⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

- ・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年333件
- ・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年48件
- ・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容
専任リスクマネジャーは、医事グループ及び病歴管理センターから提出された、退院サマリ一、死亡診断書の内容、死亡退院時スクリーニングシート及び電子カルテ内容を確認し、死亡退院までの経緯を把握する。このことは、医療事故調査制度にも関連することから、毎月1回医療

安全管理委員会にて死亡事例調査報告書をあげ、入院患者の死亡事例について審議を行っている。緊急かつ重大な事象が発生した場合は、医療安全管理マニュアルにその一般的な対応方法を定めているが、当該事象に対する具体的な対応を審議するための危機管理室、病院長が関係者からの事情聴取による事実確認を行い、その結果、医療法に定める医療事故の発生その他必要な事項を判断する症例検討委員会、医療の安全確保に関し、医療事故に係る原因の調査究明及び再発防止を行う医療事故調査委員会が、それぞれの任務にあたっている。

また、緊急かつ重大な事象以外のインシデントが発生した場合、当事者又は発見者は、発生後速やかに、インシデントレポートにより報告することを医療安全管理マニュアルに定めている。その流れ・患者影響レベルの選別において、専任リスクマネジャーによるレベル選別会議及び医療安全管理部会議においてレベル3a以上の事象を選定後、患者影響レベル判定小委員会（医科領域）及び医療事故防止等対策小委員会（歯科領域）の審議を経て、必要に応じて医療安全管理委員会で「事例報告書及び改善策検討報告書」の審議や当該改善策の実行を指示している。また、リスクマネジャー会議を通じて、各リスクマネジャーに当該事案の周知や実践を図っている。

⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

・他の特定機能病院等への立入り（有（病院名：山口大学医学部附属病院）・無）

・他の特定機能病院等からの立入り受入れ（有（病院名：九州大学病院）・無）

※特定機能病院等への立ち入り、立ち入り受入については、新型コロナウイルス感染症の影響で、訪問調査は行われず書面調査にて実施した。

・技術的助言の実施状況

書面調査において、特段の技術的助言はなされなかった。

⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

・体制の確保状況

患者・家族等からの相談等に応じられる体制を確保するための患者相談窓口として、患者支援センター医療相談室を設置しており、当該相談等で医療安全に関わるものについては、医療安全管理部と連携して対応し、安全対策の見直し等に活用している。

⑫ 職員研修の実施状況

・研修の実施状況

別紙①のとおり

※高難度・未承認の研修について、医療安全管理職員研修会(e-learning(7/13~)『当院の医療安全管理体制』)の中で併せて実施している。

(注) 前年度の実績を記載すること (⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・研修の実施状況

・管理者（病院長） 木内 良明

特定機能病院管理者研修 平成30年度[第1回(9/17~18)]、令和2年度[第8回オンライン(2/14)]を受講

・医療安全管理責任者（副病院長） 志馬 伸朗

特定機能病院管理者研修 令和2年度[第1回オンライン(11/2)]を受講

・医療機器安全管理責任者（副病院長） 大毛 宏喜

特定機能病院管理者研修 令和元年度[第2回(12/17~18)]を受講

- ・医薬品安全管理責任者（薬剤部長） 松尾 裕彰
特定機能病院管理者研修 平成 29 年度 [第 5 回 (3/13~14)]、平成 30 年度 [第 4 回 (2/6)]、
令和 2 年度 [第 6 回オンライン (1/20)] を受講

(注) 前年度の実績を記載すること

⑯医療機関内における事故の発生の防止に係る第三者による評価の受審状況、当該評価に基づき改善のために講すべき措置の内容の公表状況、当該評価を踏まえ講じた措置の状況

・第三者による評価の受審状況

公益財団法人日本医療機能評価機構が実施する病院機能評価を受審し、2021 年 3 月 5 日に一般病院 3 の認定を取得した。（認定期間は 2020 年 1 月 24 日から 2025 年 1 月 23 日まで）

・評価に基づき改善のために講すべき措置の内容の公表状況

現在は公表していないが、事務室に冊子を備えておくことによる公表を検討している。

・評価を踏まえ講じた措置

- 1) クリニカルパスのアウトカム評価の実施に関して、2019 年に使用されたパスのバリアンス分析を開始し、新規パスの作成や見直しを行った。また、これと並行して、すべてのパスの監査と使用状況を調査し、新規作成、修正、監査を実施した。
- 2) 臨床指標 (QI) について、各種委員会で報告されているデータを病院として抽出し、ISO9001 の目標管理シートに基づいて、病院の機能や医療安全活動に応じた QI を定め、前年度データから目標の達成度を評価し、次年度の計画を立てる体制を構築した。
- 3) 医療機器の管理について、点検漏れ対策を実施し、一部医療機器では保守管理担当者を選任し、全てについて定期メンテナンス及び修理申請窓口を一元化し、フローチャートを作成して管理する体制を確立し、点検、修理、管理状況は全て記録、保存している。
- 4) 職員の健康診断について、健康診断未受診者へ診療を制限する旨を含めた受診を促す文書の送付に加え、各部署の長にも部署内の未受診者を通知した。併せて、非常勤医師に対して採用時の提出書類に健康診断書を追加するように内規を改正した。
- 5) 抗がん剤の投与時や運搬などの取り扱い時における個人防護具 (PPE) 使用について、「医薬品の安全使用のための巡視」にて全部署の評価を行い、指導を行った。

(注) 記載時点の状況を記載すること

2020年度 医療安全管理職員研修会

No.	テーマ	講師	対象	日時・場所	参加者数合計
1	医療安全管理について ～医療情報関連～	医療安全管理部 宮本 真太郎 副部長	研修医	4月2日（月）11:00～12:00 情報端末教育室	34
2	医療安全管理について ～インシデントレポートの書き方～	医療安全管理部 新谷 公伸 GRM	看護師	4月8日（月）10:30～12:00他 臨床管理棟 3F大会議室他	89
3	リスクマネジャーの役割	医療安全管理部 伊藤 英樹 部長	リスクマネジャー	5月12日（火）16:00～16:20 臨床管理棟3階 大会議室 5月14日（木）16:00～16:20 臨床管理棟2階 2F1会議室	19
4	【必修1】当院の医療安全管理体制について 診療ルール、インシデント報告のルール、 昨年度の警鐘事例、職員研修受講の必要性、 重大事象発生時の対応	医療安全管理責任者 志馬 伸朗 副病院長（医療 安全管理・災害担当）	全職員	eラーニング 7月13日（月）～	3120
5	【必修2】S p e a k u p !	医療安全管理部 伊藤 英樹 部長	全職員	eラーニング 7月13日（月）～	3116

別紙②

2020年度 院内感染防止対策研修会

No.	テーマ	講師	対象	日時・場所	参加者数合計
1	新型コロナウイルス感染症 分かってきた事、現在の検査体制	感染症科・感染制御部 大森 慶太郎 診療講師	全職員	eラーニング 7月13日（月）～	3107
2	手指衛生いつしていますか？	感染症科・感染制御部 北川 浩樹 診療講師	全職員	eラーニング 7月13日（月）～	3105
3	【抗微生物薬適正使用研修会1】 感染症診療におけるピットフォール	感染症科・感染制御部 大森 慶太郎 診療講師	抗微生物薬に従事する業務に従事する職員	eラーニング 1月7日（木）～	887
4	【抗微生物薬適正使用研修会2】 適切な微生物検査について	感染症科・感染制御部 北川 浩樹 診療講師	抗微生物薬に従事する業務に従事する職員	eラーニング 1月21日（木）～	710

規則第7条の2の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

管理者に必要な資質及び能力に関する基準

- ・ 基準の主な内容
 1. 医師法に定める医師免許証を有すること。
 2. 医療安全確保のために必要な資質及び能力を有すること。
 3. 病院の管理運営に必要な資質及び能力を有すること。
 4. 教育・研究・診療に必要な資質・能力を有すること。
 5. 広島大学病院の理念・基本方針を理解し、その実現に向けた強い意思とリーダーシップを有すること。
- ・ 基準に係る内部規程の公表の有無（・無）
- ・ 公表の方法
病院ホームページへの掲載

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無

有・

- ・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無（有・無）
- ・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無（有・無）
- ・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無（有・無）
- ・ 公表の方法

管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の関 係
				有・無
				有・無

規則第9条の23第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の設置及び運営状況

合議体の設置の有無	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
<p>・合議体の主要な審議内容</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 病院情報(診療情報及び運営情報等)の収集・分析に関する事項 (2) 医療提供体制の基本戦略の立案と評価に関する事項 (3) 予算、人員、設備等の資源配分の立案と実施に関する事項 (4) 病床、手術室等の適切な使用割り当ての方針に関する事項 (5) 医療機器、医薬品、医療材料等の戦略的調達の企画立案に関する事項 (6) 病院の運営戦略の企画立案に関する事項 (7) 病院における実習、研修、研究の在り方に関する事項 (8) 病院の諸活動の自己点検・評価に関する事項 (9) その他必要な事項の企画・立案に関する事項 	
<p>・審議の概要の従業者への周知状況</p> <p>会議終了後、資料及び議事録を学内ポータルへ掲載</p>	
<p>・合議体に係る内部規程の公表の有無（有・<input checked="" type="checkbox"/>）</p> <p>・公表の方法</p> <p>・外部有識者からの意見聴取の有無（有・<input checked="" type="checkbox"/>）</p>	

合議体の委員名簿

氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
木内 良明	○	医師	病院長
柴 秀樹		歯科医師	主席副病院長
工藤 美樹		医師	副病院長（診療担当）
河口 浩之		歯科医師	〃（歯科教育・研修担当）
志馬 伸朗		医師	〃（医療安全管理・災害担当）
大毛 宏喜		医師	〃（経費改善担当）
田中 信治		医師	〃（医科教育・教員人事担当）
岡田 守人		医師	〃（研究・基金担当）
佐藤 陽子		看護師	〃（看護担当）
新本 陽一郎		事務	〃（管理運営担当）

中野 由紀子		医師	病院長補佐（国際担当）
伊藤 公訓		医師	" (医科診療・研修担当)
岡田 芳幸		歯科医師	" (歯科診療担当)
木村 浩彰		医師	" (地域連携・勤務環境改善担当)
太田 耕司		歯科医師	" (歯科安全・感染担当)
松尾 裕彰		薬剤師	薬剤部長
伊藤 義広		理学療法士	診療支援部長
田中 純子		教員	理事・副学長（霞地区・教員人事・広報担当）
津賀 一弘		歯科医師	副学長（医系科学研究担当）
大段 秀樹		医師	副学長（研究開発担当）
三原 直樹		医師	医療情報部長

規則第15条の4第1項第1号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（・無）
- ・ 公表の方法
大学ホームページに掲載
- ・ 規程の主な内容
 - ・ 病院長が病院の業務を掌理
 - ・ 副病院長等の選考方法
 - ・ 副病院長等の担当
- ・ 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割
 - ・ 副病院長：病院長の業務の一部を分担し、病院長を補佐、以下の担当9名を配置
(主席副病院長／診療担当／歯科教育・研修担当／医療安全管理・災害担当／経費改善担当／医科教育・教員人事担当／研究・基金担当／看護担当／管理運営担当)
 - ・ 病院長補佐：病院長の管理運営等に関して病院長を補佐、以下の担当5名を配置
(国際担当／医科診療・研修担当／歯科診療担当／地域連携・勤務環境改善担当／歯科安全・感染担当)
- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況
厚生労働省が公益財団法人日本医療機能評価機構に委託し実施している「特定機能病院管理者研修」の受講

規則第15条の4第1項第2号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する
状況

監査委員会の設置状況		<input checked="" type="checkbox"/> ・無			
・監査委員会の開催状況：年2回（令和2年12月17日、令和3年3月4日実施）					
・活動の主な内容： 医療に係る安全管理体制について					
・監査委員会の業務実施結果の公表の有無（ <input checked="" type="checkbox"/> ・無）					
・委員名簿の公表の有無（ <input checked="" type="checkbox"/> ・無）					
・委員の選定理由の公表の有無（ <input checked="" type="checkbox"/> ・無）					
・監査委員会に係る内部規程の公表の有無（ <input checked="" type="checkbox"/> ・無）					
・公表の方法： 病院ホームページへの掲載					
監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）					
氏名	所属	委員長 (○を 付す)	選定理由	利害関係	委員の要 件 該当状況
山田 謙慈	広島県医師会・常任理事	○	医療に係る安全管理に 関する識見を有する者	無	1
福永 宏	福永宏・福永孝法律事務 所・弁護士		法律に関する識見を有 する者	無	1
中川 圭	認定NPO法人乳がん患者 友の会きらら・理事長		医療を受ける者	無	2

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

規則第15条の4第1項第3号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを
確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

・体制の整備状況及び活動内容

広島大学内部統制規則に基づく

- ・専門部署の設置の有無（有・無）

- ・内部規程の整備の有無（有・無）

- ・内部規程の公表の有無（有・無）

- ・公表の方法

大学ホームページに掲載

規則第15条の4第1項第3号口に掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に
係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況

- ・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況
 - ・ 役員会：大学の重要事項を審議、メンバーは学長及び理事
原則として毎月1回開催
 - ・ 経営協議会：大学の経営に関する重要事項を審議、メンバーは学長、理事及び学外有識者
学長が必要と認めたときを開催
- ・ 会議体の実施状況（年25回）
- ・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（・無）（年5回）
- ・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（・無）
- ・ 公表の方法
大学ホームページに掲載

病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：

会議体の委員名簿

氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
			有・無

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第15条の4第1項第4号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合
等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況

- ・情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無（・無）
- ・通報件数（年0件）
- ・窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無（・無）
- ・窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無（・無）
- ・周知の方法
学内ポータルサイト及び大学ホームページに掲載